

別冊

藤沢市市政運営の総合指針2024  
～2040年に向けた持続可能なまちづくりへの転換～

事業集

＜令和3年度～令和6年度＞  
(令和4年度版)

(「令和4年度藤沢市市政運営の総合指針2024重点施策とSDGsの関連一覧」を含む)

藤 沢 市

藤沢市市政運営の総合指針2024  
～2040年に向けた持続可能なまちづくりへの転換～  
構成

はじめに

- 1 藤沢市の現状と見通し
- 2 藤沢市の特性

これまでの市政運営等を踏まえた、本市の現状と見通し、特性を確認

第1章 基本方針

- 1 策定の背景と意義
- 2 構成と期間
- 3 長期的な視点
  - (1) 長期的な視点の体系
  - (2) めざす都市像
  - (3) 3つのまちづくりコンセプト
  - (4) 8つの基本目標

藤沢市の現状と見通し、特性を踏まえて、長期的な視点として、めざす都市の姿、分野ごとの基本的方向性を明示

概ね20年先を見据えた  
長期的な視点

第2章 重点方針

- 1 取組の考え方
- 2 5つのまちづくりテーマと17の重点施策
- 3 重点施策実現に向けた財政見通し
- 4 評価
- 5 重点施策の実現に向けた重点事業

長期的な視点を踏まえた重要性、緊急性の高い課題に対して、重点的に取り組む施策等を展開

直近4年間の重点取組

別冊 事業集

- 1 重点事業
- 2 地域づくり

別冊 資料集

- 1 藤沢市を取り巻く社会情勢
- 2 基本方針・重点方針等に関する現状
- 3 個別計画一覧

## 目 次

1	重点施策の実現に向けた重点事業	1
2	施策・事業の体系	2
3	事業概要	6
	(1) 体系別事業数	6
	(2) 体系別事業費見通し	7
	(3) 款別事業費見通し	8
	(4) 性質別事業費見通し	9
4	重点事業等	10
	体系別事業一覧	11
	(1) まちづくりテーマ1 安全で安心な暮らしを築く	15
	(2) まちづくりテーマ2 健康で豊かな長寿社会をつくる	31
	(3) まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	59
	(4) まちづくりテーマ4 都市の機能と活力を高める	79
	(5) まちづくりテーマ5 未来を見据えてみんなではじめる	95
	「令和4年度 予算の概況」に掲載のない重点事業	128
5	地域づくり	129
	○六会地区まちづくり事業	130
	○片瀬地区地域まちづくり事業	132
	○明治地区まちづくり事業	134
	○御所見地区地域まちづくり事業	136
	○遠藤まちづくり推進事業	138
	○長後地域活性化事業	140
	○辻堂地区地域まちづくり事業	142
	○善行地区まちづくり事業	144
	○湘南大庭地域まちづくり事業	145
	○湘南台地域まちづくり事業	146
	○鶴沼地区まちづくり事業	148
	○藤沢地区まちづくり事業	149
	○村岡いきいきまちづくり事業	150
	(参考資料) 令和4年度藤沢市市政運営の総合指針2024重点施策と SDGsの関連一覧	152

## 1 重点施策の実現に向けた重点事業

重点施策の実現を図るための個別の取組を「重点事業」に位置づけ、事業集として示します。

### 重点事業

重点事業は、まちづくりテーマと重点施策の実現を図ることを目的として、指針の期間において重点的に取り組むものであり、事業費、人的コストの重点的な投入や事業の組織横断的な検討により実施していきます。



## 2 施策・事業の体系

5つのまちづくりテーマごとにそれぞれの重点施策と重点事業を体系化しています。(事業名の後ろに【※】があるものは、令和4年度当初予算が無い事業です)

### まちづくりテーマ1 安全で安心な暮らしを築く

#### 1 災害対策の充実

- 11 防災設備等整備事業費
- 21 危機管理対策事業費
- 31 建築物等防災対策事業費
- 41 公園改修費（法面对策）
- 51 緑地改修事業費
- 61 一色川改修費
- 71 大規模震災等対策強化事業費
- 81 本町出張所改築整備事業費

#### 2 防犯・交通安全対策の充実

- 11 街頭防犯カメラ設置推進事業費
- 21 防犯対策強化事業費
- 31 自転車駐車場整備費
- 41 市道新設改良費（自転車走行空間整備事業）
- 51 道路安全対策費

#### 3 感染症対策の強化

- 11 感染症対策事業費（新型コロナウイルス感染症対策事業）

### まちづくりテーマ2 健康で豊かな長寿社会をつくる

#### 1 地域共生社会の実現に向けた取組の推進

- 11 包括的支援体制推進事業費
- 21 生活困窮者自立支援事業費
- 31 成年後見制度等推進事業費
- 41 地域の縁側等地域づくり活動支援事業費
- 51 障がい者相談支援事業費
- 61 【特別会計】介護保険事業費（包括的支援事業）

#### 2 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進

- 11 健康づくり推進事業費
- 21 がん検診事業費

- 31 【特別会計】介護保険事業費（一般介護予防事業費）《再掲》

### 3 コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進

- 11 ミライカナエル活動サポート事業費
- 21 六会地区まちづくり事業費
- 31 片瀬地区地域まちづくり事業費
- 41 明治地区まちづくり事業費
- 51 御所見地区地域まちづくり事業費
- 61 遠藤まちづくり推進事業費
- 71 長後地域活性化事業費
- 81 辻堂地区地域まちづくり事業費
- 91 善行地区まちづくり事業費
- 101 湘南大庭地域まちづくり事業費
- 111 湘南台地域まちづくり事業費
- 121 鵜沼地区まちづくり事業費
- 131 藤沢地区まちづくり事業費
- 141 村岡いきいきまちづくり事業費
- 151 善行市民センター改築事業費
- 171 村岡公民館改築事業費

## **まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる**

### 1 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

- 11 教育情報機器関係費
- 21 教育情報化推進事業費
- 31 学校運営協議会推進事業費
- 41 特別支援教育整備事業費
- 51 諸整備事業費（特別支援学校）
- 61 鵜南小学校改築事業費
- 62 鵜沼中学校改築事業費

### 2 子どもへの健やかな成長に向けた支援の充実

- 11 法人立保育所等施設整備助成事業費
- 21 法人立保育所運営費等助成事業費（病児保育）
- 31 市立保育所運営費（病児保育）
- 41 妊娠・出産包括支援事業費
- 51 少年の森整備事業費
- 61 放課後児童クラブ整備事業費
- 71 放課後児童健全育成事業費
- 81 医療的ケア児保育事業費

- 91 養育費確保支援事業費

### 3 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実

- 11 就労支援事業費

## **まちづくりテーマ4 都市の機能と活力を高める**

### 1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

- 11 【特別会計】墓園事業費（大庭台墓園立体墓地再整備事業）
- 21 環境事業センター整備費
- 31 一般廃棄物中間処理施設整備事業費
- 41 村岡地区都市拠点総合整備事業費
- 51 長後地区整備事業費
- 61 公園改修費（鵜沼海浜公園）《再掲》
- 71 藤沢駅周辺地区再整備事業費
- 81 健康と文化の森整備事業費
- 91 市道新設改良費（藤沢652号線）《再掲》
- 101 善行長後線街路新設事業費

### 2 住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築

- 11 空家対策関係費
- 21 住宅政策推進費
- 31 総合交通体系推進事業費

### 3 地域経済循環を高める経済対策の推進

- 11 誘客宣伝事業費
- 21 観光施設整備費

## **まちづくりテーマ5 未来を見据えてみんなではじめる**

### 1 豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進

- 11 環境基本計画関係費
- 21 地球温暖化対策関係事業費
- 31 環境啓発推進事業費
- 41 海岸美化関係費
- 51 ごみ減量推進事業費（プラスチックごみ削減等）
- 61 緑地保全事業費（樹林地復元）
- 71 自然環境共生推進事業費（生物多様性地域戦略）【※】
- 81 【特別会計】下水道事業費（辻堂浄化センター雨水滞水池等）

## 2 デジタル市役所・スマートシティの推進

- 11 デジタル推進事業費
- 21 ロボット未来社会推進事業費（前年度：ロボット産業推進事業費）
- 31 個人番号カード普及促進事業費

## 3 人材育成の推進

- 11 職員採用関係費
- 21 職員基本研修費
- 31 職員専門研修費
- 41 介護人材育成支援事業費
- 51 法人立保育所運営費等助成事業費（保育士確保）《再掲》
- 61 幼稚園人材確保支援事業費
- 71 担い手育成支援事業費

## 4 次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信

- 11 生活・文化拠点再整備費
- 21 アートスペース運営管理費
- 31 景観資源推進費
- 41 シティプロモーション関係費

## 5 市民参加型東京2020大会のレガシー創出

- 11 チームF U J I S A W A 2 0 2 0 推進事業費
- 21 スポーツ都市宣言推進事業費

### 3 事業概要

まちづくりテーマ等の別で集計した事業数、事業費見通しは次のとおりです。  
事業費については、令和4年度当初予算編成時における見通しを掲載しており、  
令和3年度の予算額については、当初予算額に基づく集計に改めています。

#### (1) 体系別事業数

まちづくりテーマごとの重点事業数については次のとおりです。

表1 重点事業数一覧

まちづくりテーマ	重点事業数
1 安全で安心な暮らしを築く	14
2 健康で豊かな長寿社会をつくる	25
3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	17
4 都市の機能と活力を高める	15
5 未来を見据えてみんなではじめる	24
合計	95

- ※ 重点事業数には令和4年度当初予算のない事業を含みます。
- ※ 重点事業については、第3次藤沢市公共施設再整備プランとの整合を図るとともに、令和3年度の中期財政見通しの状況を踏まえ、毎年度見直しながら推進します。

## (2) 体系別事業費見通し

まちづくりテーマ別の年度ごとの事業費見通しは、次のとおりです。

表 1 体系別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

まちづくりテーマ	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	期間合計
1 安全で安心な暮らしを築く	1,330,209	1,449,316	1,734,626	1,079,616	5,593,767
2 健康で豊かな長寿社会をつくる	3,733,304	2,752,963	2,415,823	3,200,893	12,102,983
3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	3,200,303	2,798,316	3,973,739	4,743,683	14,716,041
4 都市の機能と活力を高める	7,732,383	7,117,068	3,371,265	9,701,345	27,922,061
5 未来を見据えてみんなではじめる	3,079,328	3,247,583	3,627,136	5,517,019	15,471,066
合 計	19,075,527	17,365,246	15,122,589	24,242,556	75,805,918

表 2 体系別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

まちづくりテーマ	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	期間合計
1 安全で安心な暮らしを築く	477,832	492,688	945,385	264,627	2,180,532
2 健康で豊かな長寿社会をつくる	1,124,993	1,009,899	1,109,318	947,691	4,191,901
3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	1,412,083	1,587,458	1,630,978	1,713,896	6,344,415
4 都市の機能と活力を高める	366,895	605,756	1,386,061	1,343,405	3,702,117
5 未来を見据えてみんなではじめる	383,953	393,488	370,870	370,105	1,518,416
合 計	3,765,756	4,089,289	5,442,612	4,639,724	17,937,381

(3) 款別事業費見通し

事務事業（予算事業）の区分である款をもとに区分した年度ごとの事業費は、次のとおりです。

表 3 款別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

		令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	期間合計
一般会計	総務費	2,210,898	527,201	473,430	2,173,349	5,384,878
	環境保全費	227,542	220,880	262,036	511,444	1,221,902
	民生費	1,502,249	1,663,031	1,574,755	1,596,385	6,336,420
	衛生費	8,234,806	7,490,053	1,300,674	1,259,743	18,285,276
	労働費	29,777	29,008	29,008	29,008	116,801
	農林水産業費	31,159	21,813	20,294	16,724	89,990
	商工費	117,968	164,186	61,206	50,096	393,456
	土木費	1,336,598	2,074,082	4,211,340	8,898,656	16,520,676
	消防費	181,975	11,270	447,734	117,293	758,272
	教育費	2,212,095	2,240,732	3,118,976	5,413,338	12,985,141
	小計	16,085,067	14,442,256	11,499,453	20,066,036	62,092,812
特別会計	介護保険事業費	725,179	754,019	759,502	0	2,238,700
	墓園事業費	0	11,088	33,264	1,365,000	1,409,352
	下水道事業費	2,265,281	2,157,883	2,830,370	2,811,520	10,065,054
	小計	2,990,460	2,922,990	3,623,136	4,176,520	13,713,106
合計		19,075,527	17,365,246	15,122,589	24,242,556	75,805,918

表 4 款別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

		令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	期間合計
一般会計	総務費	362,802	384,325	350,519	219,169	1,316,815
	環境保全費	95,274	105,787	137,140	96,548	434,749
	民生費	758,547	815,101	829,216	850,726	3,253,590
	衛生費	1,275,699	1,253,929	1,038,672	1,008,953	4,577,253
	労働費	28,733	27,965	29,008	29,008	114,714
	農林水産業費	3,225	4,563	6,044	6,224	20,056
	商工費	16,693	11,766	2,504	2,504	33,467
	土木費	360,993	594,782	1,628,201	1,526,644	4,110,620
	消防費	8,849	3,545	442,514	25,976	480,884
	教育費	738,581	757,638	807,915	873,972	3,178,106
	小計	3,649,396	3,959,401	5,271,733	4,639,724	17,520,254
特別会計	介護保険事業費	116,360	129,888	170,879	0	417,127
	墓園事業費	0	0	0	0	0
	下水道事業費	0	0	0	0	0
	小計	116,360	129,888	170,879	0	417,127
合計		3,765,756	4,089,289	5,442,612	4,639,724	17,937,381

#### (4) 性質別事業費見通し

事業の性質をもとに区分した年度ごとの事業費は、次のとおりです。

消費的経費とは、支出効果はその年度限り又は極めて短期間に終わるもので、後年度に形を残さない性質の経費です。人件費、福祉の給付金、道路や施設の維持補修費などが該当します。

投資的経費とは、支出の効果が、施設等として長期間にわたる性質の経費で、普通建設事業費などが該当します。

表 5 性質別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	期間合計
消費的経費	5,529,979	5,562,660	5,187,505	4,333,753	20,613,897
投資的経費	13,545,548	11,802,586	9,935,084	19,908,803	55,192,021
合計	19,075,527	17,365,246	15,122,589	24,242,556	75,805,918

表 6 性質別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	期間合計
消費的経費	3,183,491	3,214,980	3,267,876	3,084,391	12,750,738
投資的経費	582,265	874,309	2,174,736	1,555,333	5,186,643
合計	3,765,756	4,089,289	5,442,612	4,639,724	17,937,381



#### 4 重点事業等

重点事業について、予算事業名（事務事業名）ごとに示します。

事業の説明は令和4年度の予算事業（当初予算）に関する内容を記載しています。

事業費及び財源内訳欄の単位は千円です。

また、事業によっては令和4年度当初予算がないものもあります。

なお、毎年作成する「予算の概況」に掲載のない重点事業については、128ページの「令和4年度 予算の概況」に掲載のない重点事業」にまとめて掲載しています。

※ 事業費については、令和3年度から令和6年度までいずれも事業予算額で、当該年度の予算を審議する市議会の議決を経て確定するものです。

※ 「[事業費（事務事業中の重点事業分)]」中、金額が0となっているものは事業費がないこと、空欄となっているものは事業費が未定であることを表しています。また、事務事業中の一部を重点事業としているものについては、備考欄に該当する重点化の内容を記載しています。

※ 地域づくりに関する事業は、「5 地域づくり」の項目にも記載しています。

# 藤沢市市政運営の総合指針 2024 令和4年度体系別事業一覧

(事務事業名の後ろに【※】があるものは、令和4年度当初予算がない事業)

体系コード	事務事業名	課名	頁
<b>まちづくりテーマ1 「安全で安心な暮らしを築く」</b>			
1 災害対策の充実			
11	防災設備等整備事業費	防災政策課	15
21	危機管理対策事業費	危機管理課	17
31	建築物等防災対策事業費	建築指導課	18
41	公園改修費（法面对策）	公園課	20
51	緑地改修事業費	みどり保全課	21
61	一色川改修費	河川水路課	22
71	大規模震災等対策強化事業費	警防課	23
81	本町出張所改築整備事業費	消防総務課	128
2 防犯・交通安全対策の充実			
11	街頭防犯カメラ設置推進事業費	防犯交通安全課	25
21	防犯対策強化事業費	防犯交通安全課	26
31	自転車駐車場整備費	道路河川総務課	27
41	市道新設改良費（自転車走行空間整備事業）	道路整備課	28
51	道路安全対策費	道路維持課	29
3 感染症対策の強化			
11	感染症対策事業費（新型コロナウイルス感染症対策事業）	保健予防課	30
<b>まちづくりテーマ2 「健康で豊かな長寿社会をつくる」</b>			
1 地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
11	包括的支援体制推進事業費	地域共生社会推進室	31
21	生活困窮者自立支援事業費	地域共生社会推進室	32
31	成年後見制度等推進事業費	地域共生社会推進室	33
41	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費	地域共生社会推進室	35
51	障がい者相談支援事業費	障がい者支援課	36
61	【特別会計】介護保険事業費（包括的支援事業）	介護保険課・高齢者支援課・地域共生社会推進室・地域医療推進課	37
2 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
11	健康づくり推進事業費	健康づくり課	39

体系コード	事務事業名	課名	頁
21	がん検診事業費	健康づくり課	40
31	【特別会計】介護保険事業費（一般介護予防事業費）《再掲》	介護保険課・高齢者支援課・地域共生社会推進室・地域医療推進課	41
3 コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
11	ミライカナエル活動サポート事業費	市民自治推進課	43
21	六会地区まちづくり事業費	六会市民センター	44
31	片瀬地区地域まちづくり事業費	片瀬市民センター	45
41	明治地区まちづくり事業費	明治市民センター	46
51	御所見地区地域まちづくり事業費	御所見市民センター	47
61	遠藤まちづくり推進事業費	遠藤市民センター	48
71	長後地域活性化事業費	長後市民センター	49
81	辻堂地区地域まちづくり事業費	辻堂市民センター	50
91	善行地区まちづくり事業費	善行市民センター	51
101	湘南大庭地域まちづくり事業費	湘南大庭市民センター	52
111	湘南台地域まちづくり事業費	湘南台市民センター	53
121	鵠沼地区まちづくり事業費	鵠沼市民センター	54
131	藤沢地区まちづくり事業費	藤沢公民館	55
141	村岡いきいきまちづくり事業費	村岡公民館	56
151	善行市民センター改築事業費	市民自治推進課	57
171	村岡公民館改築事業費	村岡公民館	58

### まちづくりテーマ3 「笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる」

#### 1 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

11	教育情報機器関係費	教育総務課	59
21	教育情報化推進事業費	教育総務課	60
31	学校運営協議会推進事業費	教育総務課	61
41	特別支援教育整備事業費	教育指導課	62
51	諸整備事業費（特別支援学校）	学校施設課	63
61	鵠南小学校改築事業費	学校施設課・学校給食課	64
62	鵠沼中学校改築事業費	学校施設課	65

#### 2 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実

11	法人立保育所等施設整備助成事業費	子育て企画課	128
21	法人立保育所運営費等助成事業費（病児保育）	保育課	66
31	市立保育所運営費（病児保育）	保育課	128

体系コード	事務事業名	課名	頁
41	妊娠・出産包括支援事業費	健康づくり課	68
51	少年の森整備事業費	青少年課	70
61	放課後児童クラブ整備事業費	青少年課	72
71	放課後児童健全育成事業費	青少年課	73
81	医療的ケア児保育事業費	保育課	74
91	養育費確保支援事業費	子育て給付課	76
3 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
11	就労支援事業費	産業労働課	78

#### まちづくりテーマ4 「都市の機能と活力を高める」

##### 1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

11	【特別会計】墓園事業費（大庭台墓園立体墓地再整備事業）	福祉総務課	79
21	環境事業センター整備費	環境事業センター	80
31	一般廃棄物中間処理施設整備事業費	北部環境事業所	81
41	村岡地区都市拠点総合整備事業費	都市整備課	82
51	長後地区整備事業費	都市整備課長後地区整備事務所	83
61	公園改修費（鵜沼海浜公園）《再掲》	公園課	84
71	藤沢駅周辺地区再整備事業費	藤沢駅周辺地区整備担当	85
81	健康と文化の森整備事業費	西北部総合整備事務所	86
91	市道新設改良費（藤沢652号線）《再掲》	道路整備課	87
101	善行長後線街路新設事業費	道路整備課	88

##### 2 住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築

11	空家対策関係費	住宅政策課	89
21	住宅政策推進費	住宅政策課	90
31	総合交通体系推進業務費	都市計画課	91

##### 3 地域経済循環を高める経済対策の推進

11	誘客宣伝事業費	観光課	92
21	観光施設整備費	観光課	94

#### まちづくりテーマ5 「未来を見据えてみんなではじめる」

##### 1 豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進

11	環境基本計画関係費	環境総務課	95
21	地球温暖化対策関係事業費	環境総務課	96

体系コード	事務事業名	課名	頁
31	環境啓発推進事業費	環境総務課	98
41	海岸美化関係費	環境総務課	99
51	ごみ減量推進事業費（プラスチックごみ削減等）	環境総務課・環境事業センター	100
61	緑地保全事業費（樹林地復元）	みどり保全課	102
71	自然環境共生推進事業費（生物多様性地域戦略）【※】	みどり保全課	103
81	【特別会計】下水道事業費（辻堂浄化センター雨水滞水池等）	下水道総務課 ほか2課	104
2 デジタル市役所・スマートシティの推進			
11	デジタル推進事業費	デジタル推進室	106
21	ロボット未来社会推進事業費	デジタル推進室	108
31	個人番号カード普及促進事業費	市民窓口センター	109
3 人材育成の推進			
11	職員採用関係費	職員課	110
21	職員基本研修費	職員課	111
31	職員専門研修費	職員課	112
41	介護人材育成支援事業費	介護保険課	113
51	法人立保育所運営費等助成事業費（保育士確保）《再掲》	保育課	115
61	幼稚園人材確保支援事業費	保育課	117
71	担い手育成支援事業費	農業水産課	119
4 次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
11	生活・文化拠点再整備費	企画政策課	121
21	アートスペース運営管理費	文化芸術課	122
31	景観資源推進費	街なみ景観課	123
41	シティプロモーション関係費	広報シティプロモーション課	124
5 市民参加型東京2020大会のレガシー創出			
11	チームFUJISAWA2020推進事業費	市民自治推進課	125
21	スポーツ都市宣言推進事業費	スポーツ推進課	126

総務費

事業名	防災設備等整備事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 05			防災政策課		
指針体系コード	1-1-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	202,179		25,061	8,400	4,914	163,804
令和3年度	146,353		19,921	0	6,574	119,858
対前年度	55,826		5,140	8,400	△ 1,660	43,946
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				25,061
	(地方債)	防災施設整備事業債				8,400
	(その他)	防災ラジオ売払収入				1,000
		災害対応型自動販売機設置協力金				3,914

<拡充事業> (仮称)片瀬海岸3丁目9番先津波避難施設の整備

【施策等を必要とする背景】

該当地区は、近隣に津波避難ビル等がなく、地区内での避難先の確保が必要とされており、多くの市民の生命を守り、迅速かつ確実な避難の実現を図るため、津波避難施設が必要となる。

【提案に至るまでの経緯】

- 令和3年5月 新たな避難施設の設置候補地の情報提供の呼びかけ
- 令和3年6月～ 新たな避難施設の設置候補地の申し出1件あり、改めて区域内の津波避難施設の方向性の検討を行う。  
検討の結果、下藤が谷ポンプ場における津波避難施設整備事業に変え、申し出のあった新たな候補地に避難施設を設置することを方針決定した。  
(仮称)片瀬海岸3丁目9番先津波避難施設整備事業計画策定
- 令和3年12月 市議会定例会総務常任委員会に今までの経過と市の考え方を報告  
新候補地の用地を先行取得

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

基本構想の策定にあたり、地区内住民を対象とした説明会等を実施して意見集約を図る。

【市の策定する計画や条例との整合性】

地域防災計画（津波災害予防の推進）  
国土強靱化地域計画に基づく施策として実施する事業一覧に掲載予定

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果  
本事業の実施により、片瀬海岸3丁目地区内の津波避難が困難な市民の安心安全が保たれる。
2. 将来にわたる費用
  - ・令和5年度～ 公共事業先行取得用地取得費 211,899千円
  - ・基本・実施設計、施工などの費用については、基本構想等の策定後に積算予定

**【事業概要】**

災害に対する備えとして、防災備蓄資機材、防災ラジオ、津波避難施設等の整備や充実・強化を推進する。

1. 防災備蓄資機材等の整備・充実	173,284 千円
おかゆ、長期保存食（ビスケット）、簡易トイレ処理袋、毛布、液体ミルク、紙おむつ等の購入費	
2. 防災ラジオの市民頒布	2,904 千円
災害時等に緊急割込放送を自動受信できる防災ラジオ300台の購入及び頒布	
3. 津波避難対策の充実・強化	846 千円
・津波避難ビル設置用簡易トイレ処理袋等の購入費	608 千円
・津波ハザードマップの印刷費	238 千円
(拡) 4. (仮称) 片瀬海岸3丁目9番先津波避難施設の整備	11,770 千円
・津波避難施設整備事業基本構想策定委託料	3,333 千円
・津波避難施設整備事業地質等調査委託料	8,437 千円
5. ふじさわ防災ナビの普及・充実	2,684 千円
・市民配布用の冊子「ふじさわ防災ナビ～いま、わたしたちにできること。～」の印刷費	
6. 防災対策の充実・強化	10,691 千円
・洪水・土砂災害ハザードマップの印刷費	640 千円
・防災備蓄倉庫設置工事	7,051 千円
・危険ブロック塀等安全対策工事費補助金	3,000 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
146,353	202,179	232,943	21,943	603,418	

総務費

事業名	危機管理対策事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 07	危機管理課				
指針体系コード	1-1-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	18,398	2,830	6,060			9,508
令和3年度	10,991	1,890	3,485			5,616
対前年度	7,407	940	2,575			3,892
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				2,830
	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				770
		市町村地域防災力強化事業費補助金				5,290

【事業概要】

本市に想定されている災害に対し、被害を最小限に留め、安全で安心なまちづくりを推進するため、指定緊急避難場所（大規模火災）三角柱看板の整備や、自治会・町内会毎の津波避難マップの更新を行う。

また、AI技術を取り入れたSNS緊急速報情報サービスを導入し、災害対応時等の情報収集手段を多角化し、災害対応の充実を図る。

1. 指定緊急避難場所（大規模火災）三角柱看板の整備 8,179 千円  
 災害時の迅速かつ円滑な避難対策の推進にあたり、市内の公共施設等を災害種別ごとの指定緊急避難場所及び指定避難所に指定したことに伴い、既に各指定緊急避難場所（大規模火災）に設置している三角柱型の看板について、旧名称の「広域避難場所」が表記されていることから、表示内容の変更を行う。

2. 自治会・町内会毎の津波避難マップの更新 7,909 千円  
 平成27年3月に作成した片瀬地区・鵜沼地区・辻堂地区に所在する自治会・町内会毎の津波避難マップについて、令和3年3月に新たに指定された津波災害警戒区域等の最新情報や地域住民からの意見を踏まえ、津波避難マップを作成し、配布を行う。

(新) 3. SNS緊急速報情報サービスの導入 2,310 千円  
 大規模地震や風水害等の災害時はSNS上に投稿された情報も有益であることから、災害対応時等の情報収集手段を多角化するため、AI技術を取り入れたSNS緊急速報情報サービスを導入し、災害対応の充実を図る。



三角柱看板  
 (現在の表記：広域避難場所)



自治会・町内会毎の津波避難マップ  
 (平成27年3月作成)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
10,991	18,398	8,146	20,724	58,259	



土木費

事業名	建築物等防災対策事業費					
予算科目	款 9 項 1 目 2 細目 01 説明 03			建築指導課		
指針体系コード	1-1-31		まちづくりテーマ 安全で安心な暮らしを築く			
区分	事業費		重点施策名 災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	54,101	20,884	12,067			21,150
令和3年度	30,556	14,963	6,738			8,855
対前年度	23,545	5,921	5,329			12,295
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				8,059
		地域防災拠点建築物整備緊急促進事業費補助金				12,825
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				4,217
		沿道建築物耐震化支援事業費補助金				7,850

【事業概要】

災害対策を充実するため、市内の建築物の耐震性能の把握と向上を図るとともに、藤沢市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき、住宅耐震化に向け個別通知等による普及啓発に取り組む。

昭和56年新耐震基準以前に建築された在来軸組構法2階建て以下の木造住宅（以下「対象住宅」という。）の所有者、非木造の分譲マンションの管理組合及び耐震診断が義務化された緊急輸送道路沿道建築物の所有者を対象に、既存建築物の耐震化の促進を図る。

1. 木造住宅耐震診断補助 1,860 千円  
 対象住宅の所有者を対象に、耐震診断に要する費用の1/2を補助する。  
 ・一般診断（補助上限 60,000円） 31 件
  
2. 木造住宅耐震改修工事補助 15,060 千円  
 耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅の耐震改修工事を行う所有者を対象に、耐震改修工事に要する費用の1/2を補助する。さらに、木造住宅耐震診断補助を受けた後に耐震改修工事の実施に至った場合には、診断における自己負担分の追加補助を行う。  
 ・耐震改修工事（補助上限 900,000円） 16 件  
 ・耐震診断自己負担分（補助上限 60,000円） 11 件
  
3. 木造住宅耐震シェルター・ベッド等設置補助 200 千円  
 耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅に耐震シェルター・ベッドの設置を行う所有者を対象に、設置に要する費用の1/2を補助する。  
 ・耐震シェルター・ベッド設置（補助上限 200,000円） 1 件
  
4. 分譲マンション耐震診断補助 1,650 千円  
 昭和56年新耐震基準以前に建築された、非木造の分譲マンションの管理組合を対象に、予備診断又は本診断に要する費用の1/2を補助する。  
 ・予備診断（補助上限 150,000円） 1 件  
 ・本診断（補助上限 1,500,000円） 1 件
  
5. 耐震診断義務対象沿道建築物耐震改修等補助 34,750 千円  
 耐震診断の結果、倒壊の危険性があると判断された緊急輸送道路沿道の、旧耐震建築物（要安全確認計画記載建築物）の所有者を対象に、耐震改修設計、耐震改修工事及び除却に要する費用の一部を補助する。  
 ・耐震改修設計（補助率 5/6、補助上限 1,750,000円） 1 件  
 ・耐震改修工事（補助率 11/15、補助上限 22,000,000円） 1 件  
 ・除却（補助率 11/15、補助上限 11,000,000円） 1 件

6. 耐震アドバイザー講師謝礼 80 千円  
 分譲マンションの耐震化促進に向けた合意形成を図るため、管理組合等に対し専門家の立場からサポートするアドバイザー（建築士等）を派遣する。  
 ・講師謝礼（20,000円／回） 4 回
7. 建築物等防災対策事務経費 501 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
30,556	54,101	86,382	86,382	257,421	

土木費

事業名	公園改修費					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 02 説明 03			公園課		
指針体系コード	1-1-41	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
	4-1-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	429,108	6,000		219,400	157,604	46,104
令和3年度	148,637	0		112,600	0	36,037
対前年度	280,471	6,000		106,800	157,604	10,067
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				6,000
	(地方債)	公園建設事業債				16,600
		土砂災害防止対策事業債				202,800
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				157,604

【事業概要】

公園利用者が安全・安心に利用できる環境をつくるため、遊具等の公園施設の改修や専門業者による保守点検を実施し、適切な維持管理と老朽化等への対応を図るとともに、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定された公園等の法面について、周辺住民及び施設利用者等の安全確保のため、対策実施に向けた委託及び工事を行う。

また、鵜沼海浜公園（Park-PFI）については、事業者がリニューアルに向けた改修工事を行うため、既存施設の撤去費を負担するとともに、コンビプールの買取りを行う。

1. 需用費 20,872 千円  
劣化が進む遊具等の公園施設について、延命化を図るための塗装や小規模修繕を行う。
2. 役務費 10,239 千円  
老朽化した施設の撤去や樹木の剪定等を行う。また、市の花「フジ」の剪定を実施し、保護及び育成を図る。
3. 委託料 21,537 千円
  - ・都市公園遊具点検業務委託
  - ・新林公園古民家樹木剪定業務委託
  - ・片瀬山公園法面詳細設計委託
  - ・本在寺公園他法面調査委託
  - ・公園照明灯LED化ESCO事業【債務負担行為の設定】 (227,000 千円)  
期間：令和4年度～令和15年度
4. 工事請負費 218,856 千円
  - ・御所ヶ谷緑地法面对策工事【継続費】
  - ・引地川親水公園駐車場舗装打換え工事
5. 備品購入費 9,104 千円
  - ・鵜沼海浜公園コンビプール購入費
6. 負担金補助及び交付金 148,500 千円
  - ・鵜沼海浜公園土木施設・建築物撤去負担金

<継続費年割額>

(単位：千円)

	4年度	5年度	合計
御所ヶ谷緑地法面对策工事	202,851	262,559	465,410

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
112,684	216,063	321,059	75,700	725,506	法面对策

環境保全費

事業名	緑地改修事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 05 説明 01			みどり保全課		
指針体系コード	1-1-5 1	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	41,228			7,100		34,128
令和3年度	42,075			9,300		32,775
対前年度	△ 847			△ 2,200		1,353
特定財源の内訳	(地方債)	土砂災害防止対策事業債				7,100

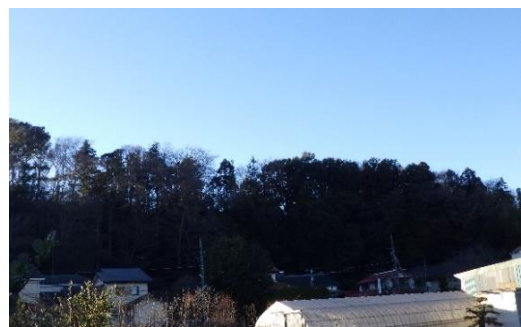
【事業概要】

土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に位置する市有山林の法面について、前年度までの成果をもとに安全性の確保に向けた対策を進める。

1. 法面調査委託 16,269 千円  
「片瀬山五丁目緑地」において、地質調査と測量を実施し、法面の安全性について評価を行う。
  - ・片瀬山五丁目緑地（その2）法面二次調査委託（南側） 7,513 千円
  - ・片瀬山五丁目緑地（その2）法面二次調査委託（北側） 8,756 千円
2. 法面予備設計委託 17,699 千円  
「宮前緑地」、「片瀬三丁目緑地」において、地質調査や測量の結果をもとに、予備設計委託を行う。
  - ・宮前緑地法面予備設計委託 10,494 千円
  - ・片瀬三丁目緑地法面予備設計委託 7,205 千円
3. 法面防護工事 7,260 千円  
「石川鍛冶山緑地」において法面防護工事を行う。



宮前緑地



石川鍛冶山緑地

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
42,075	41,228	62,992	300,100	446,395	

土木費

事業名	一色川改修費					
予算科目	款 9 項 3 目 2 細目 01 説明 01			河川水路課		
指針体系コード	1-1-61	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	111,607	10,000		88,700		12,907
令和3年度	128,290	10,000		104,400		13,890
対前年度	△ 16,683	0		△ 15,700		△ 983
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				10,000
	(地方債)	河川改修事業債				88,700

【事業概要】

一色川流域の浸水被害を軽減するため、準用河川一色川整備基本計画に基づき、護岸改修工事等を行う。

1. 委託料 10,043 千円
  - ・ 稲荷山橋架替工事に伴う建物事後調査委託
  - ・ 一色川護岸改修工事に伴う建物事前調査委託
2. 工事請負費 99,235 千円
  - ・ 一色川護岸改修工事 延長 L = 64 m 【継続費】
  - ・ 一色川護岸改修工事その2 延長 L = 80 m 【継続費】

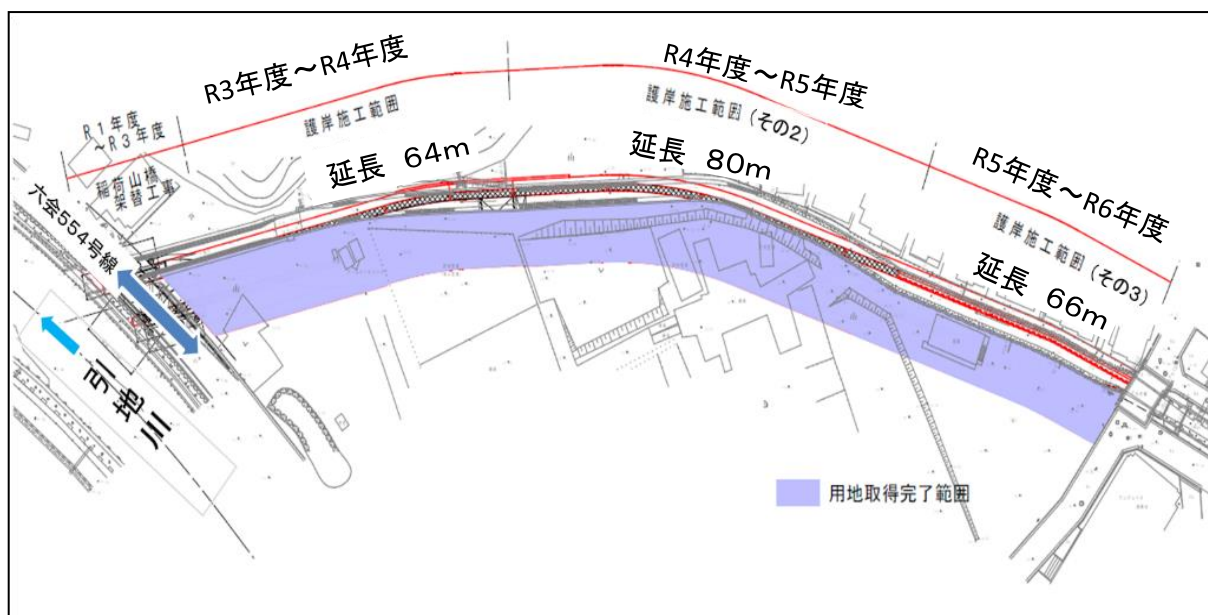
<継続費年割額> (単位：千円)

	3年度	4年度	合計
一色川護岸改修工事	46,000	49,235	95,235

(単位：千円)

	4年度	5年度	合計
一色川護岸改修工事(その2)	50,000	61,100	111,100

3. 一色川改修事務経費 2,329 千円
  - ・ 旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料



一色川護岸改修工事平面図

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
128,290	111,607	124,676	146,360	510,933	

消防費

事業名	大規模震災等対策強化事業費					
予算科目	款 10 項 1 目 3 細目 01 説明 05				警防課	
指針体系コード	1-1-71	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	3,545	0	0	0		3,545
令和3年度	181,975	82,039	13,987	77,100		8,849
対前年度	△ 178,430	△ 82,039	△ 13,987	△ 77,100		△ 5,304

<拡充事業> 指揮本部機能の向上（映像伝送システムの整備）

【施策等を必要とする背景】

昨今における各種災害が複雑多様化する中、安全、迅速な活動を行うためには、より正確な情報に基づく、統制の取れた現場指揮活動を行うことが重要となっている。また、建築様式の変化などにより、火災活動時の危険性が高まり、全国的に消防職員の殉職・受傷事案が増加しているため、災害現場では効果的な情報収集が必要不可欠である。

【提案に至るまでの経緯】

平成28年度からドローンを中心とした映像伝送システムを用いた指揮本部機能強化について、視察等を含め研究・検討を進めてきた。また、令和2年度には警防課題検討会議を開催し、必要性及び有効性などについて、活動部隊と共に検討を行った。

令和3年度は、導入に向け産官学で同システムを使用した検証を実施するとともに、他市からの情報収集を継続し、運用の現状などについての把握を進めた。また、同システムを導入している消防本部での業者と合同の実機検証へ出向し、実動運用を見据え、意見や課題などの情報収集を行った。さらに、熱海市への災害派遣では、他市が運用する映像伝送システムにより効率的に情報収集する様子を見ることができ、有効性の再確認をし、本市導入における必要があると判断した。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

消防局総合基本指針において「大規模災害等に対応できる先進消防」に位置付け。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

映像伝送システムを導入することで、視覚による効率的な情報の収集及び伝達が可能となり、有効かつ迅速な活動方針の決定が可能となる。また、整備拡充により情報収集能力がさらに向上することで、大規模災害を含め、あらゆる災害に対する指揮機能の精度が高まり、統制の取れた現場活動及び被害の軽減につながる。

2. 将来にわたる費用

資機材のメンテナンス費用や消耗品費

【事業概要】

大規模災害では、広範囲で多発的にさまざまな災害が発生することが予想されるため、ドローン等を活用した映像伝送システムを導入し、正確な情報を確実・迅速に収集することで、指揮本部機能強化とともに効果的な部隊運用を図る。

また、昨今多発する大型台風や集中豪雨等から市民の安全安心を確保するため、災害対応資機材等を整備するとともに、特殊災害への対策として現有資機材の校正点検を行う。

(拡) 1. 映像伝送システムの整備	2,549 千円
・ 消耗品費（スマートフォン用ハーネス）	52 千円
・ 役務費（通信料・保険料等）	743 千円
・ 使用料（システム使用料）	594 千円
・ 備品購入費（ドローン・PC・タブレット等）	1,160 千円

- |   |        |
|---|--------|
| <p>2. 災害対応資機材の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消耗品費（胴付き長靴） 20着</li> </ul>        | 106 千円 |
| <p>3. 特殊災害対応資機材の校正点検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役務費（放射線測定器校正点検手数料）</li> </ul> | 890 千円 |



ドローン



モニタリング用タブレット

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
181,975	3,545	13,693	26,473	225,686	

環境保全費

事業名	街頭防犯カメラ設置推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 05	防犯交通安全課				
指針体系コード	1-2-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	12,662		1,080			11,582
令和3年度	12,475		1,605			10,870
対前年度	187		△ 525			712
特定財源の内訳	(県支出金)	地域防犯力強化支援事業補助金				1,080

【事業概要】

自治会・町内会が設置する防犯カメラの設置費と修繕費の補助や、市が設置した街頭防犯カメラの維持管理を行う。

1. 自治会・町内会による防犯カメラ設置費補助 11,756 千円  
自治会・町内会が設置する防犯カメラ70台について、設置費の一部を補助する。

・設置事業計画届出一覧

地区	団体数	台数 (うち更新台数)
片瀬	2 団体	3 4 台 (3 2 台)
明治	2 団体	4 台
長後	2 団体	4 台
辻堂	2 団体	4 台
湘南大庭	1 団体	4 台
鶴沼	2 団体	1 0 台 (1 台)
藤沢東部	1 団体	8 台 (8 台)
藤沢西部	1 団体	2 台 (2 台)
合計	1 3 団体	7 0 台 (4 3 台)

2. 自治会・町内会が設置した防犯カメラへの修繕費補助 800 千円  
自治会・町内会が設置している防犯カメラ本体と周辺機器について、修繕費の一部を補助する。

3. 市が設置した街頭防犯カメラの維持管理 106 千円  
市が駅前広場等に設置している15台の街頭防犯カメラについて、維持管理を行う。

・市が設置した街頭防犯カメラ一覧

駅名	台数
藤沢駅	8 台
辻堂駅	2 台
湘南台駅	3 台
片瀬江ノ島駅	2 台
合計	1 5 台

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
12,475	12,662	10,989	13,268	49,394	



環境保全費

事業名	防犯対策強化事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 03	防犯交通安全課				
指針体系コード	1-2-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	8,581		900			7,681
令和3年度	8,646		900			7,746
対前年度	△ 65		0			△ 65
特定財源の内訳	(県支出金)	特殊詐欺被害防止対策事業補助金				900

【事業概要】


市民と行政が連携して犯罪防止に取り組むため、多様な防犯活動等への積極的支援を行う。

- 街頭犯罪抑止環境整備 2,166 千円  
こども110番の設置及び登録者確認作業、防犯ブザーの貸出し等により街頭犯罪抑止環境を整備する。
- インターネット等による防犯情報広報啓発事業 1,323 千円
  - 藤沢市防犯対策システムソフトウェア保守管理業務等 928 千円  
不審者情報、防犯に関する注意喚起などをメール配信するための防犯対策システムソフトウェアの保守管理等を行う。
  - 防犯情報広報啓発事業 395 千円  
ホームページ・SNSにより防犯情報を周知し、防犯意識を啓発する。
- 暴力追放推進協議会の活動支援 760 千円  
暴力団排除への市民意識の高揚を図る暴力追放推進協議会への支援を行う。
- 各地区防犯パトロール隊の活動支援 2,300 千円  
市内14地区で活動している防犯パトロール団体等にパトロール用品等の支援を行う。
- 特殊詐欺対策 1,844 千円  
特殊詐欺被害防止のための啓発チラシ配布や、迷惑電話防止機能付電話機等の購入に対する補助を行う。
- 防犯市民のつどいの開催 188 千円  
防犯功労者表彰や防犯に関する講演等を行い、日頃の地域防犯活動への功績に感謝するとともに防犯意識の高揚を図る。新型コロナウイルス感染症の状況により、動画・メッセージ配信などホームページ等を活用したオンライン開催を検討する。

迷惑電話防止機能付電話機等購入補助制度のお知らせ

迷惑電話防止機能付き電話機を  
購入すると、**最大6,000円**  
の補助金が交付されます！

※補助条件や手続き方法などの詳細は、  
別添の黄色いチラシをご確認ください。



迷惑電話防止機能付電話機等購入補助制度  
(令和3年度回覧チラシ抜粋)

令和3年度 第38回  
防犯市民のつどい  
～みんなで作ろう安全・安心のまち ふじさわ～



と き 2021(令和3年)11月7日(日)午後2時  
と ころ 藤沢市ホームページ  
「藤沢市の安全安心情報」サイト  
主 催 藤 沢 市  
藤沢市防犯推進協議会  
共 催 藤沢警察署・藤沢北警察署  
藤沢防犯協議会・藤沢北防犯協議会

防犯市民のつどいパンフレット

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
8,646	8,581	7,681	7,681	32,589	

土木費

事業名	自転車駐車場整備費					
予算科目	款 9 項 2 目 7 細目 01 説明 02	道路河川総務課				
指針体系コード	1-2-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	78,993			32,100		46,893
令和3年度	14,998			0		14,998
対前年度	63,995			32,100		31,895
特定財源の内訳	(地方債)	自転車駐車場整備事業債				32,100

【事業概要】

歩行者の安全かつ円滑な通行の確保や自転車等の利用者の利便性の向上を図るため、自転車等駐車場の整備及び一部の駐車場のゲートについて機械化（非接触型）を進める。

1. 委託料 8,316 千円
  - ・ 自転車等駐車場測量費
2. 使用料及び賃借料 15,742 千円
  - (1) 土地・建物賃借料 2,869 千円
    - ・ (仮称) 藤沢本町駅自転車駐車場管理棟賃借料
    - ・ (仮称) 藤沢本町駅第2自転車駐車場土地賃借料
  - (2) 賃借料（土地・建物以外） 12,873 千円
    - ・ (仮称) 藤沢本町駅自転車駐車場管理設備賃借料
    - ・ (仮称) 藤沢本町駅第2自転車駐車場管理設備賃借料
    - ・ 鵜沼海岸駅自転車等駐車場の機械化に伴う管理設備賃借料
    - ・ 辻堂駅南口自転車駐車場の機械化に伴う管理設備賃借料
    - ・ 長後駅東口自転車等駐車場の機械化に伴う管理設備賃借料
3. 工事請負費 42,823 千円
  - ・ (仮称) 藤沢本町駅第2自転車駐車場整備工事
  - ・ 藤沢本町駅周辺自転車等放置禁止区域標識設置工事
  - ・ 片瀬江ノ島駅第2自転車駐車場原状復旧工事
4. 自転車駐車場整備事務経費 12,112 千円
  - ・ 旅費、需用費、役務費、負担金



藤沢本町駅周辺案内図

(この事業は令和3年度6月及び9月補正で増額した事業)  
 (この事業の一部は令和3年度12月補正で債務負担行為を設定)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
14,998	78,993	173,680	133,680	401,351	

土木費

事業名	市道新設改良費					
予算科目	款 9 項 2 目 3 細目 01 説明 01			道路整備課		
指針体系コード	1-2-41	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
指針体系コード	4-1-91	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	604,994	96,720		425,700		82,574
令和3年度	134,345	17,410		82,400		34,535
対前年度	470,649	79,310		343,300		48,039
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				72,850
		都市構造再編集中支援事業費補助金				23,870
	(地方債)	道路整備事業債				425,700

【事業概要】

安全で快適な道路環境と安心して移動できる歩行空間の確保のため、道路の新設改良、自転車走行空間の整備を行う。

1. 道路の新設改良事業 468,402 千円
  - ・ 藤沢駅辻堂駅線（支障物調査、工事、補償）
  - ・ 藤沢652号線（設計・測量委託、工事、用地取得（買戻）、補償）
  - ・ 六会554号線（工事、用地取得（直買）、補償）
  - ・ 宮原百石線（建物調査、埋蔵文化財調査、用地取得（直買）、補償）
  - ・ 辻堂429号線〔羽鳥立体〕（測量委託）
  - ・ 白旗川No. 3仮設道路橋（設計・地質調査・測量委託）
2. 自転車走行空間整備事業 116,864 千円
  - ・ 藤沢村岡線（工事）
  - ・ 藤沢駅鵜沼海岸線（工事）
  - ・ 藤沢駅周辺（工事）
  - ・ 鵜沼29・31号線（工事）
3. 市道新設改良事務経費 19,728 千円
  - ・ 旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金



藤沢駅辻堂駅線

（この事業は令和3年度6月補正で増額した事業）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
33,200	116,864	145,429	48,400	343,893	自転車走行空間整備事業



土木費

事業名	道路安全対策費					
予算科目	款 9 項 2 目 4 細目 01 説明 01			道路維持課		
指針体系コード	1-2-51	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	118,360			41,000	14,418	62,942
令和3年度	84,696			17,600	1,530	65,566
対前年度	33,664			23,400	12,888	△ 2,624
特定財源の内訳	(地方債)	道路整備事業債				41,000
	(その他)	交通安全対策基金繰入金				14,418

【事業概要】

交通事故の防止及び安全な道路環境を提供するなどの安全対策を図るため、老朽化したものや破損した安全施設の補修等を行うとともに、信号機のない横断歩道に歩行者横断点減器をモデル事業として設置する。

また、安全施設の必要な交差点に対する車止め設置や、保育所等周辺にキッズ・ゾーン路面標示を設置するなどの安全対策を進める。

1. 委託料 12,392 千円  
  - ・道路反射鏡清掃及び管理業務委託
  
2. 工事請負費 92,988 千円  
  - ・道路交通安全施設設置工事 道路反射鏡等の新設・建替 計35基
  - ・道路区画線標示補修等工事 道路区画線の標示 約31,500m  
(キッズ・ゾーン路面標示を含む)
  - ・車止め設置工事 車止め設置(鵜沼地区他2地区)
  - ・交差点横断施設設置工事 歩行者横断点減器 1カ所
  
3. 施設修繕費 12,480 千円  
 道路反射鏡など道路安全施設の小規模修繕を行う。
  
4. 役務費 500 千円  
 道路反射鏡などに支障となる樹木の剪定等を行う。



車止め施工例



道路区画線標示施工例

(2の事業の一部は令和3年度12月補正で債務負担行為を設定)

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
84,696	118,360	112,915	108,085	424,056	

衛生費

事業名	感染症対策事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 5 細目 02 説明 01			保健予防課		
指針体系コード	1-3-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
区分	事業費	重点施策名	感染症対策の強化			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	528,296	405,322	0			122,974
令和3年度	600,346	339,240	41,381			219,725
対前年度	△ 72,050	66,082	△ 41,381			△ 96,751
特定財源の内訳	(国庫支出金)	結核対策費負担金				5,064
		感染症予防事業費負担金				3,833
		感染症発生動向調査事業費負担金				74,265
		感染症患者入院医療費負担金				37,869
		結核対策費補助金				622
		特定感染症検査等事業費補助金				24,059
		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				259,610

【事業概要】

市民の健康を守るため、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の罹患予防やまん延防止に向けた検診（健診）や保健指導、情報の収集及び提供、普及啓発等の感染症対策事業を行う。

新型コロナウイルス感染症の罹患予防やまん延防止のために、医療提供体制を確立し、自宅療養者への対応や陽性患者の移送、専用の電話相談窓口の設置などを実施する。

また、風しんの流行に伴う緊急対策として、抗体保有率の低い世代の成人男性を対象にした風しん抗体検査を引き続き実施する。

1. 新型コロナウイルス感染症対策事業 459,010 千円

- ・新型コロナウイルス感染症入院医療費及び検査費用の公費負担
- ・新型コロナウイルス感染症陽性患者の移送
- ・「地域療養の神奈川モデル」運營業務委託
- ・藤沢コロナ受診相談センター及び一般電話相談設置に係る業務委託
- ・PCR検査センターの設置に係る業務委託
- ・集団検査時の民間検査機関への検査委託
- ・新型コロナウイルス感染症自宅療養に係る負担金

2. 結核対策事業 15,983 千円

結核登録患者の家庭を訪問し、不安の軽減や療養支援等の指導相談及び被感染者の早期発見のための接触者健康診断を行うとともに、結核医療費の助成を行う。

3. その他の感染症対策事業 53,303 千円

- ・定点医療機関からの感染症発生動向調査による感染症情報の収集及び提供
- ・感染症患者発生時の疫学調査及び必要に応じた検体検査の実施
- ・新型インフルエンザ等感染症対策の推進
- ・妊娠を希望する女性とパートナー等を対象にした風しん抗体検査の実施
- ・抗体保有率の低い世代の成人男性を対象にした風しん抗体検査の実施

（この事業は令和3年度6月、9月、12月補正で増額した事業）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
523,270	459,010	0	0	982,280	新型コロナウイルス感染症対策事業

民生費

事業名	包括的支援体制推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 02	地域共生社会推進室				
指針体系コード	2-1-1-1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	97,140	72,852				24,288
令和3年度	96,755	70,684				26,071
対前年度	385	2,168				△ 1,783
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				44,949
		生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				27,903

【事業概要】

地域共生社会の実現に向け、地域のさまざまな関係機関との連携・協働により、地域生活課題を抱える人（世帯）に対する個別支援と、個別支援の積み重ねにより把握される地域課題の解決に向け活動するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を、藤沢市社会福祉協議会への委託により、生活圏域13地区に配置することで、重層的支援体制の整備による包括的な支援体制を目的とした取組を推進する。

1. 自立相談支援事業費（必須事業） 59,933 千円  
生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対する相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、さまざまな支援を一体的かつ計画的に行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図る。
2. 多機関協働事業（任意事業） 2,683 千円  
単独の支援関係機関では対応が難しい複合化・複雑化した支援ニーズがある生活困窮者に対する支援の方向性について、支援関係機関の役割分担、支援プランを策定することにより、関係者間の連携を進めるとともに、分野を超えた包括的な支援体制を推進する。
3. アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（任意事業） 19,559 千円  
支援関係機関どうしの連携や地域住民とのつながりの中から把握される、潜在的な生活課題を抱える人（世帯）に対し、当該対象者との信頼関係を構築することを目的に、時間をかけて丁寧な働きかけを行うことで、必要な制度、サービスにつなげていくことをめざす。
4. 参加支援事業（任意事業） 14,965 千円  
既存の社会参加に向けた事業では対応できない本人のために、本人及びその世帯が抱える生活課題を把握し、地域の社会資源や支援メニューとのコーディネート・マッチングを行う。また、必要に応じ既存の社会資源に対し働きかけを通じて、その拡充や支援ニーズに即した新たなメニューの創設をめざす。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
96,755	97,140	97,300	97,460	388,655	

民生費

事業名	生活困窮者自立支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 01	地域共生社会推進室				
指針体系コード	2-1-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	64,281	41,051				23,230
令和3年度	64,440	41,179				23,261
対前年度	△ 159	△ 128				△ 31
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				14,150
		生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				26,901

【事業概要】

生活困窮者自立支援法に基づき、第2のセーフティネットとして、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、各種事業を実施する。

- (括) 1. 自立相談支援事業 (必須事業) 401 千円  
 《事業内容》 生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対する相談に応じ、さまざまな社会資源と連携・協働しながら相談支援を一体的かつ計画的に行う。また、ひきこもり状態にある本人や家族等に対し、SNS等を活用した相談窓口を設置するとともに、相談支援に従事する支援者のスキルアップをめざした研修会等を実施する。  
 《実施機関》 地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」(市直営) 本庁(福祉総合相談支援センター)及び北部福祉総合相談室で実施
2. 住居確保給付金の支給 (必須事業) 17,952 千円  
 《事業内容》 離職者や休業等により経済的に困窮した世帯へ家賃相当額を支給するとともに就労に向けた支援を行う。  
 《実施機関》 地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」(市直営)
3. 就労準備支援事業 (任意事業) 14,527 千円  
 《事業内容》 就労意欲の喚起や、就労に向けた基礎能力の形成を目的として、日常生活自立・社会生活自立の段階から支援を行う。  
 《実施方法》 委託事業として実施
4. 家計改善支援事業 (任意事業) 9,409 千円  
 《事業内容》 家計管理に関する相談と指導及び家計改善の意欲を高める支援を行うとともに、必要な貸付けのあっせん等の支援を行う。  
 《実施方法》 委託事業として実施
5. 子どもの学習・生活支援事業 (任意事業) 20,190 千円  
 《事業内容》 市内4地区(北部・東部・西部・御所見)に拠点を開設し、学校等の支援機関と連携しながら、生活困窮世帯の子どもへの学習支援、居場所づくり及び不登校等の課題を有する子どもに対する支援を行う。また、子どもを取り巻く保護者や世帯の生活環境や生活上の課題解決に向け支援を行う。  
 《実施方法》 委託事業として実施
6. 一時生活支援事業 (任意事業) 1,802 千円  
 《事業内容》 居住のない生活困窮者であって、所得が一定水準以下の者に対し、宿泊場所等を提供するとともに、入所者への自立に向けた相談支援を行う。  
 《実施方法》 県及び市による広域・共同により、委託事業として実施

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
64,440	64,281	64,281	64,281	257,283	

民生費

事業名	成年後見制度等推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 19 説明 01			地域共生社会推進室		
指針体系コード	2-1-31		まちづくりテーマ 健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費		重点施策名 地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	42,427	8,894	7,850			25,683
令和3年度	38,917	7,417	7,171			24,329
対前年度	3,510	1,477	679			1,354
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				6,239
		生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				2,655
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				3,119
		地域医療介護総合確保基金(介護分)事業費補助金				4,731

<拡充事業> 成年後見制度利用促進事業の実施

【施策等を必要とする背景】

成年後見制度の利用の促進に関する法律及び国の通知「成年後見制度利用促進基本計画に係るKPIを踏まえた体制整備の推進について」により、令和3年度末までに全市町村に中核機関を整備することが求められており、本市では令和元年度から、藤沢市社会福祉協議会への業務委託により、ふじさわあんしんセンターを中核機関として位置付け、既存の仕組みを生かしつつ、機能拡充に向け、支援関係者によるチームづくりと、チーム支援、さらには成年後見制度の利用促進機能及び後見人支援の機能などを含めた一体的な支援体制の整備を進めてきた。

【提案に至るまでの経緯】

令和元年度から、中核機関における「相談・広報機能」の充実に加えて、「成年後見制度利用促進機能」、「後見人支援機能」の具体的な実施内容について、専門士業や関係機関等で構成される地域権利擁護ネットワーク連絡会や成年後見制度利用促進に関する検討会において、複雑化、複合化した相談への対応や、より専門的な見地や判断が求められる事案に対し、専門士業によるアウトリーチ支援や、後見人等が選任されるまでの間の緊急的な金銭管理へのニーズに対応するため、中核機関としての機能の拡充に向けて検討を重ねた。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

地域福祉計画2026

権利擁護のための支援の充実にして、意思決定支援及び成年後見制度の利用促進を位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

専門士業によるアウトリーチ支援や緊急事務管理事業を実施することで、困難な課題への解決が必要な方に対し、より効果的な支援が可能となり、誰もが住み慣れた地域で安心して生活することをめざす、地域共生社会の実現に向けた取組の一端を担うものと捉えている。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

令和4年度以降 成年後見制度利用促進事業 8,624 千円



**【事業概要】**

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及啓発、また相談・支援体制整備を図ることにより、判断能力が十分でない高齢者や障がいのある人が、適切にサービスを利用し、安心して暮らせる地域づくりを進めることを目的とし、成年後見制度利用支援事業の実施及び藤沢市社会福祉協議会内に設置している「ふじさわあんしんセンター」への助成等を実施する。

- 1. 市民後見人養成事業 4,762 千円  
 適切かつ安定的に権利擁護の推進を図るため、市民後見人の育成及び活用に向けた基盤整備をふじさわあんしんセンターへの業務委託により実施
- 2. ふじさわあんしんセンターに対する補助等 20,947 千円  
 成年後見制度利用支援体制の構築に係る補助及び日常生活自立支援事業に対する事業費補助
- 3. 後見人に対する報酬等 7,272 千円  
 成年後見人等への報酬助成
- 4. その他旅費等 822 千円  
 市長申立てによる審判請求  
 親族等の申立てによる審判請求に係る手続費用の支援

- (拡) 5. 成年後見制度利用促進事業 8,624 千円  
 中核機関としての機能である権利擁護の地域連携ネットワークの充実やチーム支援、アウトリーチの実施、さらに成年後見制度の周知や情報発信を目的とした広報活動など、成年後見制度利用促進に向けた体制整備をふじさわあんしんセンターへの業務委託により実施する。  
 また、後見人等が選任されるまでの間の緊急的な金銭管理へのニーズに対応するため、緊急事務管理事業を行うことで、中核機関としての機能の充実を図る。

※ 高齢者を対象とする事業の一部は、介護保険事業費特別会計にて実施

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
38,917	42,427	42,427	42,427	166,198	

民生費

事業名	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 24 説明 01	地域共生社会推進室				
指針体系コード	2-1-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	28,457	1,963			20,922	5,572
令和3年度	25,555	17,630			1,900	6,025
対前年度	2,902	△ 15,667			19,022	△ 453
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				1,963
	(その他)	愛の輪福祉基金繰入金				20,922

【事業概要】

藤沢型地域包括ケアシステムの推進にあたり、支えあいの地域づくりに向けた活動を実施する団体へ運営費及び家賃等の補助を行う。

1. 支えあいの地域づくり活動に対する補助 24,491 千円

事業名		団体数	予算額 (千円)
地域の縁側事業		45	11,085
基本型	誰もが気軽に立ち寄り、交流や相談ができる居場所	29	
特定型	特定の利用対象者が自由に集え、交流できる居場所	8	
基幹型	基本型の機能に加え、介護予防特化型を除く地域の縁側事業の中核としての役割を担う居場所	4	
介護予防特化型	介護予防を目的に、体操や軽運動を活動の中心とした高齢者の居場所 (高齢者支援課で実施)	4	介護保険事業費特別会計で計上
地区ボランティアセンター事業 地区活動のコーディネート等による、住民を主体とした地域支えあい活動の拠点		12	11,592
安全・安心ステーション事業 地域における防犯意識の高揚と地域住民による防犯活動の活発化を図る拠点		7	1,814

2. 地域の縁側事業に係る事務経費等 3,966 千円

- (1) 地域の縁側ポイント支援金 39 千円

地域の縁側においてボランティア活動を行った者に対してポイントを付与し、活動者からの申請に基づき1ポイント100円の支援金を、前年度の付与ポイントに対し、支給する。

- (2) 地域の縁側活動支援事業 3,927 千円

地域団体など、それぞれの運営主体による地域の縁側の活動を藤沢市社会福祉協議会と協働して支援するため、活動支援業務を委託する。

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
25,555	28,457	32,858	34,178	121,048	

民生費

事業名	障がい者相談支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 16 説明 02			障がい者支援課		
指針体系コード	2-1-51	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	113,641	38,636	17,296			57,709
令和3年度	112,379	45,404	10,859			56,116
対前年度	1,262	△ 6,768	6,437			1,593
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				34,593
		生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				4,043
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				17,296

【事業概要】

市内を人口10万人前後の4つの地域に区分し、身近な場所での総合相談窓口として、市民センター等に「障がい者地域相談支援センター」を設置する。また、障がい特性に応じた専門相談支援も継続し、連携を図ることで、多様なニーズに対応する相談支援事業を行う。

1. 相談支援事業業務委託 113,555 千円
  - ・障がい者地域相談支援センター 湘南台・善行・Fプレイス・辻堂
  - ・専門相談支援事業所 重症心身障がい・発達障がい・高次脳機能障がい
  - ・基幹相談支援センター
  
2. 相談支援事業普及啓発 86 千円

相談支援事業についてパンフレットを作成し、普及啓発を図る。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
112,379	113,641	113,641	113,641	453,302	

介護保険事業費

事業名	介護保険事業費					
予算科目	款	項目	細目	説明	介護保険課・高齢者支援課・地域共生社会推進室・地域医療推進課	
指針体系コード	2-1-61	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる	重点施策名	地域共生社会の実現に向けた取組の推進	
指針体系コード	2-2-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる	重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	31,816,763	6,830,702	4,444,192		13,331,058	7,210,811
令和3年度	30,339,205	6,506,602	4,244,245		12,638,429	6,949,929
対前年度	1,477,558	324,100	199,947		692,629	260,882
主な特定財源の内訳	(国庫支出金)	介護給付費負担金				5,235,871
	(県支出金)	介護給付費負担金				4,144,628
	(その他)	介護給付費交付金				7,793,031
		一般会計繰入金				5,078,399

【事業概要】

介護保険法に基づき、介護保険事業の円滑な運営を図るため、被保険者の資格管理及び保険料の賦課徴収並びに介護認定の審査を実施し、要介護（要支援）認定を受けた人に対して、介護（予防）サービスを提供する。また、藤沢型地域包括ケアシステムの推進に向けた取組の一つとして、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）をはじめとする地域支援事業を実施し、介護予防を進めるとともに、高齢者が地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援の充実を図る。さらに、窓口業務等協働事業における実施設計等の準備委託を実施した業務について、市民サービスの維持・向上が見込まれるため、民間事業者との協働事業（業務委託）として実施する。

1. 対象者

(単位：人)

区分	人数	うち要介護者等
第1号被保険者	111,073	20,833
第2号被保険者	158,107	485
被保険者合計	269,180	21,318

要介護者等は、第1号被保険者のうち65歳以上で介護や支援が必要な人及び第2号被保険者のうち40歳以上65歳未満で特定疾病により、介護や支援が必要な人

2. 第1号被保険者保険料賦課総額 7,192,467 千円  
 保険料基準額（年額） 66,000円（5,500円×12月）

3. 保険給付費の総額（主なサービス費） 28,885,475 千円  
 (1) 居宅介護サービス給付費 14,397,536 千円  
 (2) 地域密着型介護サービス給付費 4,408,876 千円  
 (3) 施設介護サービス給付費 7,694,700 千円  
 (4) 介護予防サービス給付費 911,487 千円  
 (5) 地域密着型介護予防サービス給付費 45,903 千円

4. 地域支援事業費の総額 2,100,416 千円

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業（主な事業）

要支援認定を受けた人及び基本チェックリストにより事業対象者に該当した人に対し、介護予防・生活支援サービス事業を実施するとともに、すべての第1号被保険者等を対象に一般介護予防事業を行う。

ア 介護予防ケアマネジメント費（介護予防・生活支援サービス事業）

179,175 千円

イ 訪問型サービス費（介護予防・生活支援サービス事業）

392,949 千円

ウ 通所型サービス費（介護予防・生活支援サービス事業）

885,626 千円

- エ 一般介護予防事業費（一般介護予防事業） 27,224 千円  
介護予防や健康増進についての啓発を行うとともに、地域での介護予防に資する活動に対して支援を行う。
- オ いきいきパートナー事業費（一般介護予防事業） 2,970 千円  
福祉施設等におけるボランティア活動に対してポイントを付与し、そのポイント数に応じた支援金を交付する。
- カ 地域ささえあいセンター運営事業費（一般介護予防事業） 10,500 千円  
高齢者の生きがいづくりや多世代交流などを推進する藤沢市地域ささえあいセンターの運営経費を助成する。
- (2) 包括的支援事業（主な事業）
- ア 包括的支援事業費 480,049 千円  
高齢者への包括的な支援を行う地域包括支援センターの設置・運営を行う。
- イ 認知症総合支援事業費 2,144 千円  
認知症の人及びその家族に対する早期支援等、認知症施策を推進する。
- ウ 生活支援体制整備事業費 51,303 千円  
ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター」を配置するとともに、関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進するための協議体を設置する。  
また、総合事業の多様な担い手を養成するための研修会を実施する。
- エ 在宅医療・介護連携推進事業費 10,886 千円  
在宅医療推進会議の開催、多職種研修会や在宅医療拠点運営事業を行う。
- オ 地域ケア会議運営事業費 3,238 千円  
多職種協働による事例検討や地域課題を共有するため、地域ケア会議を開催する。
- (3) 任意事業（主な事業）
- ア 介護給付費等適正化事業費 10,619 千円  
介護保険サービス利用者への介護給付費の通知のほか、ケアマネジメントの質の向上を図るため、ケアマネジャー等に対する支援及びケアプラン点検を実施するとともに、リハビリテーション専門職による住宅改修及び福祉用具貸与点検を実施する。
- イ 介護サービス相談員派遣事業費 4,974 千円  
介護保険サービス利用者の日々の生活での不安や疑問等に対応するため、介護保険施設等に介護サービス相談員を派遣する。
- ウ 成年後見制度利用支援事業費 25,952 千円  
判断能力が十分でない認知症高齢者等の権利を守るため、成年後見制度利用のための相談支援や市長申立てによる審判請求、制度の普及啓発事業を行う。
- エ 家族介護者教室事業費 2,046 千円  
高齢者等を介護している家族等を対象に、孤立防止に向けた介護者相互の交流や介護に必要な知識の習得の場として、家族介護者教室を開催する。
- オ 認知症サポーター養成事業費 567 千円  
認知症を正しく理解し、偏見を持たず、地域において認知症の人やその家族を温かく見守る認知症サポーターを養成する。

- (括) 5. 窓口業務等協働事業業務委託 177,808 千円  
各種申請受付事務、当該申請に係るシステム入力などの補助的業務及び電話対応、運営管理マニュアル、業務フロー及びマニュアルの更新、月次及び年次報告書の作成、モニタリング指標の測定、内部監査の実施を行う。  
なお、令和4年度については、令和3年度に行った実施設計等を踏まえ、実施済みの認定担当業務のほか、総務・給付担当業務及び資格・保険料担当業務も含めて協働事業として実施する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
678,820	726,795	732,278		2,137,893	包括的支援事業

衛生費

事業名	健康づくり推進事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 01			健康づくり課		
指針体系コード	2-2-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	68,577	2,582	2,441		1,987	61,567
令和3年度	74,418	2,271	2,441		1,987	67,719
対前年度	△ 5,841	311	0		0	△ 6,152
特定財源の内訳	(国庫支出金)	受動喫煙対策促進事業補助金				2,582
	(県支出金)	健康増進事業費補助金				2,441
	(その他)	後期高齢者健康診査補助金				1,987

【事業概要】

健康増進計画（第2次）の到達目標である「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を達成するため、生活習慣病予防及び重症化予防を目的とする健康教育・健康相談等、健康づくり事業を実施し、市民が健康づくりに取り組みやすい社会環境の整備を図る。

1. 健康づくり施策の進捗状況や事業の検証を行うための会議の開催 891 千円
2. がん対策や健康づくり、生活習慣病予防等に関する各種事業の実施 60,903 千円
3. ふじさわ歩くプロジェクトの実施 3,278 千円  
身体活動の促進を図るため、歩きたくなる情報発信や環境づくりを実施
4. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 3,505 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
74,418	68,577	77,072	81,795	301,862	

衛生費

事業名	がん検診事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 03			健康づくり課		
指針体系コード	2-2-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	661,087	8,935				652,152
令和3年度	676,155	7,905				668,250
対前年度	△ 15,068	1,030				△ 16,098
特定財源の内訳	(国庫支出金)	がん検診総合支援事業補助金				8,935

【事業概要】

がんの早期発見、早期治療のため、市内指定医療機関でがん検診を実施する。対象者には個別通知を行い、受診率の向上を図る。

特に女性のがんについては、クーポンの配付を継続するとともに、検診車によるマンモグラフィ検診の実施により普及啓発を図る。

- |   |            |
|---|------------|
| 1. 胃がん検診（実施期間4月～3月）   | 153,628 千円 |
| ・ 40歳以上の市民を対象にバリウムによる検診を行う。   | 59,844 千円  |
| ・ 50歳以上の該当年齢の市民を対象に内視鏡検査を行う。  | 93,784 千円  |
| 自己負担額は3,000円（バリウムは70歳以上無料）  |            |
| 2. 胃がんリスク検診（実施期間6月～10月）   | 7,259 千円   |
| 40～70歳の5歳刻みの年齢の市民を対象に採血による検診を行う。  |            |
| 自己負担額は1,000円  |            |
| 3. 子宮頸がん検診（実施期間4月～3月）   | 112,993 千円 |
| 20歳以上の該当年齢の女性市民を対象に細胞診検診を行う。  |            |
| 自己負担額は2,000円（クーポン対象者及び70歳以上は無料）   |            |
| 4. 乳がん検診（実施期間4月～3月）   | 89,231 千円  |
| 40歳以上の該当年齢の女性市民を対象にマンモグラフィによる検診を行う。                                     |            |
| 自己負担額は40歳～49歳まで（2方向撮影）は3,000円（クーポン対象者は無料）、50歳以上（1方向撮影）は1,800円（70歳以上は無料） |            |
| 5. 肺がん検診（実施期間6月～10月）  | 121,059 千円 |
| 40歳以上の市民を対象に胸部X線検査及び喀痰検査による検診を行う。                                       |            |
| 自己負担額は600円（70歳以上は無料）  |            |
| 6. 大腸がん検診（実施期間6月～10月）   | 48,517 千円  |
| 40歳以上の市民を対象に便潜血反応検査による検診を行う。  |            |
| 自己負担額は600円（70歳以上は無料）  |            |
| 7. 前立腺がん検診（実施期間6月～10月）  | 32,104 千円  |
| 50歳以上の男性市民を対象にPSA検査による検診を行う。  |            |
| 自己負担額は1,000円  |            |
| 8. マンモグラフィ検診車による集団検診の実施   | 3,021 千円   |
| 9. がん検診デジタル読影の実施  | 60,841 千円  |
| 胃がん、乳がん、肺がんの各検診の二次読影において、デジタル読影を実施する。                                   |            |
| 10. その他事務経費   | 32,434 千円  |
| 消耗品費、印刷製本費等   |            |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
676,155	661,087	686,049	692,909	2,716,200	

介護保険事業費

事業名	介護保険事業費 <再掲>					
予算科目	款 項 目 細 目 説 明		介護保険課・高齢者支援課・地域共生社会推進室・地域医療推進課			
指針体系コード	2-1-61	まちづくりテーマ 重点施策名	健康で豊かな長寿社会をつくる 地域共生社会の実現に向けた取組の推進			
指針体系コード	2-2-31	まちづくりテーマ 重点施策名	健康で豊かな長寿社会をつくる 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	31,816,763	6,830,702	4,444,192		13,331,058	7,210,811
令和3年度	30,339,205	6,506,602	4,244,245		12,638,429	6,949,929
対前年度	1,477,558	324,100	199,947		692,629	260,882
主な特定財源の内訳	(国庫支出金)	介護給付費負担金				5,235,871
	(県支出金)	介護給付費負担金				4,144,628
	(その他)	介護給付費交付金				7,793,031
		一般会計繰入金				5,078,399

【事業概要】

介護保険法に基づき、介護保険事業の円滑な運営を図るため、被保険者の資格管理及び保険料の賦課徴収並びに介護認定の審査を実施し、要介護（要支援）認定を受けた人に対して、介護（予防）サービスを提供する。また、藤沢型地域包括ケアシステムの推進に向けた取組の一つとして、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）をはじめとする地域支援事業を実施し、介護予防を進めるとともに、高齢者が地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援の充実を図る。さらに、窓口業務等協働事業における実施設計等の準備委託を実施した業務について、市民サービスの維持・向上が見込まれるため、民間事業者との協働事業（業務委託）として実施する。

1. 対象者

(単位：人)

区 分	人 数	うち要介護者等
第1号被保険者	111,073	20,833
第2号被保険者	158,107	485
被保険者合計	269,180	21,318

要介護者等は、第1号被保険者のうち65歳以上で介護や支援が必要な人及び第2号被保険者のうち40歳以上65歳未満で特定疾病により、介護や支援が必要な人

2. 第1号被保険者保険料賦課総額 7,192,467 千円  
 保険料基準額（年額） 66,000円（5,500円×12月）

3. 保険給付費の総額（主なサービス費） 28,885,475 千円  
 (1) 居宅介護サービス給付費 14,397,536 千円  
 (2) 地域密着型介護サービス給付費 4,408,876 千円  
 (3) 施設介護サービス給付費 7,694,700 千円  
 (4) 介護予防サービス給付費 911,487 千円  
 (5) 地域密着型介護予防サービス給付費 45,903 千円

4. 地域支援事業費の総額 2,100,416 千円

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業（主な事業）

要支援認定を受けた人及び基本チェックリストにより事業対象者に該当した人に対し、介護予防・生活支援サービス事業を実施するとともに、すべての第1号被保険者等を対象に一般介護予防事業を行う。

ア 介護予防ケアマネジメント費（介護予防・生活支援サービス事業）

179,175 千円

イ 訪問型サービス費（介護予防・生活支援サービス事業）

392,949 千円

ウ 通所型サービス費（介護予防・生活支援サービス事業）

885,626 千円



- エ 一般介護予防事業費（一般介護予防事業） 27,224 千円  
介護予防や健康増進についての啓発を行うとともに、地域での介護予防に資する活動に対して支援を行う。
- オ いきいきパートナー事業費（一般介護予防事業） 2,970 千円  
福祉施設等におけるボランティア活動に対してポイントを付与し、そのポイント数に応じた支援金を交付する。
- カ 地域ささえあいセンター運営事業費（一般介護予防事業） 10,500 千円  
高齢者の生きがいがづくりや多世代交流などを推進する藤沢市地域ささえあいセンターの運営経費を助成する。
- (2) 包括的支援事業（主な事業）
- ア 包括的支援事業費 480,049 千円  
高齢者への包括的な支援を行う地域包括支援センターの設置・運営を行う。
- イ 認知症総合支援事業費 2,144 千円  
認知症の人及びその家族に対する早期支援等、認知症施策を推進する。
- ウ 生活支援体制整備事業費 51,303 千円  
ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター」を配置するとともに、関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進するための協議体を設置する。  
また、総合事業の多様な担い手を養成するための研修会を実施する。
- エ 在宅医療・介護連携推進事業費 10,886 千円  
在宅医療推進会議の開催、多職種研修会や在宅医療拠点運営事業を行う。
- オ 地域ケア会議運営事業費 3,238 千円  
多職種協働による事例検討や地域課題を共有するため、地域ケア会議を開催する。
- (3) 任意事業（主な事業）
- ア 介護給付費等適正化事業費 10,619 千円  
介護保険サービス利用者への介護給付費の通知のほか、ケアマネジメントの質の向上を図るため、ケアマネジャー等に対する支援及びケアプラン点検を実施するとともに、リハビリテーション専門職による住宅改修及び福祉用具貸与点検を実施する。
- イ 介護サービス相談員派遣事業費 4,974 千円  
介護保険サービス利用者の日々の生活での不安や疑問等に対応するため、介護保険施設等に介護サービス相談員を派遣する。
- ウ 成年後見制度利用支援事業費 25,952 千円  
判断能力が十分でない認知症高齢者等の権利を守るため、成年後見制度利用のための相談支援や市長申立てによる審判請求、制度の普及啓発事業を行う。
- エ 家族介護者教室事業費 2,046 千円  
高齢者等を介護している家族等を対象に、孤立防止に向けた介護者相互の交流や介護に必要な知識の習得の場として、家族介護者教室を開催する。
- オ 認知症サポーター養成事業費 567 千円  
認知症を正しく理解し、偏見を持たず、地域において認知症の人やその家族を温かく見守る認知症サポーターを養成する。

- (括) 5. 窓口業務等協働事業業務委託 177,808 千円  
各種申請受付事務、当該申請に係るシステム入力などの補助的業務及び電話対応、運営管理マニュアル、業務フロー及びマニュアルの更新、月次及び年次報告書の作成、モニタリング指標の測定、内部監査の実施を行う。  
なお、令和4年度については、令和3年度に行った実施設計等を踏まえ、実施済みの認定担当業務のほか、総務・給付担当業務及び資格・保険料担当業務も含めて協働事業として実施する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
46,359	27,224	27,224		100,807	一般介護予防事業費

総務費

事業名	ミライカナエル活動サポート事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 05	市民自治推進課				
指針体系コード	2-3-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	9,056					9,056
令和3年度	8,096					8,096
対前年度	960					960

【事業概要】

今後の人口構造の変化や住民ニーズの多様化を起因とする地域課題へ対応するため、叶えたい未来を想定し、その目的に向かって企画提案する市民活動団体に対し、立ち上げ期から発展期に至るまで、段階的に支援するミライカナエル活動サポート事業を行う。

1. 市民活動団体の成長支援及び多様な主体との協働の推進 8,996 千円

市民活動団体の目標や成長度によって、市民活動への「きっかけづくり」から、現在及び将来課題を解決する「NPO等の成長支援」、「多様な主体の協働」まで段階に応じた3つの制度を設けるとともに、事業の提案期から実施期まで活動のサポートを行う。

・交付対象コース

コース名	支援内容	交付上限額 (1団体当たり)	採択数
①スタート支援コース ※ユース優先選考あり	市民活動の立ち上げ	200千円	5団体
②ステップアップ支援コース	運営基盤強化や事業発展	500千円	3団体
③協働コース	行政やNPO、企業等との協働	1年目 1,500千円 2年目 1,000千円	2団体 2団体

※構成員の過半数が若者のユース団体は、補助金額合計200千円の範囲内で優先選考。

・事業実施へのサポート

コース	サポート名	内容
①、②	伴走支援業務	事業の実効性や団体の継続性を高めるため、中期的視点をもって、講座や相談会等を行い、提案事業の実施を伴走する。
③	協働コーディネーター業務	地域で活動する市民活動団体の意向や特性を踏まえ、協働先となる民間法人、行政等とのマッチングや事業提案の調整を行う。

・積算内訳

内容	予算額
①スタート支援コース	1,000千円
②ステップアップ支援コース	1,500千円
③協働コース	5,000千円
①、②伴走支援業務委託	996千円
③協働コーディネーター業務委託	500千円

2. 団体の成長や協働を促進する講座等の開催 60 千円

事業の更なる発展を望む団体を対象に、団体の成長を支援する講座や協働の理解を深める講座等をNPO運営相談サポートテラスと連携して開催する。

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
8,096	9,056	10,556	11,556	39,264	

総務費

事業名	六会地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 01	六会市民センター				
指針体系コード	2-3-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	2,175					2,175
令和3年度	1,596					1,596
対前年度	579					579

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「素的なふるさと 六会」を実現するため、さまざまなまちづくり事業を行い、地域力を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 花の植栽活動等による美しいまちづくり事業 278 千円

地区内の公園、小・中学校等への花の植栽活動の支援や「六会の美しい庭・風景の写真展」、「ふるさと六会今昔写真展」、「あいさつ声掛け運動」を行い、自然とのふれあいや近所とのつながりを深めるとともに、美しいまちづくりを進める。

・ 幼苗の育成及び花苗配付、写真展の開催等（消耗品費・印刷製本費）

2. 六会人材センター推進事業 1,053 千円

地域の人材発掘やボランティア先とのコーディネート事業等を行うとともに、学習支援などを通じて住民相互のつながりを深め、地域活動の推進を図る。

・ 六会人材センター運営（委託料）

3. 六会まちおこし活動支援事業 841 千円

地域の子どもから高齢者・障がい者まで皆が楽しめるイベント等の掘り起こしや支援を行い、地域文化・郷土を愛する心を醸成し、活気あるまちづくりを推進する。

(1) 六会日大前駅ロータリーにイルミネーション・キャンドルを設置する。また、年間を通じた六会ふるさと音頭の普及活動を行う。

・ イルミネーションの設置（光熱水費・手数料）

(新) (2) 地域の特徴や歴史を記載した「六会ふるさとかるた」の作成及び普及活動などを通じて、世代間・地域間交流を行う。

・ 「六会ふるさとかるた」の作成（消耗品費）

(新) (3) 地域の宝であり、誇りでもある六会地区の伝統文化（民俗芸能・民話など）にスポットをあて、「(仮)六会のおはなし」として冊子化し、埋もれつつある伝統文化の継承を目的とした事業を行う。

・ 「(仮)六会のおはなし」の作成印刷（印刷製本費）

4. 交通不便地区解消検討事業 3 千円

西俣野地区で運行する予約型乗合タクシーの利用者拡大を図るため、協議会主催の会議に参加するとともに、会報による周知を支援する。

・ 会報作成用の用紙（消耗品費）



花の植栽活動等による美しいまちづくり事業  
(幼苗植替え作業)



六会まちおこし活動支援事業  
(駅前へのイルミネーション設置)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,596	2,175	1,794	1,794	7,359	

総務費

事業名	片瀬地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 02	片瀬市民センター				
指針体系コード	2-3-3 1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,938					1,938
令和3年度	2,132					2,132
対前年度	△ 194					△ 194

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史の薫りと潮の香りがただようふれあいのまち 片瀬・江の島」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業 1,652 千円  
 地域のまちづくり活動の推進を図るため、ボランティア活動をしたい人と地域のボランティア活動をつなぐコーディネート事業やボランティア活動への関心を醸成する機会となる講演会などを企画・実施する。  
 ・コーディネーター謝礼等、事業運営に関する経費（委託料）
2. まちかど相談事業 206 千円  
 子育て世代や高齢者などの生活支援の充実を図るため、身近な地域の居場所等を活用し臨床心理士等の専門家による相談事業を支援する。  
 ・臨床心理士謝礼等、まちかど相談事業に関する経費（補助金）
3. 民俗文化財等継承事業 13 千円  
 制作職人の不在により、一旦は途絶えた地域の伝統民芸品である片瀬こまの保存活動を支援し、更なる普及・発展を図るため、体験会や大会用のこまを購入する。  
 ・片瀬こま（消耗品費）
4. 緑と花いっぱい推進活動事業 67 千円  
 日本有数の観光地である江の島入口の景観の向上を図るため、江の島弁天橋植栽帯の花植え活動を支援する。  
 ・花苗、肥料、上下水道代等（消耗品費・光熱水費）



片瀬地区人材・情報バンクセンター事業  
(ボランティアによる講演及びフィールドワーク)



民俗文化財等継承事業  
(片瀬こま大会)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
2,132	1,938	1,938	1,938	7,946	



総務費

事業名	明治地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2	項 1	目 1 2	細目 02	説明 03	明治市民センター
指針体系コード	2-3-4 1		まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる		
			重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	604					604
令和3年度	543					543
対前年度	61					61

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「明るく楽しい未来を創るまち、めいじ」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 歴史・文化継承事業 452 千円  
 明治地区の歴史文化を継承していくための学習・啓発の場として、明治郷土史料室の企画運営を明治郷土史料室運営委員会に委託し実施する。  
 平成25年に国登録有形文化財に登録された旧三觜八郎右衛門家住宅が解体予定であることから、現在の姿をVR化した映像を活用し、次世代への継承を図る。  
 ・小笠原東陽に係る書物等資料の調査（報償金）  
 ・明治郷土史料室の運営（委託料）  
 ・旧三觜八郎右衛門家住宅のVR機器の賃貸借（賃借料）
2. 明治地区マナーアップ推進事業 16 千円  
 自転車運転、歩きタバコ、ごみのポイ捨て等、さまざまな分野で地域のマナー向上を図るため、地域団体や住民、学校等が連携し、地域一丸となり街頭キャンペーンをはじめとする啓発活動を実施する。  
 ・チラシ作成（印刷製本費）
3. 子育て支援充実事業 120 千円  
 明治地区内の子育てグループやフリースペースにここにこ、市の子育て関係機関等が一堂に集い、団体相互の連携を図るほか、それぞれの活動を地域に発信する「明治発！子育て応援メッセ」を実施し、各団体のブースの開設やシンポジウム等を行う。  
 ・子育て応援メッセ開催経費（報償金・消耗品費・印刷製本費）
4. 明治地区健康体操推進事業 16 千円  
 明治地区内住民の健康維持と住民相互の交流を図り、健康でいきいきと生活できる地域づくりを推進するため、自治会・町内会等が中心となって、公園等地区内各所で健康体操を実施することができるよう支援する。  
 ・チラシ作成（印刷製本費）



歴史・文化継承事業  
 (旧三觜八郎右衛門家住宅VR機器の賃貸借)



明治地区健康体操推進事業  
 (柏山公園あかじん体操)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
543	604	604	604	2,355	

総務費

事業名	御所見地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2	項 1	目 1 2	細目 02	説明 04	御所見市民センター
指針体系コード	2-3-5 1		まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる		
			重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	480					480
令和3年度	480					480
対前年度	0					0

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域資源を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 田園パーク構想推進事業 480 千円

御所見地区の活性化を促進するため、地域団体やボランティアと連携して、少年の森を拠点とした散策ルートを整備を進めるとともに、地区内の農畜産物を使用した「御所見グルメ」の更なる定着及び新たな「御所見ブランド」の創出をめざす。

また、農地や樹林地、豊かな水系に恵まれた地域特性を生かし、四季折々の花に彩られた環境整備を進める。

- ・花の植栽活動（消耗品費）
- ・散策ルート整備、地場産食材を使用した「食」の提供促進、地区マスコットキャラクターを使用したPR活動等（補助金）



花の植栽活動（少年の森）  
 上段：コスモス（夏）  
 下段：ノースポール・パンジー（秋）



地場産食材を使用した「食」の提供促進  
 （ごしょみ汁の提供）



地区マスコットキャラクターを使用したPR活動（ごしょみカレンダーの作成）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
480	480	480	480	1,920	

総務費

事業名	遠藤まちづくり推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 05	遠藤市民センター				
指針体系コード	2-3-6 1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	878				0	878
令和3年度	985				704	281
対前年度	△ 107				△ 704	597

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「人と自然がいきづくまち」夢のあるまち遠藤」を実現するため、各種事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりを推進する。

1. 高齢者見守りネットワーク体制推進事業 40 千円  
 複数の地域団体やボランティア団体、行政が連携し、高齢者のための活動を対象者にわかりやすく周知する。  
 ・チラシの作成（消耗品費）
2. 自然環境推進事業 139 千円  
 地域と市が一体となり整備して都市公園となった「いけのかしら公園」において、遠藤の農産物等をPRするとともに地域交流の場とするため、遠藤朝市の開催を支援する。環境保全活動等の後継者を育成するため、児童生徒やその保護者等を対象に、地区の自然にふれあいながらの散策及び環境美化等の環境保全活動を行う。  
 ・遠藤朝市の実施（補助金）  
 ・環境保全活動の実施（報償金・消耗品費）
3. 遠藤魅力アップ推進事業 446 千円  
 寒川町との連携による小出川彼岸花まつりや、あじさいまつりの観光客等に対応するための仮設トイレ（計7基）を設置する。また、史跡案内看板の維持補修を行う。  
 ・仮設トイレ設置、汲み取り（賃借料・手数料）  
 ・史跡案内看板の維持補修（施設修繕費）
4. 地域活動の広報充実事業 253 千円  
 遠藤地区のPRを行うため、地区内児童生徒の視点で描く遠藤の自然や風景、農産物、お祭等をテーマにポスターを募集して「わがまち遠藤ポスターコンクール」を開催する。地域活動や地域イベント情報を効果的に発信するため、多様な媒体を活用するとともにさまざまなニーズに対応するため、まちづくりニュースを年1回発行する。  
 ・わがまち遠藤ポスターコンクールの実施に係る物品（報償金・消耗品費）  
 ・コンクール優秀作品を使用したポスターの作成（印刷製本費）  
 ・まちづくりニュースの発行（印刷製本費）
5. 道路環境整備事業  
 交通安全・防犯の観点から地区内道路等について自治会ごとに点検を行い、必要に応じて担当部署が作成している看板を設置し注意喚起・啓発等を行う。



遠藤魅力アップ推進事業  
(あじさいまつり)



地域活動の広報充実事業  
(わがまち遠藤ポスターコンクール表彰式)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
985	878	878	878	3,619	



総務費

事業名	長後地域活性化事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 06	長後市民センター				
指針体系コード	2-3-71	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	932					932
令和3年度	933					933
対前年度	△ 1					△ 1

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環」を実現するため、地域の特性を生かした事業を実施することにより、地域の活性化を図る。

1. 健康づくり普及事業 142 千円  
 地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を専門機関と協働で実施する。  
 ・健康づくりに関する講座の実施（報償金・消耗品費）
2. 長後すくすく応援事業 136 千円  
 子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やボランティア等が実施する子育て応援事業を支援する。  
 ・子育て応援事業「長後子育てメッセ」の実施（補助金）
3. 地域人材発掘・育成事業 39 千円  
 地域コミュニティの次世代を担う人材の発掘や育成を図るため、地域活動及びボランティア活動に係る情報発信等を行う。  
 ・機関紙「つなぐ」の作成等（消耗品費）
4. ちよご見守りネットワーク事業 58 千円  
 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、「ちよご見守りネットワークシステム」の推進を図る。  
 ・「ちよご見守りネットワーク通信」の発行（印刷製本費）
5. 観光・歴史資源開拓事業 259 千円  
 観光・歴史資源の開拓等を目的として、名所・旧跡の解説板の設置等を行う。  
 ・歴史観光ウォークラリーの実施（消耗品費・保険料）  
 ・解説板の設置（施設修繕費）
6. 交通手段支援事業 145 千円  
 交通不便地域の解消のため、地域公共交通の本格運行に向けた取組を行う。  
 ・事業案内リーフレットの発行等（消耗品費・印刷製本費）
7. 花いっぱい運動推進事業 120 千円  
 花があふれる地域づくりのため、花フェスタの開催、花の広場の定例作業、長後駅東口及び市民センター北側広場の花壇植栽、プランターへの植栽等の活動を支援する。  
 ・花の広場の管理、プランターへの植栽等（補助金）
8. 地域活動支援事業 33 千円  
 環境美化活動への支援を行う。  
 ・環境美化活動に要する用具等（消耗品費）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
933	932	972	972	3,809	



総務費

事業名	辻堂地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2	項 1	目 1 2	細目 02	説明 07	辻堂市民センター
指針体系コード	2-3-8 1		まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる		
			重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	914					914
令和3年度	970					970
対前年度	△ 56					△ 56

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち“湘南辻堂”」を実現するため、各種地域まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

- 辻堂交流事業 553 千円  
 地域住民や地域団体などが、それぞれの役割を担いながら、積極的に意見を出し合い、連携・協力する仕組みを充実するための活動支援等を実施する。
  - ・伝統文化継承に関する講座講師謝礼（報償金）
  - ・環境美化活動に関する花苗等（消耗品費）
  - ・辻堂さんぼ事業（消耗品費）
  - ・湘南ニコニコロードギャラリープロジェクト（消耗品費）
  - ・チラシ作成（消耗品費）
- くらし安心・安全事業 112 千円  
 災害や犯罪などの脅威への対策や地域住民の健康増進等を図るための活動支援を実施する。
  - ・防災に関する講演会講師謝礼（報償金）
  - ・まちづくりに関する講演会講師謝礼（報償金）
  - ・チラシ作成（消耗品費）
- 福祉事業 61 千円  
 健康増進など地域福祉の推進のための活動を実施する。
  - ・認知症に関する講演会講師謝礼（報償金）
  - ・チラシ作成（消耗品費）
- 広報・啓発事業 188 千円  
 辻堂への誇りや愛着を高めてもらうとともに、活動の周知及び参加を促すため、「辻堂プライド」を概念として取組を実施する。
  - ・子ども回覧板作成事業（印刷製本費）
  - ・オンラインcafe周知チラシ・辻堂プライド周知啓発品（消耗品費）
  - ・湘南工科大学との連携によるSNS配信



辻堂交流事業  
(環境美化活動の実施)



辻堂交流事業  
(ギャラリープロジェクト)



広報・啓発事業  
(オンラインcafe配信風景)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
970	914	914	914	3,712	

総務費

事業名	善行地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2	項 1	目 1 2	細目 02	説明 08	善行市民センター
指針体系コード	2-3-9 1		まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる		
			重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	919					919
令和3年度	1,002					1,002
対前年度	△ 83					△ 83

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち」の実現に向けた取組として、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 広報・地域ネットワーク構築事業 456 千円  
郷土づくり推進会議の活動を地域住民に周知する。また、地域で活動する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援するとともに、周知・啓発を図る。  
・ 区内への広報、情報発信に要する紙代等及び広報紙作成（消耗品費・印刷製本費）  
・ 地域の活力を生かした事業に対する活動支援（補助金）
2. 交通不便地域の解消・高齢者等移動支援事業 175 千円  
坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など区内を移動することによって不便を感じる人に対する移動手段「のりあい善行」の運営を支援する。  
・ 区内への交通不便解消に向けた情報発信に要する紙代等（消耗品費）  
・ 「のりあい善行」乗車回数券の作成（印刷製本費）
3. 地域共生社会の構築事業 17 千円  
藤沢型地域包括ケアシステムの推進を図るため、支えあいの地域づくりに向けて、地域におけるさまざまな福祉活動を支援するとともに、区内への情報周知を行う。  
また、こうした良い取組を区内に広げ、根付かせることを推進する。  
・ 区内への地域福祉に関する情報の発信や広報に要する紙代等（消耗品費）
4. 地域活性化に向けた取組の支援・推進事業 271 千円  
善行駅周辺バリアフリー化等のハード整備について、地域住民と協働で推進する。  
また、地域の魅力を広く内外に発信し、善行地区の活性化を図るための事業や取組を支援・推進する。  
・ 区内への活性化事業の周知や啓発のためのチラシなどの紙代等（消耗品費）  
・ 区内の回遊性を高め、地区の魅力を発信するためのマップの作成（印刷製本費）  
・ 駅前・商店街を中心とした地域活性化事業の実施（補助金）



地域共生社会の構築事業  
(団地の井戸端会議「スマホ体験講座」)



地域活性化に向けた取組の支援・推進事業  
(善行駅前バリアフリー化の実証実験)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,002	919	1,161	1,161	4,243	

総務費

事業名	湘南大庭地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 09	湘南大庭市民センター				
指針体系コード	2-3-101	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	471					471
令和3年度	380					380
対前年度	91					91

【事業概要】

湘南大庭地区郷土づくり推進会議において検討した地域課題の解決に必要な事業を実施し、地域まちづくりのテーマ「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」を実現する。

1. 健康なんでも相談事業 301 千円

地域で進展する高齢化の中で、地域と医療をつなぐための相談会や健康づくりに関する講習会等を実施し、心身の活力や生活機能の維持向上など、健康に対する地域住民の意識を高める。

- ・相談会開催に伴う医師等の専門スタッフの人件費及び運営に関する経費（委託料）
- ・地区内大型店舗の催事スペース使用（使用料）

2. 健康体操普及推進事業 30 千円

健康体操の自主グループの育成・支援を行い、地域における健康体操の普及と気軽に参加できる場づくりを広める。

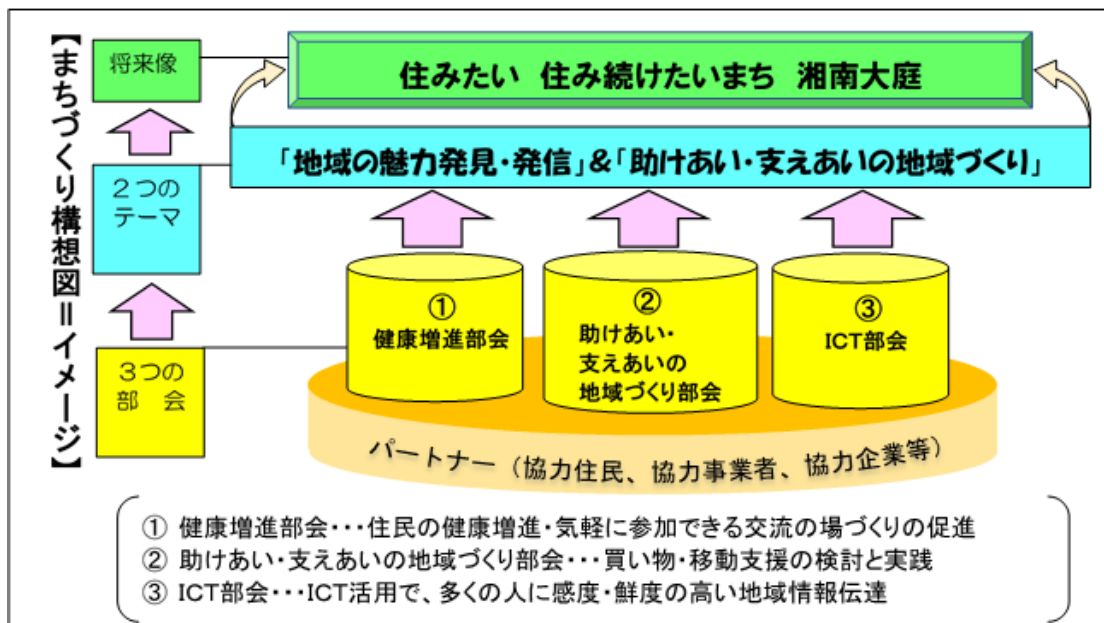
- ・健康増進遊具実技指導等の講師謝礼（報償金）
- ・消耗品等（消耗品費）

(括) 3. ICT普及推進事業 140 千円

令和2年12月に郷土づくり推進会議が実施した「より良いまちづくりアンケート」では、ICTを活用した感度・鮮度の高い地域情報の伝達が求められており、新たな地域課題と捉えて解決に必要な事業を実施する。

さまざまな地域情報について、収集力と発信力の向上や内容の充実により、地域におけるコミュニケーションの活性化や住民活動の魅力、付加価値の増進を図るため、ICTを活用した情報伝達などの取組を普及・推進する。

- ・湘南大庭ポータルサイト運営スキルアップ講座の講師謝礼（報償金）
- ・回覧デジタル化推進パンフレット作成（印刷製本費）



【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
380	471	471	471	1,793	



総務費

事業名	湘南台地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 10	湘南台市民センター				
指針体系コード	2-3-111	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	7,297				1,772	5,525
令和3年度	33,562				10,253	23,309
対前年度	△ 26,265				△ 8,481	△ 17,784
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				1,772

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台」を実現するため、各種事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. ようこそ先輩 in 湘南台事業 18 千円  
 地域と湘南台中学校及びPTAが連携し、中学1年生の職業観や勤労観を育てる目的で、先輩講師との交流事業を開催する。  
 ・ ようこそ先輩 in 湘南台開催経費（報償金・消耗品費）
2. 緑の回遊路事業 90 千円  
 良好な自然環境や文化施設等、地域資産を有効に活用し、多くの人が身近に自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる事業を開催する。  
 ・ ウォークイベント開催経費（消耗品費・印刷製本費）
3. 子育てネットワーク事業 218 千円  
 地域の子育て環境の向上を図るため、保育園、幼稚園、子育て支援センター、各種子育てサークル等が連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などの支援を行う。  
 ・ 湘南台子育て応援メッセ開催補助（補助金）
4. 地域サポーター育成事業 2 千円  
 地域活動を支える人材不足の解消を図るため、社会貢献や地域貢献に意欲のある方を対象に、さまざまな地域活動やイベントに参加協力する地域サポーターを養成する講座を開催する。  
 ・ 地域サポーター養成講座開催経費（消耗品費）
5. 文化創造事業 700 千円  
 湘南台地区の地域性や特性を生かした文化創造の取組の一つとして、湘南台駅地下イベント広場の有効活用を図りながら、展示ギャラリーや活性化イベントなどの多目的イベントを開催する。  
 ・ 駅地下イベント広場活用運営等業務委託（委託料）

- (括) 6. 湘南台駅地下アートスクエア整備事業 6,269 千円  
 湘南台駅地下イベント広場を住民参加型の音楽とアートの文化芸術活動拠点とするため、「湘南台駅地下アートスクエア」として整備する。  
 ・ イベント用品、可動式パネル（消耗品費） 2,215 千円  
 ・ 天井清掃、常設展示パネル等処分（手数料） 633 千円  
 ・ パブリックアートギャラリー（備品購入費） 3,421 千円

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
33,562	7,297	7,524	2,574	50,957	

総務費

事業名	鶴沼地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 11	鶴沼市民センター				
指針体系コード	2-3-1-2-1	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,765					1,765
令和3年度	1,791					1,791
対前年度	△ 26					△ 26

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鶴沼」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域力を生かしたまちづくりの推進を図る。

- 鶴沼元気塾・鶴沼元気ひろば事業 751 千円  
 地域の子もたちの豊かな人間性を育むため、地域のボランティアスタッフとのさまざまな学習や体験、運動等を通じて、児童の放課後の居場所づくりを行う。  
 対象は、地域の小学3～6年生で、それぞれ週1回実施する。  
 ・スタッフ謝礼、施設入場料、野外活動時の昼食、教材、チラシ等作成、交通費  
 （報償金・食糧費・消耗品費・印刷製本費・使用料）
- 認知症等啓発事業 170 千円  
 誰もが安心して住み続けることができる地域づくりをめざし、認知症等への理解を深めるための講演会や啓発等を行う。  
 ・講演会等講師謝礼、啓発物品（報償金・消耗品費）
- 歴史・文化継承事業 660 千円  
 鶴沼に特化した歴史文化の資料収集及び調査とその展示を行うことにより、地域住民の郷土理解を深めるとともに、コミュニケーションの場として、鶴沼郷土資料展示室の企画運営を行う。また、既存資料等の整理及びデータ化を行い、次世代への継承を図る。  
 ・鶴沼郷土資料展示室の運営（委託料）  
 ・鶴沼郷土資料展示室の資料整理（報償金・消耗品費）
- 鶴（くぐい）まつり事業 184 千円  
 地域活性化を図るため、八部公園（鶴沼運動公園）芝生広場において、地域団体や地元サークル、物販・飲食店等が参加する地域住民主体のまつりの開催を支援する。  
 ・会場運営費（補助金）



鶴沼元気塾・鶴沼元気ひろば事業  
（夏のデイトリップ）



歴史・文化継承事業  
（鶴沼郷土資料展示室  
：鶴沼海岸は『海水浴場』から始まった）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,791	1,765	2,155	2,155	7,866	

総務費

事業名	藤沢地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 12	藤沢公民館				
指針体系コード	2-3-131	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	2,610					2,610
令和3年度	2,112					2,112
対前年度	498					498

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点」を実現するため、藤沢地区郷土づくり推進会議において検討されている地域課題の解決と、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 藤沢宿活性化事業 2,355 千円

藤沢宿の伝承・継承を目的として未来を担う子どもたちに藤沢宿に関心を持ってもらう取組等を行うとともに、藤沢地区の歴史的資源等を活用した地域イベントを実施する活動を支援する。これらの事業により、藤沢宿の積極的なPRを行い、地域の活性化を図る。

- ・地域イベント等を実施する団体への助成（補助金）
- ・地域内トランスボックスのラッピング掲載料（使用料）
- ・藤沢宿紹介冊子「歩いて見よう藤沢宿」の改訂と増刷（印刷製本費）
- ・藤沢宿紹介用二次元コードステッカーの作成（印刷製本費）
- ・子ども向け藤沢宿紹介冊子「藤沢宿通行手形」の改訂と増刷（印刷製本費）
- ・子ども向け藤沢宿PRグッズの作成（消耗品費）

(括) 2. 子ども・高齢者の見守り活動事業 255 千円

学校・家庭・地域の連携のもと、子どもの見守り活動を行うとともに、高齢者見守りの環境づくりや住み慣れた地域で安心して暮らせる藤沢地区の実現に向けた取組を進める。

- ・中学生対象のVR体験型認知症サポーター養成講座講師謝礼（報償金）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
2,112	2,610	2,610	2,610	9,942	

総務費

事業名	村岡いきいきまちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 13	村岡公民館				
指針体系コード	2-3-141	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,269					1,269
令和3年度	1,373					1,373
対前年度	△ 104					△ 104

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. マナーアップ啓発事業 275 千円  
 暮らしのマナーやモラル向上を図るため、ごみのポイ捨て、ペットのフンの放置、落書き等の迷惑行為に関するマナーアップ啓発を行うとともに、スタントマンを活用した自転車交通安全教室を実施する。  
 ・スタントマン謝礼（報償金）
2. 村岡あいさつ運動事業 210 千円  
 あいさつ運動の充実を図るため、あいさつ運動啓発用横断幕の設置や、キャンペーン活動及びポスター・標語コンクールを実施する。  
 ・啓発物品の作製等（消耗品費）  
 ・審査員謝礼及びコンクール記念品（報償金）
3. 地域防災力強化事業 194 千円  
 地域防災力の強化を図るため、地区内の公共施設等に防災啓発看板を設置するとともに防災関連講座を開催する。また、災害時に自治会・町内会等と地区防災拠点本部との通信手段となる通信機器の利用を確保する。  
 ・啓発看板の作製、防災関連講座物品（消耗品費）  
 ・防災関連講座謝礼（報償金）  
 ・電波利用料（負担金）
4. 村岡美化活動事業 90 千円  
 美しく住みよい地域環境を築くため、環境に対する意識の向上を図る講習会等の事業及び村岡地区独自の一斉清掃を実施する。  
 ・講習会用物品及び指導謝礼（消耗品費・報償金）
5. 歴史継承事業 280 千円  
 地域の歴史的資産の継承を図るため、歴史継承事業用冊子の作成及び今昔探訪ウォーキング等の事業を実施する。  
 ・歴史継承事業用冊子の作成（印刷製本費）  
 ・ウォーキング事業用物品及び指導謝礼（消耗品費・報償金）
6. 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業 220 千円  
 まちの防犯力を高めるため、「村岡わんわんパトロール」事業を実施する。  
 ・パトロール携行グッズ、キャンペーン物品（消耗品費）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,373	1,269	2,250	2,509	7,401	

総務費

事業名	善行市民センター改築事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 04 説明 01	市民自治推進課				
指針体系コード	2-3-151	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	11,473			0	11,473	0
令和3年度	568,853			420,700	140,300	7,853
対前年度	△ 557,380			△ 420,700	△ 128,827	△ 7,853
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				11,473

【事業概要】

善行市民センター・公民館は、昭和54年に旧耐震基準で建設された施設で、老朽化が進み安全性の確保の観点からも建て替えを行う。

令和3年度には、健康プラザ棟の改築工事（第2期工事）が竣工したことから、工事区域の周辺家屋について、本工事に起因する損傷等が生じていないか調査する。また、建設した建物により、周辺家屋のテレビ電波受信に影響がないか調査する。

1. 家屋事後調査委託 10,967 千円  
本工事の着手前と竣工後の状況を比較し、本工事に起因する損傷等の有無を確認する。
  
2. 電波障害事後調査 506 千円  
本工事の着手前と竣工後の状況を比較し、本工事に起因するテレビ電波受信への影響の有無を確認する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
568,853	11,473	0	0	580,326	



教育費

事業名	村岡公民館改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 2 細目 03 説明 01			村岡公民館		
指針体系コード	2-3-171	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	880,553	328,000		463,300	88,979	274
令和3年度	39,084	0		22,400	16,428	256
対前年度	841,469	328,000		440,900	72,551	18
特定財源の内訳	(国庫支出金)	都市構造再編集中支援事業費補助金				328,000
	(地方債)	社会教育施設等整備事業債				463,300
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				88,979

【事業概要】

老朽化とバリアフリー環境の改善を図るため、藤沢市公共施設再整備基本方針に基づき複合施設として移転し、再整備を行う。

令和4年度は、実施設計業務が完了し、再整備用地の買戻し及び仮囲い設置を実施する。

1. 事業費

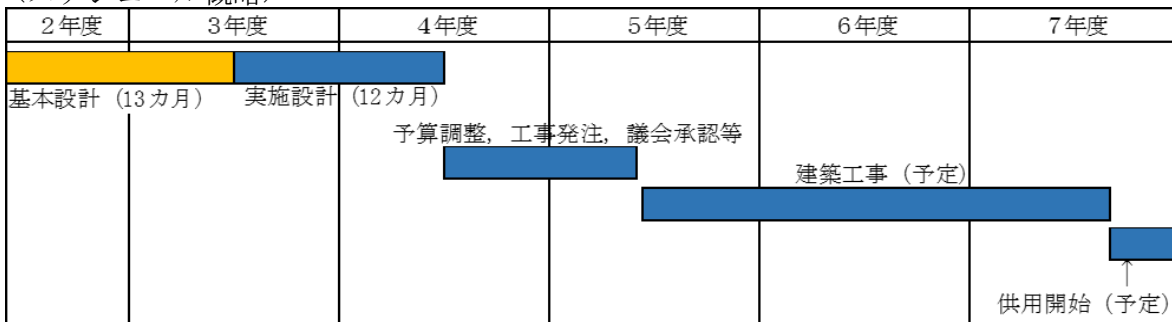
- ・設計委託（令和2年度から令和4年度の継続費） 58,300 千円
- ・再整備用地買戻し 821,000 千円
- ・仮囲い設置 979 千円
- ・その他事務経費 274 千円

<継続費年割額>

(単位：千円)

	2年度	3年度	4年度	合計
村岡公民館建設に伴う基本・実施設計委託	19,472	38,828	58,300	116,600

<スケジュール概略>



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
39,084	880,553	508,386	2,043,586	3,471,609	

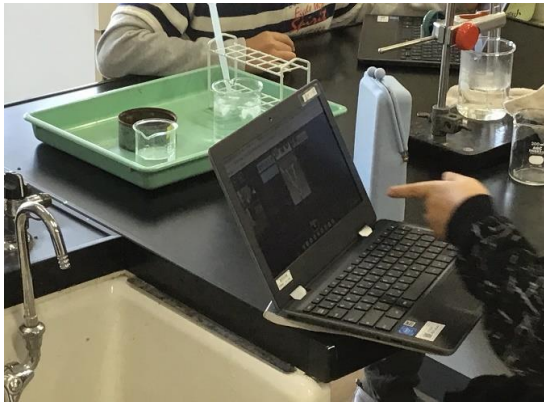
教育費

事業名	教育情報機器関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 04			教育総務課		
指針体系コード	3-1-1-1	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	537,431					537,431
令和3年度	460,373					460,373
対前年度	77,058					77,058

【事業概要】

GIGAスクール構想等により導入された1人1台端末の活用を推進するとともに、緊急時においてもICTの活用により子どもたちの学びを保障できる環境整備を実施する。

- (拡) 1. 学校におけるICT環境整備事業 430,484千円  
 学習で使用するためのICT機器環境等の整備を行う。  
 ・ネットワーク管理費 13,543千円  
 ・授業支援ソフト利用料 36,262千円  
 ・オンライン学習ドリル利用料 23,610千円  
 ・授業目的公衆送信補償金 5,273千円  
 ・学習用ICT機器等整備費 351,796千円
- (拡) 2. ICT機器活用サポート業務委託 77,652千円  
 ICT機器の活用をサポートするICT支援員や情報モラル学習講師の派遣、機器の故障等へ対応するための窓口を担うヘルプデスク業務等を行う。
3. ICT周辺機器等整備事業 29,295千円  
 モバイルWi-Fiルーター等の整備を行うとともに、既存機器等の修理対応を行う。



1人1台端末を活用した授業の様子

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
460,373	537,431	521,779	635,053	2,154,636	

教育費

事業名	教育情報化推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 10			教育総務課		
指針体系コード	3-1-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	151,816					151,816
令和3年度	118,640					118,640
対前年度	33,176					33,176

【事業概要】

令和元年度に再構築した学校ICT基盤を活用することで、文部科学省が公表している「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に則した情報セキュリティ対策を行いながら、学校ICT機器を円滑に利用できるようなICT環境の実現を図る。

また、学校グループウェアや採点ソフトを活用し、校内外の連絡の円滑化や採点業務の効率化を図ることで、教職員の働き方改革を推進する。

- |  |            |
|--|------------|
| 1. 学校ICT基盤の運用                                      | 114,370 千円 |
| 2. 学校回線使用料   | 16,932 千円  |
| 3. セキュリティ対策ソフトの運用                                  | 6,050 千円   |
| (新) 4. 採点ソフトの導入<br>採点ソフトを活用し、採点業務を効率化して校務の軽減を推進する。 | 1,881 千円   |
| 5. 学校グループウェアの運用                                    | 7,315 千円   |
| 6. 学校ホームページの運用                                     | 5,254 千円   |
| 7. 先進ICT整備研究旅費                                     | 14 千円      |

(1の事業の一部は令和3年度9月補正で増額した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
118,640	151,816	151,816	151,816	574,088	

教育費

事業名	学校運営協議会推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 04 説明 02			教育総務課		
指針体系コード	3-1-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,185					1,185
令和3年度	150					150
対前年度	1,035					1,035

【事業概要】

これからの社会を創り出していく子どもたちの「生きる力」を育むため、社会に開かれた教育課程の実現と、地域とともにある学校への転換をめざして、保護者や地域住民が学校運営に参画することができる学校運営協議会を小・中・特別支援学校に段階的に設置する。

- (拡) 1. 学校運営協議会委員報酬 1,125 千円  
 当該校の学校運営や子どもたちを取り巻く課題について協議する学校運営協議会委員に対して、日額報酬を支払う。  
 ・令和4年度学校運営協議会設置校 15校（小学校9校、中学校6校）  
 ※うち新規設置校 13校（小学校7校、中学校6校）
- (新) 2. 学校運営協議会関係者への研修 60 千円  
 学校運営協議会を効果的に運用していくために、学校や地域等に対して研修会を実施し、意識啓発を図る。
- (新) 3. 学校運営協議会先進都市視察  
 神奈川県内において先行して学校運営協議会を導入している自治体を視察する。



学校運営協議会の様子（片瀬小学校）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
150	1,185	4,125	4,125	9,585	

教育費

事業名	特別支援教育整備事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 02 説明 04			教育指導課		
指針体系コード	3-1-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	6,959					6,959
令和3年度	4,837					4,837
対前年度	2,122					2,122

【事業概要】

特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育の充実や適切な支援など、本市の特別支援教育を推進するため、教育環境の整備を行う。

- (拡) 1. 秋葉台中学校特別支援学級開級の準備 5,620 千円  
 令和5年4月より秋葉台中学校に特別支援学級を開級するため、教室等の整備を行う。
2. 既存特別支援学級及び難聴特別支援学級の整備 1,339 千円  
 特別支援学級の適切な教育環境維持のため、既存教室等の整備・修繕を行う。
- ・特別支援学級設置数（令和4年度学級開設予定を含む。）  
 小学校 21校  
 中学校 14校
  - ・難聴特別支援学級（令和4年度学級開設予定）  
 小学校 1校

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
4,837	6,959	12,636	12,636	37,068	

教育費

事業名	諸整備事業費（特別支援学校）					
予算科目	款 1 1 項 4 目 2 細目 01 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	3-1-51	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	155,150	9,110		107,700		38,340
令和3年度	13,129	0		7,000		6,129
対前年度	142,021	9,110		100,700		32,211
特定財源の内訳	(国庫支出金)	学校施設環境改善交付金				9,110
	(地方債)	大規模改造事業債				107,700

【事業概要】

白浜養護学校の施設維持管理及び教育環境の整備を図るため、諸整備事業を行う。

- |                          |            |
|--------------------------|------------|
| 1. 白浜養護学校空調設備更新等工事【継続費】  | 124,194 千円 |
| 2. 施設修繕費                 | 1,300 千円   |
| 3. 児童生徒数増に対応するための仮設校舎の賃借 | 29,656 千円  |

<継続費年割額>

(単位：千円)

	4年度	5年度	合計
白浜養護学校空調設備更新等工事	124,194	289,785	413,979

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
13,129	155,150	320,741	30,956	519,976	特別支援学校

教育費

事業名	鵜南小学校改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 03 説明 01	学校施設課・学校給食課				
指針体系コード	3-1-61	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	382,517	78,967	0	151,800	143,110	8,640
令和3年度	1,280,735	95,515	9,852	856,200	313,594	5,574
対前年度	△ 898,218	△ 16,548	△ 9,852	△ 704,400	△ 170,484	3,066
特定財源の内訳	(国庫支出金)	学校施設環境改善交付金				78,967
	(地方債)	大規模改造事業債				151,800
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				143,110

【事業概要】

老朽化が著しい鵜南小学校を全面改築し、施設の安全性確保と教育環境の向上を図る。令和4年度からは第二期工事として、校舎棟建設工事（既存校舎棟解体工事含む）を実施する。

- |                              |            |
|------------------------------|------------|
| 1. 工事費                       | 245,444 千円 |
| ・ 鵜南小学校等改築工事（第一期工事）【継続費】     | 23,202 千円  |
| 既存屋内運動場棟等解体                  |            |
| ・ 鵜南小学校等改築工事（第二期工事）【継続費】     | 222,242 千円 |
| 既存校舎棟解体                      |            |
| 2. 委託料                       | 7,188 千円   |
| ・ 鵜南小学校等改築工事（第一期工事）に伴う工事監理委託 | 353 千円     |
| 【継続費】                        |            |
| ・ 鵜南小学校等改築工事（第二期工事）に伴う工事監理委託 | 5,884 千円   |
| 【継続費】                        |            |
| ・ プール送迎バス委託料                 | 951 千円     |
| 3. 仮設校舎賃借料                   | 122,196 千円 |
| 4. 仮設調理場への移設に係る経費            | 7,689 千円   |

<継続費年割額>

(単位：千円)

	2年度	3年度	4年度	合計
鵜南小学校等改築工事（第一期工事）	525,955	1,250,443	23,202	1,799,600
鵜南小学校等改築工事（第一期工事）に伴う工事監理委託	10,239	24,718	353	35,310

(単位：千円)

	4年度	5年度	6年度	合計
鵜南小学校等改築工事（第二期工事）	222,242	1,231,693	1,589,844	3,043,779
鵜南小学校等改築工事（第二期工事）に伴う工事監理委託	5,884	33,620	44,547	84,051

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,280,735	382,517	1,476,060	1,868,915	5,008,227	

事業名	(新) 鵜沼中学校改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 3 目 3 細目 03 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	3-1-62	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	106,148				106,148	
令和3年度	0				0	
対前年度	106,148				106,148	
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				106,148

**【施策等を必要とする背景】**

鵜沼中学校は、最も古い校舎が昭和45年に建設され、建築後50年が経過し、建物の老朽化が進行している状況である。また、文部科学省が定める学校施設に必要な面積及び近年の教育環境に見合った機能についても不足している状況である。これらの施設状況について、抜本的な対策を講じ、安全性の確保及び教育環境の機能向上を図る必要がある。

**【提案に至るまでの経緯】**

- ・平成26年度「藤沢市立学校施設再整備基本方針」を策定
  - ・平成27年度「藤沢市立学校施設再整備第1期実施計画」を策定
  - ・令和2年度「藤沢市立学校施設再整備基本方針」を改訂
  - ・令和3年度「藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画」を策定
- 建物の状態及び老朽化の度合い等を考慮し検討した結果、事業実施について最も高い優先度とした。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 有

事業の進捗に伴い、保護者、地域住民等への説明会を随時開催する。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

- ・藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画において優先度1に位置づけ
- ・藤沢市公共施設再整備プランにおいて第3期短期プラン実施事業に位置づけ

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果  
本事業の実施により、学校施設の老朽化が解消され、子どもたちの教育環境の機能向上が図られる。
2. 将来にわたる費用  
令和4年度 106,148 千円  
令和5年度 232,730 千円  
令和6年度 520,135 千円  
令和7年度以降 4,140,987 千円

**【事業概要】**

学校施設の老朽化の解消及び教育環境の機能向上を図るため、鵜沼中学校の校舎改築等を実施する。令和4年度は校舎改築等に伴う基本・実施設計委託及び地質調査委託を行う。

1. 鵜沼中学校校舎改築等に伴う基本・実施設計委託 **【継続費】** 95,456 千円
  2. 地質調査委託 10,692 千円
- <継続費年割額> (単位：千円)

	4年度	5年度	6年度	合計
鵜沼中学校校舎改築等に伴う基本・実施設計委託	95,456	95,456	127,274	318,186

**【事業費（事務事業中の重点事業分）】**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
0	106,148	105,456	648,274	859,878	



民生費

事業名	法人立保育所運営費等助成事業費						
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 04			保育課			
指針体系コード	3-2-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる				
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実				
	5-3-51	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる				
		重点施策名	人材育成の推進				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
令和4年度	2,840,756	358,624	265,204		90,480	2,126,448	
令和3年度	2,587,681	214,503	241,883		90,480	2,040,815	
対前年度	253,075	144,121	23,321		0	85,633	
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金					72,950
		保育対策総合支援事業費補助金					149,207
		子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金					1,496
		保育士等处遇改善臨時特例交付金					134,971
	(県支出金)	民間保育所特別経常費補助金					12,871
		子ども・子育て支援交付金					72,950
		保育対策総合支援事業費補助金					147,195
		保育緊急対策事業費補助金					23,503
		保育エキスパート等研修代替保育士雇用費補助金					6,135
		短時間保育士雇上事業費補助金					2,550
	(その他)	法人立保育所建物賃料収入					90,284
		法人立保育所用地賃料収入					196

<拡充事業> 保育士人材確保策の強化（保育士奨学金返済補助金の対象拡大）

【施策等を必要とする背景】

近年、保育士不足が全国的に顕著であり、本市においても保育士不足の状況が続いている。令和3年4月の保育施設入所選考にあたっては、保育士不足の理由により、入所児童の受け入れを制限する事態が生じるまでとなり、保育士の確保が急務となっている。

【提案に至るまでの経緯】

- 平成28年 1月 保育のしごと相談会の開始
- 平成28年 4月 保育士等確保事業補助金を新設
- 平成29年 4月 保育士宿舍借り上げ支援事業補助金を新設
- 平成30年 9月 保育士確保のための県外保育士養成校訪問事業の開始
- 平成30年10月 潜在保育士の復職に向けた、公立保育所での保育体験事業の実施
- 平成31年 4月 保育士奨学金返済補助金及び潜在保育士保育体験費用補助金を新設、保育士宿舍借り上げ支援事業補助金の補助対象者数及び保育士等確保事業補助金の補助上限額を拡大
- 令和 元年 8月 保育士募集案内用リーフレットの作成・配布
- 令和 2年 4月 保育士就職支援補助金（現在の保育士転入奨励補助金）を新設、保育士奨学金返済補助金及び保育士宿舍借り上げ支援事業補助金の対象要件等を拡大
- 令和 3年 4月 保育士就労奨励助成金を新設、保育士奨学金返済補助金の対象要件等を拡大、本市独自での子育て支援員研修事業を委託により実施

保育士確保策として上記取組を行ってきたが、現状では依然として保育士不足が生じている。令和4年度に向けては、関係団体からの要望を踏まえ、既存事業のさらなる拡充について検討を進めた。

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）<令和2年度～令和6年度>

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

保育士が安定的に確保されることにより、保育の質の確保とその向上につながる。

2. 将来にわたる費用

事業の拡充に係る費用は、保育士不足が一定程度解消されるまで継続的な支出が必要となる。

**【事業概要】**

多様化する保育ニーズに対応するとともに、保育環境の充実を図るため、市内の法人立認可保育所の設置運営法人に対して、人件費・施設管理費などの運営費を助成するとともに、保育士の確保に向けた各種支援事業等を実施する。

1. 法人立保育所等の運営に係る業務委託 2,040,588 千円  
市内法人立認可保育所に対する人件費・施設管理費のほか、一時預かり事業や病児・病後児保育事業等の実施に要する経費等

2. 保育士確保に向けた事業 146,630 千円  
＜保育士への支援事業＞

(括) ・保育士奨学金返済補助金 7,200 千円  
奨学金の返済に要した費用の1/2（上限20万円）を補助する。令和4年度から補助対象者の市内在住要件を撤廃する。

・潜在保育士保育体験費用補助金 50 千円

・保育士転入奨励補助金 1,350 千円

・保育士就労奨励助成金 8,620 千円

＜保育所等への支援事業＞

・保育士宿舍借り上げ支援事業補助金 99,630 千円

・保育士等確保事業補助金 26,388 千円

＜その他の事業＞

・保育士募集案内用リーフレット等の作成 400 千円

・子育て支援員研修事業 2,992 千円

3. 新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金 42,800 千円  
感染症拡大防止に係る必要備品の購入等の経費を補助する。

4. 法人立保育所特別経常費補助金 58,829 千円  
施設及び設備整備のために資金を借り入れた法人に対し、その経費の一部を補助する。

5. 法人立認可保育所の設置運営に係る経費の補助 308,262 千円  
土地や建物を賃借して認可保育所を設置する法人に対し、その経費の一部を補助する。  
・社会福祉法人立保育所用地賃借料補助金 19,774 千円  
・分園設置運営補助金 5,000 千円  
・保育所建物設置賃借料補助金 283,488 千円

6. 保育士等処遇改善（4月～9月分） 134,971 千円

7. 湘南C-X内保育所建物賃借料、その他保育所土地賃借料 96,973 千円

8. 市外法人立認可保育所等に在園する本市在住児童への法外扶助費 8,912 千円

9. その他法人立認可保育所の運営等に係る事務経費 2,791 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
10,953	10,953	10,953	10,953	43,812	病児保育

衛生費

事業名	妊娠・出産包括支援事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 02 説明 05	健康づくり課				
指針体系コード	3-2-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	275,748	26,420				249,328
令和3年度	261,275	13,960				247,315
対前年度	14,473	12,460				2,013
特定財源の内訳	(国庫支出金)	母子保健衛生費補助金				21,861
		次世代育成支援対策施設整備交付金				4,559

<拡充事業> 産後ケアの支援内容の拡充、及び産後ケア施設整備に対する助成

【施策等を必要とする背景】

核家族化や出産年齢の高齢化、支援者家族の高齢化等により出産・育児の負担が増加する中、子育てにおける母親の心身の負担軽減と休息の機会を確保するため、医療・保健・教育・福祉が連携し、社会全体で切れ目なく支える環境整備が求められており、国においては第4次少子化対策大綱により、産後ケア事業については令和6年度末までの全国展開をめざしているものである。

【提案に至るまでの経緯】

令和元年12月6日母子保健法の一部が改正され「産後ケア」が法制化された。心身のケアや育児サポート等が各市町村の努力義務とされ、令和3年4月1日からモデル的に3時間のデイサービスを開始するとともに、妊産婦へのアンケートや医療機関等への事業調査を行った。この調査に基づき、令和4年度は個室での休息が可能な3時間と6時間のデイサービスに変更するとともに、新たにショートステイを開始するなどの拡充を図ることとした。

- 令和2年7月～9月 母子手帳交付時・ハローベビィ訪問時・乳児対象栄養教室の利用者872人にアンケートを実施
- 令和3年4月～12月 ①9月に令和3年4月～8月利用者にアンケートを実施  
②12月に令和3年9月～11月利用者にアンケートを実施
- 令和3年6月～10月 医療機関・助産院（市内・近隣市）に産後ケア事業調査を実施

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

利用時の意見や、アンケートによる意見を事業立案の参考とした。

【市の策定する計画や条例との整合性】

1. 市政運営の総合指針における重点施策として位置付けている。
2. 藤沢市子ども・子育て支援事業計画

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果  
本事業の実施により妊娠・出産を通じた不安を軽減し、安心して子育てができる環境が整備されることで、孤立を防ぎ、子育てしやすいまちづくりにつながる。
2. 将来にわたる費用  
本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり  
令和4年度 275,748 千円  
令和5年度 291,201 千円  
令和6年度以降 282,083 千円

**【事業概要】**

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行い、安全・安心で健やかな妊娠・出産、産後をサポートするため、妊産婦の健康診査の費用助成及び産後ケア事業を実施する。

1. 妊産婦健康診査 257,087 千円

積極的な妊産婦健康診査の受診を促し、妊産婦の健康確保を図るため、16回の公費負担を実施する。また、里帰り出産等について、安心して妊産婦健康診査が受診できるよう、償還払いにより公費負担を実施する。

(拡) 2. 産後ケア事業の実施 11,223 千円

おおむね産後4カ月（最大1年）までを中心に、支援を必要とする母親を対象に、産後ケア事業として、既存のデイサービスを、休息も可能な3時間型と6時間型に拡充する。また、ショートステイも新たに実施し、休息による育児負担の軽減や、安心できる場所を提供することで、産後の不安定な時期の産後うつ予防や早期対応につなげる。

サービス	補助額	自己負担額	回数	人数	総回数	予算額（千円）
ショートステイ	21,000	9,000	7	50	350	7,350
デイサービス1 6時間	11,200	4,800	2	100	200	2,240
デイサービス2 3時間	7,000	3,000	2	100	200	1,400
免除対象 市民税非課税・生活保護受給世帯（全額）及び多胎（加算額）						233

(新) 3. 産後ケア施設整備に対する助成 6,839 千円

産後ケア施設を新たに整備する事業者に対し、経費の一部を助成する。

※工期については、令和5年1月から7月までの予定

4. その他事務経費 599 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
261,275	275,748	291,201	282,083	1,110,307	

民生費

事業名	少年の森整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 03 説明 02	青少年課				
指針体系コード	3-2-51	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	52,312					52,312
令和3年度	6,920					6,920
対前年度	45,392					45,392

<拡充事業> 北部地域の活性化に向けた少年の森再整備

【施策等を必要とする背景】

少年の森は青少年の健全育成のための野外活動施設として昭和55年の開園以来、大規模な修繕や改修等を実施せず今日に至っているため、施設を再整備する必要が生じている。

再整備にあたっては、市北部地域の活性化に資する施設となるようそのポテンシャルや可能性について民間事業者から意見や提案等を聞き取るサウンディング型市場調査を令和3年度に行ったが、令和4年度以降は具体的な方向性についての検討を行うこととしている。

【提案に至るまでの経緯】

平成28年3月 御所見地区郷土づくり推進会議から「御所見まるごと田園パーク構想の実現に向けた要望書」提出

令和2年9月 市議会定例会にて「北部地域の活性化について」一般質問

令和2年10月 子ども青少年部若手職員によるワーキンググループを発足

令和3年5月～6月 地権者及び地域住民へ再整備について説明

令和3年7月～令和4年3月 サウンディング型市場調査

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

令和3年5月～6月 地権者及び地域住民へ再整備について説明

令和4年度 地権者及び地域住民へ経過を説明予定

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市少年の森条例

藤沢市少年の森条例施行規則

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

少年の森を市北部の地域資源として再構築し活用することにより、北部地域の活性化に資することが見込める。

2. 将来にわたる費用

再整備にあたり民間活力の導入を視野に入れ、運営に必要な費用の縮減を図る。

**【事業概要】**

必要な修繕やナラ枯れへの対処などにより、少年の森の施設環境の整備を進め、利用者の安全の確保及び快適性の向上を図るとともに、施設の再整備に向けて基礎的なデータとなる敷地全体の測量調査を行う。あわせて既存建築物の更新を想定し、管理棟や周辺建物のアスベスト含有調査を実施する。

- |                               |           |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 施設修繕                       | 2,517 千円  |
| (1) みどりの泉土留め修繕（西側35m）         |           |
| (2) 水路及び学習水田給水パイプ設置修繕         |           |
| 2. 手数料                        | 25,179 千円 |
| ナラ枯れによる枯死木伐採処分                |           |
| (括) 3. 敷地測量及び管理棟等アスベスト含有調査費   | 24,616 千円 |
| (1) 藤沢市少年の森再整備基本方針策定に伴う敷地測量委託 |           |
| (2) 管理棟及び周辺建物のアスベスト含有建材分析調査   |           |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
6,920	52,312	30,279	50,179	139,690	

民生費

事業名	放課後児童クラブ整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 03			青少年課		
指針体系コード	3-2-61	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	80,614	333	333	60,800	15,265	3,883
令和3年度	9,682	2,265	1,691	1,800	476	3,450
対前年度	70,932	△ 1,932	△ 1,358	59,000	14,789	433
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				333
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				333
	(地方債)	放課後児童クラブ整備事業債				60,800
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				15,265

【事業概要】

第2期藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき、放課後児童クラブの整備等を行う。

- 放課後児童クラブ設置運営事業者選考委員会委員報酬 59千円  
令和5年4月の村岡小学校区及び大道小学校区放課後児童クラブ開所に向け、放課後児童クラブ設置運営事業者の審査選定を行うため、学識経験者等に対し選考委員会委員報酬を支払う。
- 石川小学校区放課後児童クラブ整備費用 76,065千円  
環境事業センターの改築工事に伴い、複合化する石川小学校区放課後児童クラブの整備に係る費用負担
- (公財)藤沢市みらい創造財団が実施する整備に係る負担金 4,477千円

小学校区	整備内容
石川	新設する放課後児童クラブの開所に係る準備経費
鵜南	よつば児童クラブの移転に伴う旧施設の原状回復に要する経費

- 石川小学校区放課後児童クラブに設置する消火器の購入費 13千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
9,682	80,614	59	59	90,414	

民生費

事業名	放課後児童健全育成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 01			青少年課		
指針体系コード	3-2-71	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	988,355	256,490	227,450			504,415
令和3年度	851,578	191,151	191,151			469,276
対前年度	136,777	65,339	36,299			35,139
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				227,450
		保育士等処遇改善臨時特例交付金				29,040
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				227,450

【事業概要】

保護者が就労等により放課後不在となる家庭等の児童の健全育成と、保護者の就労と子育てを支援するため、児童に居場所や生活の場を提供する放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）を行う。

また、児童クラブの安定的な運営とより質の高い人材確保等に向けて、児童クラブ指導員の処遇改善事業を実施する。

1. 放課後児童健全育成事業運営費負担金 977,697 千円
  - ・ 法人が運営する74クラブの運営費の負担金
  - ・ 放課後児童支援員等処遇改善事業負担金
  
2. 長期休暇対策事業の実施 10,000 千円

小学校の夏期休暇期間中に子どもの居場所確保策としてサマースクール事業を2カ所で実施する。

  - ・ 実施期間 小学校夏期休暇期間（日曜日・祝日は閉所）
  - ・ 対象者 市内在住・在学の小学校4・5・6年生
  
3. その他経費 658 千円
  - ・ 除草作業

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
851,578	988,355	988,355	988,355	3,816,643	



事業名	(新) 医療的ケア児保育事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 09			保育課		
指針体系コード	3-2-81	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	11,840	5,649	2,824			3,367
令和3年度	0	0	0			0
対前年度	11,840	5,649	2,824			3,367
特定財源の内訳	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				5,649
	(県支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				2,824

**【施策等を必要とする背景】**

医療技術の進歩を背景に、日常生活において医療的ケアを必要とする子どもの数が年々増加しており、医療的ケア児の保護者によっては保育園での保育を希望する方もいる一方で、本市においては、受入体制の整備が課題であった。保護者の子育てと仕事の両立支援及びインクルーシブ保育の実現のため、市として医療的ケア児の受入体制を整備する必要がある。

**【提案に至るまでの経緯】**

医療的ケア児の受入れについては、これまで複数の保護者から入園に関する相談・対応を求める声が寄せられ、課題整理を進めてきた。令和3年9月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」（医療的ケア児支援法）が施行され、地方自治体の責務として、体制の拡充や必要な措置を講じることが定められたことを踏まえ、令和4年度に向けて、訪問看護師を活用し、段階的な受入れを検討・計画するにいたった。

- 令和2年3月 神奈川県医療的ケア児実態把握調査（藤沢市民回答数35人）  
「預け先があれば就労したい」（回答総数200人のうち87人。43.5%）
- 令和3年7月 先行自治体視察
- 令和3年9月 医療的ケア児支援法施行

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

1. 子ども・子育て支援事業計画<令和2年度～令和6年度>  
子育て支援の充実、仕事と家庭との両立の推進
2. 子ども共育計画<令和2年度～令和6年度>  
障がい児等の相談・支援の充実

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果  
本事業の実施により、復職や就労を断念していた医療的ケア児の保護者に対して、仕事と子育ての両立支援が推進される。また、子どもたちにとっても、インクルーシブな環境のもとで、相互に育まれ成長する機会が提供される。
2. 将来にわたる費用  
令和4年度は、医療的ケア児の受入れを10月から行うことを想定しており、令和5年度以降は通年化することから、財政負担見込み額は次のとおり
  - ・令和4年度 11,840 千円
  - ・令和5年度以降 22,998 千円

**【事業概要】**

多様な保育を推進することを目的に、集団保育が可能と判断される医療的ケア児を受入れるための体制を整備するため、訪問看護師等を活用した医療的ケア児保育事業を実施し、令和4年10月から医療的ケア児の受入れを行う。

- |  |          |
|--|----------|
| 1. 対象児童の医療的ケアに係る業務委託<br>市内訪問看護ステーションによる医療的ケア・緊急時の相談対応のほか、ケア計画作成等に要する経費。公立保育所2施設及び法人立保育所1施設の計3施設で各施設で1人受入れることを想定。 | 8,803 千円 |
| 2. 医療的ケア児の受入れにあたっての検討会謝礼<br>安全に受入れるために、医療機関や法人立保育所などの関係機関とともに児童の状態や保育上の配慮点等などの確認を行う検討会に要する謝礼                     | 172 千円   |
| 3. 医療的ケア児保育に関する研修講師謝礼<br>保育士等が安心して医療的ケア児の受入れができるよう、医療的ケア児保育に関する知識を習得するための研修                                      | 45 千円    |
| 4. 医療的ケア児を受入れる環境整備のための物品・消耗品等の購入<br>ケアマット等の物品購入  | 220 千円   |
| 5. 研修参加費用<br>受入れ児童の医療的ケアに応じた専門研修受講費  | 80 千円    |
| 6. 医療的ケア児保育補助者の配置（法人委託費）<br>法人立保育所での医療的ケア児受入れにあたっての人員配置等に要する委託料  | 2,520 千円 |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
0	11,840	22,998	22,998	57,836	

事業名	(新) 養育費確保支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 06 説明 06			子育て給付課		
指針体系コード	3-2-91	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	3,202	1,575				1,627
令和3年度	0	0				0
対前年度	3,202	1,575				1,627
特定財源の内訳	(国庫支出金)	母子家庭等対策総合支援事業費補助金				1,575

**【施策等を必要とする背景】**

離婚後のひとり親家庭の生活において、養育費は子どもの成長を支える重要なものであり、別居親は子どもに対して養育費を支払う義務を有している。しかしながら、離婚時に養育費の取り決めをしているひとり親（母子）世帯の割合は約43%、また現在も養育費を受けている割合は約24%に留まっており（平成28年度全国ひとり親世帯等調査）、離婚後に別居親から養育費の支払いを十分に受けていないことが、ひとり親世帯の貧困の要因の一つと指摘されている。ひとり親家庭の生活の安定と子どもの健やかな成長のためには、養育費の確保に向けた支援を行う必要がある。

**【提案に至るまでの経緯】**

- 平成24年4月 民法改正により父母の離婚の際に協議で定める事項として、養育費の分担が明示され（民法第766条第1項）、離婚届に取り決めの有無をチェックする欄が追加される。
- 令和2年4月 民事執行法の一部改正により、第三者からの情報取得手続の新設や公正証書による財産開示手続が可能になるなど、強制執行の申立てに向けた情報取得の手続が改善される。
- 令和2年6月 法務省と厚生労働省による「不払い養育費の確保のための支援に関するタスクフォース」が設置され、養育費の支払い確保に向けた新たな検討に着手。

以上のような国の動向を踏まえ、令和2年度より本市においても養育費の確保に向けた支援策の検討を行い、現在に至る。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

子ども共育計画（令和2年3月策定）の施策方針3「暮らしや子育てを支援する」柱3「子どもに届く経済的支援の充実」①めざす方向性において、養育費の取り決めの重要性を周知していくとしている。

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果
 

公正証書（強制執行認諾付き）等の公的書類を作成して養育費を取り決めておくことにより、将来養育費が支払われない場合に強制執行の申立てが可能になることから、取り決めや受け取りに係る費用を補助し、養育費の支払いを確保することにより、ひとり親家庭の生活の安定及び子どもの健やかな成長が図られる。
2. 将来にわたる費用
 

養育費の取り決めの重要性を周知するとともに、当該事業については継続的に取り組む必要があり、国庫支出金を活用しながら必要な事業費を確保する。

**【事業概要】**

離婚後のひとり親家庭における子どもの健やかな成長を支援するため、市内在住で、養育費の取り決めの対象となる20歳未満の子を養育しているひとり親を対象に、養育費の取り決めに関する公正証書等の債務名義の取得に要する費用及び、不払い養育費に係る強制執行申立てに要する費用を補助する。

- |   |          |
|---|----------|
| 1. 債務名義取得促進事業   | 2,400 千円 |
| 養育費の取り決めに関する公正証書や調停調書等の債務名義の取得に要する費用を補助する。(上限5万円)   |          |
| ＜補助対象経費＞  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・公正証書（強制執行認諾付き）の作成に係る公証人手数料</li> <li>・家庭裁判所の調停申立て又は裁判に要する収入印紙代</li> <li>・戸籍謄本等添付書類取得費用及び連絡用の郵便切手代</li> </ul> |          |
| 2. 民事執行手続支援事業   | 750 千円   |
| 債務名義を有している養育費について、養育費が不払いになった場合の裁判所への強制執行申立てに要する費用を補助する。(上限15万円)  |          |
| ＜補助対象経費＞  |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・収入印紙代や郵便切手代などの実費</li> <li>・弁護士、司法書士に依頼した場合の強制執行申立てに要する費用</li> </ul>   |          |
| 3. その他事務経費  | 52 千円    |
| 旅費、消耗品費   |          |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
0	3,202	3,195	3,195	9,592	

労働費

事業名	就労支援事業費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 02 説明 02	産業労働課				
指針体系コード	3-3-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	29,008		1,043			27,965
令和3年度	29,777		1,044			28,733
対前年度	△ 769		△ 1			△ 768
特定財源の内訳	(県支出金)	地域就職氷河期世代支援加速化交付金				1,043

【事業概要】

就労支援事業として、働くことに不安や困難を抱える若者を対象とした「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」と、求職者や勤労者を対象とした就労支援及び資格取得講座を実施する。

また、地域の雇用状況の改善を図るため、広域連携により「湘南合同就職面接会」を実施する。

1. 若年者就労支援事業「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」 17,412 千円  
 自立や就労に困難を有する若者を対象に、専門スタッフによるきめ細かな相談、社会参加・就労体験等の各種プログラムを通じて自立・就職・定着に至るまでを支援する。  
 また、その保護者を対象にセミナーや相談会を実施する。  
 (1) 対象者  
 市内に在住・在勤・在学の概ね15歳から44歳の若者とその家族  
 (2) 支援内容  
 ・個別相談  
 ・就労準備応援  
 ・就労応援  
 ・就労後応援・家族応援
  
2. 就労支援・資格取得講座 11,305 千円  
 就職氷河期世代、女性、障がい者などを対象とした就労支援セミナー及び資格取得講座、キャリアカウンセリングなど就労支援事業を実施する。
  
3. 湘南合同就職面接会 291 千円  
 藤沢公共職業安定所管内の3市1町（藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市・寒川町）で広域連携を図り、神奈川県、藤沢公共職業安定所、商工会議所、商工会と連携し、短時間で効率的な就職機会と人材発掘の場を提供する求職・求人支援事業を実施する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
29,777	29,008	29,008	29,008	116,801	

墓園事業費

事業名	墓園事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	福祉総務課
指針体系コード	4	1	1	1	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める
					重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	600,117				167,425	432,692
令和3年度	630,355				192,574	437,781
対前年度	△ 30,238				△ 25,149	△ 5,089
特定財源の内訳	(その他)	墓園基金繰入金				155,744
		カロート実費収入				10,923
		利子及び配当金				258
		墓地使用許可証再交付等手数料				500

【事業概要】

緑豊かで快適に利用できる公園墓地として大庭台墓園の環境整備及び施設の維持管理を行うとともに、墓地の貸付業務等を行い、墓地需要への対応を図る。

1. 墓園管理費 340,939 千円  
 公園墓地としての大庭台墓園の環境整備及び施設の維持管理に要する経費  
 (主な経費)  
 墓園墓所管理等業務委託 42,578 千円  
 園内清掃等業務委託 52,854 千円  
 機械警備業務委託 198 千円  
 自家用電気工作物保安管理業務委託 459 千円  
 管理業務委託 (A区、B区、C区、D区) 185,416 千円  
 墓地管理料納入通知書封入封緘業務委託 373 千円  
 普通墓地測量業務委託 3,058 千円  
 光熱水費 (電気・上下水道代) 6,110 千円
2. 墓園事業費 65,390 千円  
 (1) 貸付事務費 7,145 千円  
 墓所使用者募集及び貸付事務、電算機器の賃借料等に要する経費  
 大庭台墓園管理システム機器賃借料等
- (2) 工事費 58,245 千円  
 大庭台墓園の環境整備を図るための経費  
 外周フェンス改修工事 5,808 千円  
 芝生墓地カロート設置工事 10,923 千円  
 高圧線改修工事 30,426 千円  
 立体墓地再整備設計委託 11,088 千円
3. 基金積立金 190,438 千円  
 大庭台墓園基金条例第2条及び第4条に基づく基金積立金及び積立金利子
4. 諸支出金 2,850 千円  
 墓地永代使用料等還付金
5. 予備費 500 千円

〔事業費 (事務事業中の重点事業分) 〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
0	11,088	33,264	1,365,000	1,409,352	大庭台墓園立体墓地再整備事業

衛生費

事業名	環境事業センター整備費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 02 説明 07	環境事業センター				
指針体系コード	4-1-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,859,626			1,260,000	420,028	179,598
令和3年度	373,724			196,800	65,742	111,182
対前年度	1,485,902			1,063,200	354,286	68,416
特定財源の内訳	(地方債)	環境事業センター整備事業債				1,260,000
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				420,028

【事業概要】

昭和55年竣工の施設で老朽化が著しく、早期の改築が必要となっていることに加え、2拠点体制で行う必要が薄れたごみ収集体制を見直し、より効率的な収集を行うため、南北収集事務所を統合した収集事務所として改築を行うとともに、待機児童が見込まれる石川小学校区に新たな放課後児童クラブを設置する必要があることから、複合化により一体整備を行う。

令和3年度から2カ年継続で建設工事を行うとともに、工事監理委託を行い、工事期間中の業務については仮設事務所で行う。

1. 事業費	1,859,626 千円
(1) 建設工事(令和3年度～令和4年度の継続費)	1,660,939 千円
(2) 工事監理委託(令和3年度～令和4年度の継続費)	19,089 千円
(3) 仮設事務所賃貸借(令和5年度までの債務負担行為を設定)	118,800 千円
(4) 新事務所什器備品	53,119 千円
(5) その他経費	7,679 千円

2. 施設概要

- (1) 構造等 鉄筋コンクリート造 地上3階建て
- (2) 延床面積 2,629.61㎡(複合施設を含む)
- (3) 複合施設 石川小学校区新設放課後児童クラブ

<継続費年割額>

(単位：千円)

	3年度	4年度	合計
工事請負費	259,664	1,660,939	1,920,603
工事監理委託費	2,878	19,089	21,967

<スケジュール概略>

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
仮設事務所			← 建設工事 →	← 仮設事務所での業務 →	← 解体・復旧工事 →
新事務所		← 基本・実施設計 →	← 建設工事 →		← 供用開始 →

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
373,724	1,859,626	27,996	0	2,261,346	



衛生費

事業名	一般廃棄物中間処理施設整備事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 06 説明 01			北部環境事業所		
指針体系コード	4-1-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	3,963,310	864,392		2,488,700	587,063	23,155
令和3年度	6,318,637	2,118,082		3,549,900	650,025	630
対前年度	△ 2,355,327	△ 1,253,690		△ 1,061,200	△ 62,962	22,525
特定財源の内訳	(国庫支出金)	廃棄物処理施設整備交付金				856,692
		循環型社会形成推進交付金				7,700
	(地方債)	焼却施設整備事業債				2,488,700
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				587,063

【事業概要】

廃棄物を円滑に処理するため、焼却施設整備基本計画に基づく北部環境事業所新2号炉の建設工事を行い、専門的知識を有するコンサルタントに設計・施工監理業務を委託する。

また、同計画に基づき石名坂環境事業所の大規模整備を実施するために必要な調査等を行う。

1. 工事請負費 3,865,755 千円

・藤沢市北部環境事業所新2号炉建設工事

期間 平成30年度から令和4年度

総額 11,455,023千円 (第2回契約変更)

敷地面積：約15,058㎡ 施設規模：150t/日

令和4年度は、引続き建設工事を進めるとともに、令和5年度の稼働に向けて試運転等を行う。

2. 委託料 85,411 千円

・藤沢市北部環境事業所新2号炉施工監理等委託

51,300 千円

期間 平成30年度から令和4年度

総額 180,360千円 (契約金額)

設計監理、各種申請・許可等届出、現場監理、工場検査、性能試験等

(括) ・石名坂環境事業所生活環境影響調査業務委託【継続費】 23,100 千円

期間 令和4年度から令和5年度 総額 38,500千円

(括) ・石名坂環境事業所長寿命化総合計画策定業務委託 11,011 千円

3. 負担金補助及び交付金 9,599 千円

・工事負担金 (東京電力パワーグリッド)

8,250 千円

・工事負担金 (東京電力エナジーパートナー)

1,349 千円

4. 一般廃棄物中間処理施設整備事業事務経費 2,545 千円

藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業に関するスケジュール

事業名称	主な内容	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	～	24年度
建設工事		30年2月 契約								
既設解体工事	旧2号炉解体		■	■						
建設工事	新2号炉建設				■	■	■			
試運転	プラント単体 総合試運転						■			
外構工事	新2号炉建屋 周辺工事						■			
新2号炉 運営・維持管理業務	焼却炉運転 施設の点検等							■	■	■
新2号炉 設計・施工監理業務	設計監理 工事監理	30年3月 契約	■	■	■	■	■			

(1の事業の一部は令和3年度6月補正で債務負担行為を設定した事業)

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
6,318,637	3,963,310	15,400		10,297,347	

土木費

事業名	村岡地区都市拠点総合整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 2 細目 02 説明 01			都市整備課		
指針体系コード	4-1-41	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	90,163	36,500			11,635	42,028
令和3年度	1,063	0			0	1,063
対前年度	89,100	36,500			11,635	40,965
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				23,500
		都市構造再編集中支援事業費補助金				13,000
	(その他)	村岡新駅周辺整備事業費他団体負担金				11,635

【事業概要】

村岡新駅周辺に新たな都市拠点を創出するとともに、「かながわ都市マスタープラン」に位置付けられた村岡・深沢地区における都市圏域の自立を支える新たな地域の拠点整備に神奈川県、鎌倉市と広域連携を図りながら取り組む。

1. 委託料 62,150 千円  
 村岡新駅周辺の新たな都市拠点の創出に向け、まちづくりガイドラインの検討や、PPPによる土地開発公社用地の活用方法の具体化検討、新駅設置を契機とする交通課題の解決に向けた状況分析及び村岡新駅南口通り線の事業化に必要な調査等を行う。
  - ・村岡新駅周辺の交通状況分析等調査業務委託 11,176 千円
  - ・村岡新駅南口通り線用地測量委託 8,272 千円
  - ・村岡新駅南口通り線家屋調査業務委託 5,005 千円
  - ・村岡新駅南口通り線事業手法検討委託 7,777 千円
  - ・村岡新駅周辺地区まちづくりガイドライン等検討業務委託 11,990 千円
  - ・村岡新駅周辺PPP事業アドバイザー業務委託 17,930 千円
2. 負担金【継続費】 27,200 千円  
 村岡新駅（仮称）詳細設計を神奈川県、鎌倉市、東日本旅客鉄道株式会社及び本市の4者の負担で行う。詳細設計は2カ年にわたって実施する。
  - ・村岡新駅（仮称）詳細設計負担金
3. 村岡地区都市拠点総合整備事業事務経費 813 千円
4. 自由通路詳細設計負担金【債務負担行為の設定】 (55,000 千円)
5. 村岡新駅（仮称）詳細設計等監理業務委託【債務負担行為の設定】 (34,800 千円)

<継続費年割額>

(単位：千円)

	4年度	5年度	合計
村岡新駅（仮称）詳細設計負担金	27,200	425,850	453,050

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,063	90,163	825,200	5,808,499	6,724,925	

土木費

事業名	長後地区整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 08 説明 02	都市整備課長後地区整備事務所				
指針体系コード	4-1-51	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	40,356	1,000		33,000		6,356
令和3年度	27,785	2,180		16,100		9,505
対前年度	12,571	△ 1,180		16,900		△ 3,149
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				1,000
	(地方債)	道路整備事業債				33,000

【事業概要】

長後駅周辺の交通混雑緩和を図るため、高倉下長後線の都市計画変更に向けた関係機関との協議・調整及び事業化に向けた取組を進める。

また、歩行者等の安全性向上を図るため、長後725号線の道路北側の歩道整備に向けて、藤沢市土地開発公社が先行取得した用地の買戻しを行うとともに、歩道の整備工事等を行う。

1. 長後725号線歩道整備事業 40,181 千円
  - ・委託料（移転補償費算定） 25,234 千円
  - ・工事請負費 4,290 千円
  - ・公有財産購入費（事業用地買戻し） 7,889 千円
  - ・負担金補助及び交付金（電柱移設） 2,768 千円
  
2. 長後地区整備事業事務経費（旅費・消耗品費・印刷製本費） 175 千円



事業位置図

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
27,785	40,356	148,720	172,152	389,013	

土木費

事業名	公園改修費 <<再掲>>					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 02 説明 03			公園課		
指針体系コード	1-1-41	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
	4-1-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	429,108	6,000		219,400	157,604	46,104
令和3年度	148,637	0		112,600	0	36,037
対前年度	280,471	6,000		106,800	157,604	10,067
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				6,000
	(地方債)	公園建設事業債				16,600
		土砂災害防止対策事業債				202,800
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				157,604

【事業概要】

公園利用者が安全・安心に利用できる環境をつくるため、遊具等の公園施設の改修や専門業者による保守点検を実施し、適切な維持管理と老朽化等への対応を図るとともに、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定された公園等の法面について、周辺住民及び施設利用者等の安全確保のため、対策実施に向けた委託及び工事を行う。

また、鵜沼海浜公園（Park-PFI）については、事業者がリニューアルに向けた改修工事を行うため、既存施設の撤去費を負担するとともに、コンビプールの買取りを行う。

1. 需用費 20,872 千円  
劣化が進む遊具等の公園施設について、延命化を図るための塗装や小規模修繕を行う。
2. 役務費 10,239 千円  
老朽化した施設の撤去や樹木の剪定等を行う。また、市の花「フジ」の剪定を実施し、保護及び育成を図る。
3. 委託料 21,537 千円
  - ・都市公園遊具点検業務委託
  - ・新林公園古民家樹木剪定業務委託
  - ・片瀬山公園法面詳細設計委託
  - ・本在寺公園他法面調査委託
  - ・公園照明灯LED化ESCO事業【債務負担行為の設定】 (227,000 千円)  
期間：令和4年度～令和15年度
4. 工事請負費 218,856 千円
  - ・御所ヶ谷緑地法面对策工事【継続費】
  - ・引地川親水公園駐車場舗装打換え工事
5. 備品購入費 9,104 千円
  - ・鵜沼海浜公園コンビプール購入費
6. 負担金補助及び交付金 148,500 千円
  - ・鵜沼海浜公園土木施設・建築物撤去負担金

<継続費年割額>

(単位：千円)

	4年度	5年度	合計
御所ヶ谷緑地法面对策工事	202,851	262,559	465,410

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
127	157,604	0	0	157,731	鵜沼海浜公園

土木費

事業名	藤沢駅周辺地区再整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 07 説明 01			藤沢駅周辺地区整備担当		
指針体系コード	4-1-71	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	312,531	70,000	0	84,700	0	157,831
令和3年度	673,978	0	12,903	538,200	20,000	102,875
対前年度	△ 361,447	70,000	△ 12,903	△ 453,500	△ 20,000	54,956
特定財源の内訳	(国庫支出金)	都市構造再編集中央支援事業費補助金				70,000
	(地方債)	藤沢駅周辺地区再整備事業債				84,700

【事業概要】

藤沢都心部の再活性化に向け、藤沢駅南北自由通路の拡幅に係る小田急側の詳細設計を令和3年度からの継続事業として実施するとともに、JR東日本の小田急側自由通路接続部の詳細設計を行う。併せて、小田急側詳細設計の妥当性を確認するための設計検証業務を実施する。

また、藤沢駅南口駅前広場の再整備に向けた検討業務、藤沢駅周辺の交通量調査等業務を実施する。さらに、藤沢駅東西地下通路のリニューアルに合わせ、指定管理区域に北口地下広場を追加する等、各プロジェクトの推進を図る。

- 1. 委託料 74,151 千円
  - ・ 藤沢駅自由通路拡幅整備に関する詳細設計検証業務委託（小田急側）
  - ・ 藤沢駅南口駅前広場再整備検討業務委託
  - ・ 藤沢駅周辺交通量調査等業務委託
  - ・ 藤沢駅前広場指定管理料
- 2. 負担金補助及び交付金 234,604 千円
  - ・ 藤沢駅自由通路拡幅整備詳細設計に伴う負担金（小田急電鉄） **【継続費】**
  - ・ 藤沢駅自由通路拡幅整備詳細設計に伴う負担金（JR東日本） 等
- 3. 藤沢駅周辺地区再整備事業事務経費 3,776 千円

<継続費年割額>

(単位：千円)

	3年度	4年度	合計
藤沢駅自由通路拡幅整備詳細設計に伴う負担金（小田急電鉄）	17,280	218,070	235,350



自由通路拡幅イメージ（小田急線改札付近から南口を望む）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
673,978	312,531	1,425,653	1,306,018	3,718,180	



土木費

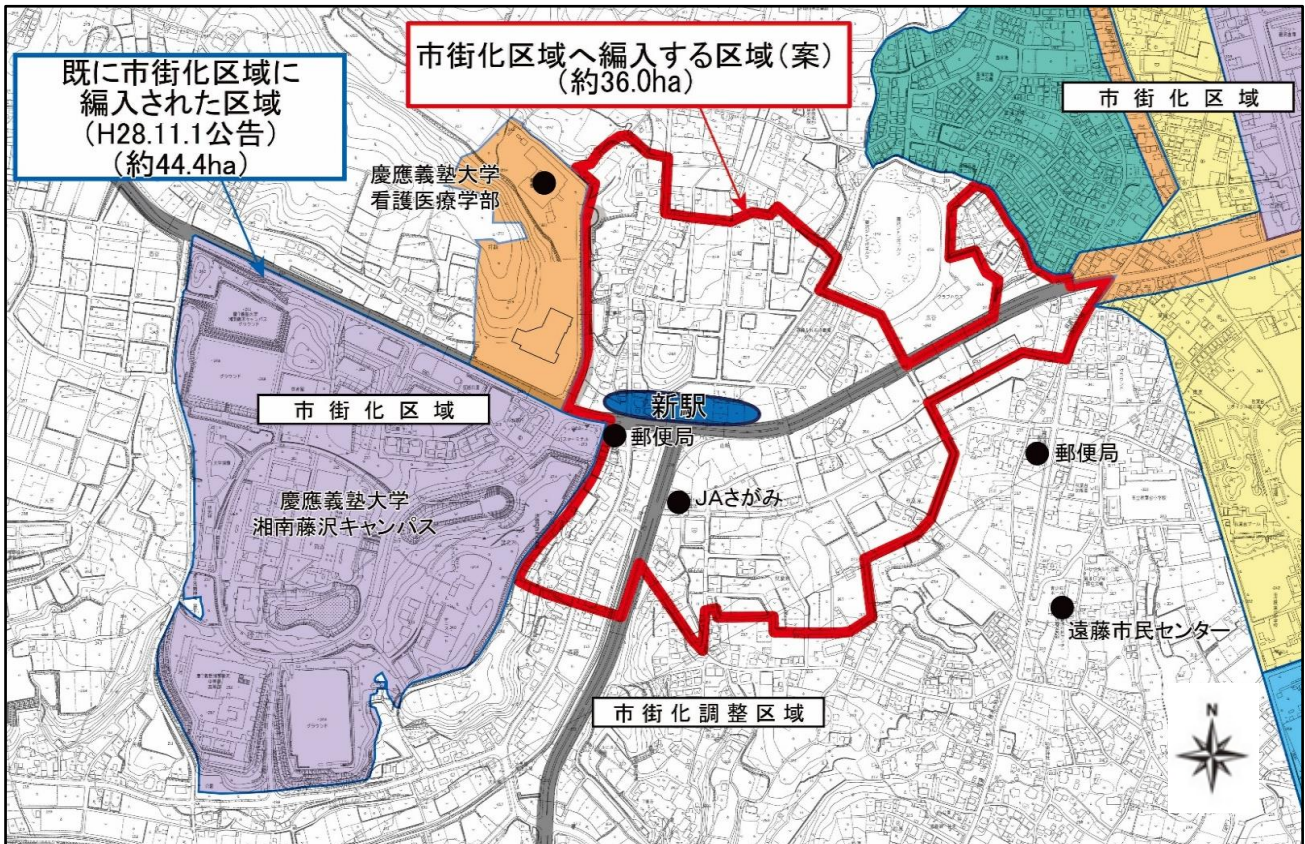
事業名	健康と文化の森整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 01	西北部総合整備事務所				
指針体系コード	4-1-81	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	77,022	7,000				70,022
令和3年度	83,301	6,900				76,401
対前年度	△ 6,279	100				△ 6,379
特定財源の内訳	(国庫支出金)	街路交通調査費補助金				7,000

【事業概要】

本市の都市拠点の一つに位置づけられている健康と文化の森地区では、いずみ野線延伸の計画において新駅の設置が想定されており、現在、鉄道延伸の計画を見据えながら、地権者組織である「藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理準備会」や事業化検討パートナーなどの関係者とともに、市街化区域への編入及び土地区画整理事業の実施に向けた取組を進めている。引き続き、本市の新たな活力創造の場となる都市拠点の形成をめざし、まちづくりを推進する。

また、台風や大雨時に慢性的に発生している道路冠水の解消を目的として、「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」に基づき地区内の浸水対策を行う。

1. 健康と文化の森地区まちづくり 74,426 千円
  - ・健康と文化の森地区まちづくり事業推進委託
2. 健康と文化の森地区浸水対策 2,596 千円
  - ・仮設調整池維持管理費



市街化区域へ編入する区域（土地区画整理事業実施区域）案

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
83,301	77,022	429,154	402,600	992,077	

土木費

事業名	市道新設改良費 <<再掲>>					
予算科目	款 9 項 2 目 3 細目 01 説明 01			道路整備課		
指針体系コード	1-2-41	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
指針体系コード	4-1-91	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	604,994	96,720		425,700		82,574
令和3年度	134,345	17,410		82,400		34,535
対前年度	470,649	79,310		343,300		48,039
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				72,850
		都市構造再編集中支援事業費補助金				23,870
	(地方債)	道路整備事業債				425,700

【事業概要】

安全で快適な道路環境と安心して移動できる歩行空間の確保のため、道路の新設改良、自転車走行空間の整備を行う。

1. 道路の新設改良事業 468,402 千円
  - ・ 藤沢駅辻堂駅線（支障物調査、工事、補償）
  - ・ 藤沢652号線（設計・測量委託、工事、用地取得（買戻）、補償）
  - ・ 六会554号線（工事、用地取得（直買）、補償）
  - ・ 宮原百石線（建物調査、埋蔵文化財調査、用地取得（直買）、補償）
  - ・ 辻堂429号線〔羽鳥立体〕（測量委託）
  - ・ 白旗川No. 3仮設道路橋（設計・地質調査・測量委託）
2. 自転車走行空間整備事業 116,864 千円
  - ・ 藤沢村岡線（工事）
  - ・ 藤沢駅鵜沼海岸線（工事）
  - ・ 藤沢駅周辺（工事）
  - ・ 鵜沼29・31号線（工事）
3. 市道新設改良事務経費 19,728 千円
  - ・ 旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金



藤沢駅辻堂駅線

（この事業は令和3年度6月補正で増額した事業）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
0	227,814	202,500	457,000	887,314	藤沢652号線



土木費

事業名	善行長後線街路新設事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 3 細目 02 説明 03			道路整備課		
指針体系コード	4-1-101	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	158,450	14,300		93,900		50,250
令和3年度	93,690	1,000		80,900		11,790
対前年度	64,760	13,300		13,000		38,460
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				14,300
	(地方債)	都市計画街路事業債				93,900

【事業概要】

都市計画道路善行長後線六会工区の未整備区間（約140m）について、街路築造工事を行う。また、交差点部における張出歩道等の検討及び測量委託、電柱移設を行う。

1. 委託料 15,150 千円
  - ・張出歩道及びスロープ部詳細設計委託
  - ・取付道路部測量委託
2. 工事請負費 133,000 千円
  - ・街路築造工事 幅員W=16.0m、延長L=140m
3. 善行長後線街路新設事業事務経費 10,300 千円
  - ・需用費、補償補填及び賠償金



進捗状況写真（六会側から湘南台方面を望む）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
93,690	158,450	116,286	64,100	432,526	

土木費

事業名	空家対策関係費 (前年度事業名：空き家対策関係費)					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 03 説明 02	住宅政策課				
指針体系コード	4-2-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	9,281	500			1,000	7,781
令和3年度	2,967	450			0	2,517
対前年度	6,314	50			1,000	5,264
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				500
	(その他)	相続財産管理人申立予納金還付金				1,000

【事業概要】

藤沢市空家等対策計画に基づき、空家の発生抑制の啓発、空家の適正管理の促進、特定空家の認定と措置及び空家の利活用の推進などの空家対策を行う。

1. 空家の発生抑制・適正管理の促進 6,389 千円  
 広報やホームページ等を活用し、空家の発生抑制及び適正管理に関する意識啓発を行う。また、空家の損壊状況や周囲への衛生上の影響を現地にて調査し、空家所有者等に対して、実態に即した助言・指導を行うほか、相続人不存在の空家については、相続財産管理人制度を活用する。
  - ・訪問等調査に係る旅費 41 千円
  - ・相続財産管理人申立費用 2,024 千円  
(予納金・家庭裁判所への旅費・印紙代・官報公告掲載料)
  - ・管理不全等空家現地調査業務委託 4,279 千円
  - ・空家対策に関する研修会参加負担金 45 千円
  
2. 特定空家の認定及び特定空家審査部会の開催 293 千円  
 放置すれば著しく保安上危険、衛生上有害な空家等を特定空家として認定し、所有者等に対し法に基づく助言・指導等を行い是正を促す。
  - ・特定空家審査部会委員報酬・旅費
  
3. 空家の利活用の促進 1,350 千円  
 藤沢市空家利活用マッチング制度、藤沢市空家利活用事業補助金制度の実施により、空家の利活用の推進を図る。
  - ・空家利活用事業審査部会委員報酬・旅費 130 千円
  - ・空家移動相談会広告料 220 千円
  - ・空家利活用事業補助金 1件 1,000 千円
  
4. 藤沢市空家等対策協議会の開催 727 千円  
 藤沢市空家等対策計画に基づき、これまでの施策の見直しや新たな施策の検討を行う。
  - ・空家等対策協議会委員報酬・旅費
  
5. 空家対策関係事務経費 522 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
2,967	9,281	23,427	33,437	69,112	

土木費

事業名	住宅政策推進費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 03 説明 01			住宅政策課		
指針体系コード	4-2-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	951	132				819
令和3年度	1,185	131				1,054
対前年度	△ 234	1				△ 235
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				132

【事業概要】

少子超高齢社会、本格的な人口減少社会を迎える中で、長期的な視野に立ち、総合的な住宅政策を推進する。

1. 藤沢市住宅マスタープランの進捗管理 92 千円  
 藤沢市住宅マスタープランに基づき、各課との連携を図り事業の進捗管理を行う。また、藤沢市居住支援協議会の運営及び団地再生に向けた地域と連携した取組を実施する。  
 ・旅費、消耗品費等

重点施策-1	居住支援協議会による住宅確保要配慮者への支援
重点施策-2	空き家の適正管理の促進と利活用の推進
重点施策-3	市営住宅の長寿命化等による居住性の向上と活用の推進
重点施策-4	団地再生に向けた地域と連携した取組の推進

2. 高齢者住まい探し相談会の実施 395 千円  
 本市の民間賃貸住宅への入居に困窮している高齢者等に対し、相談会を実施するなど、居住の安定を図るための入居支援事業を行う。  
 ・高齢者円滑入居支援事業業務委託 295 千円  
 ・公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会年会費 100 千円
3. 藤沢市居住支援協議会の開催・運営 160 千円  
 居住支援協議会の会員及び不動産事業者向けにセミナーを開催し、住宅確保要配慮者に対する理解の促進、支援体制の構築を図る。  
 ・セミナー講師謝礼 60 千円  
 ・居住支援協議会チラシ印刷製本費 100 千円
4. 湘南大庭の未来を考える会議の開催・運営 304 千円  
 団地再生の取組として、湘南ライフタウンをモデル地区に、行政、地域住民、事業者等で構成する「湘南大庭の未来を考える会議」において、地域の将来、再活性化について議論・検討し、多世代居住の観点も含めた大規模住宅団地の再生、持続可能なまちづくりの実現を図る。  
 ・湘南大庭の未来を考える会議委員報酬・旅費 139 千円  
 ・湘南大庭の未来を考える会議技術指導謝礼 135 千円  
 ・セミナー講師謝礼 30 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
1,185	951	6,079	7,063	15,278	

土木費

事業名	総合交通体系推進業務費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 03 説明 01			都市計画課		
指針体系コード	4-2-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	44,686	2,700				41,986
令和3年度	37,958	4,900				33,058
対前年度	6,728	△ 2,200				8,928
特定財源の内訳	(国庫支出金)	街路交通調査費補助金				2,700

【事業概要】

都市基盤や公共交通の充実に向けた総合交通体系整備を推進するとともに、誰もが利用しやすく、地域に根差した公共交通網の整備を進める。

令和4年度は、東京都市圏パーソントリップ調査の解析結果を基に、社会情勢の変化やコロナ禍における行動変容による新たな交通の考え方を加味した藤沢市交通マスタープラン、藤沢市交通アクションプラン及びふじさわサイクルプラン（藤沢市自転車活用推進計画）の令和5年度改定に向けた検討等を実施する。

- |                                 |           |
|---------------------------------|-----------|
| 1. 委託料                          | 38,245 千円 |
| ・ 総合交通体系に係る計画改定作業業務委託           | 20,163 千円 |
| ・ 公共交通利用転換事業に関する二酸化炭素削減効果測定業務委託 | 6,820 千円  |
| ・ 長後地区地域公共交通実証運行に関する業務委託        | 4,046 千円  |
| ・ いずみ野線延伸関連検討業務委託               | 7,216 千円  |
| 2. 負担金補助及び交付金                   | 3,398 千円  |
| ・ 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会年会費      | 180 千円    |
| ・ 地域提案型交通システム導入支援補助（善行地区・六会地区）  | 3,206 千円  |
| ・ 総合都市交通計画研修負担金                 | 12 千円     |
| 3. 総合交通体系推進業務事務経費               | 3,043 千円  |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
37,958	44,686	56,380	35,380	174,404	

商工費

事業名	誘客宣伝事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 01			観光課		
指針体系コード	4-3-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	地域経済循環を高める経済対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	50,096		10,277		37,607	2,212
令和3年度	31,548		5,315		16,660	9,573
対前年度	18,548		4,962		20,947	△ 7,361
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				10,277
	(その他)	江の島岩屋使用料				32,722
		片瀬東浜駐車場使用料				4,885

<拡充事業> 観光宣伝事業委託（旅行情報誌ブランドを活用した観光PR事業、観光プロモーション事業、外国人観光客誘致対策事業）

【施策等を必要とする背景】

本市では、新型コロナウイルスの影響によって疲弊した観光産業の再活性化をめざし、コロナ禍での取組の方向性を定める「藤沢市観光経済再活性化プラン」を策定し、取組を進めてきたが、今後の本市観光産業の再活性化に向けては、厳しい観光地間競争を勝ち抜ける戦略的な観光プロモーションを実施する必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

令和3年度においては、コロナ禍に鑑み、国内のうち、特に県内の観光客にターゲットを絞りプロモーション等を展開してきたが、今後、フェーズの切替えや、アフターコロナの際の円滑な観光行政の推進のため、令和4年度において、適切な情報発信やプロモーションの展開とともに、令和5年度以降を見据えたマーケティング調査等を実施する必要がある。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

本市では、平成23年に藤沢市観光振興計画を策定し、令和4年度までの12年間の計画期間の中で、概ね3年間の周期で見直しを実施してきた。

しかしながら、本来の見直し時期である令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光産業が大きく変化してきたことから、見直しの時期を延期し、コロナ禍における本市の観光施策の方向性を示す「藤沢市観光経済再活性化プラン」を策定して取組を進めてきた。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

今後に向けたニューノーマルな観光プロモーションを実施することで、「選ばれ続ける観光地」の実現が期待される。

また、外国人観光客については、日本政府観光局（JNTO）の調査結果から令和5年度には回復が見込まれるとされていることから、観光先の調査・選択を行う令和4年度において、マーケティング調査及び分析を行うとともに、情報発信等によるウィズコロナのフェーズにおける効果的な観光プロモーションを実施することで、アフターコロナの厳しい観光地間競争を勝ち抜き、スタートダッシュに備えることが期待できる。

2. 将来にわたる費用

国内外の観光客に係るマーケティング調査・分析経費のほか、より効果的な誘客宣伝に要する経費が必要となる。

**【事業概要】**

新型コロナウイルス感染症により大きな打撃を受け疲弊した市内観光産業について、コロナ禍からの回復を支援するため、まずは国内観光客をターゲットとした動画製作などによるプロモーション事業を行うとともに、その後、徐々に回復が想定されるインバウンド事業に係るマーケティングや情報発信、オンラインアンケートを実施し、市内観光経済の再活性化を図る。

さらに、高い経済効果が見込まれる事業や歴史資源を活用したイベント等に対し、側面的支援を行うことで、観光振興を図る。

- |        |   |           |
|--------|---|-----------|
| 1.     | 観光宣伝事業委託  | 43,177 千円 |
|        | ・メディアによる観光宣伝事業  | 1,397 千円  |
|        | ・観光ホームページによる宣伝事業  | 2,079 千円  |
|        | ・松本市交流事業  | 220 千円    |
|        | ・北部観光振興事業   | 200 千円    |
| (拡)    | ・旅行情報誌ブランドを活用した観光PR事業   | 9,961 千円  |
| (拡)    | ・外国人観光客誘致対策事業   | 13,746 千円 |
|        | ・宝探し事業（エノシマトレジャー）   | 9,517 千円  |
|        | ・観光親善大使関連事業   | 601 千円    |
| (新)    | ・観光プロモーション事業  | 5,456 千円  |
|        | 街頭ビジョンやYouTube等を活用した動画広告宣伝                                      |           |
| 2.     | 海と山との市民交歓会開催委託<br>姉妹都市・松本市との市民交流事業の実施                           | 1,091 千円  |
| (拡) 3. | 観光客動態調査事業負担金<br>auスマートフォン使用者のGPS情報及びSuica利用による動態調査等             | 4,182 千円  |
| 4.     | 地域観光振興事業補助金<br>8月に開催される遊行寺薪能事業への助成                              | 500 千円    |
| 5.     | 新春藤沢・江の島歴史散歩事業補助金<br>1月に藤沢七福神各神社・寺院で開催される新春藤沢・江の島七福神スタンプラリーへの助成 | 530 千円    |
| 6.     | 全日本ライフセービング選手権大会補助金<br>10月に片瀬海岸西浜で開催される全日本ライフセービング選手権大会への助成     | 300 千円    |
| 7.     | 誘客宣伝事業事務経費  | 316 千円    |



旅行情報誌ブランドを活用した観光PR事業



宝探し事業（エノシマトレジャー）

**【事業費（事務事業中の重点事業分）】**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
31,548	50,096	61,206	50,096	192,946	



商工費

事業名	観光施設整備費					
予算科目	款 8 項 2 目 4 細目 01 説明 02			観光課		
指針体系コード	4-3-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	地域経済循環を高める経済対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	114,090		13,666	72,200	18,670	9,554
令和3年度	86,420		0	66,500	12,800	7,120
対前年度	27,670		13,666	5,700	5,870	2,434
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				13,666
	(地方債)	観光施設整備債				72,200
	(その他)	江の島岩屋使用料				10,170
		江の島サムエル・コッキング苑リニューアル整備事業寄付金				8,500

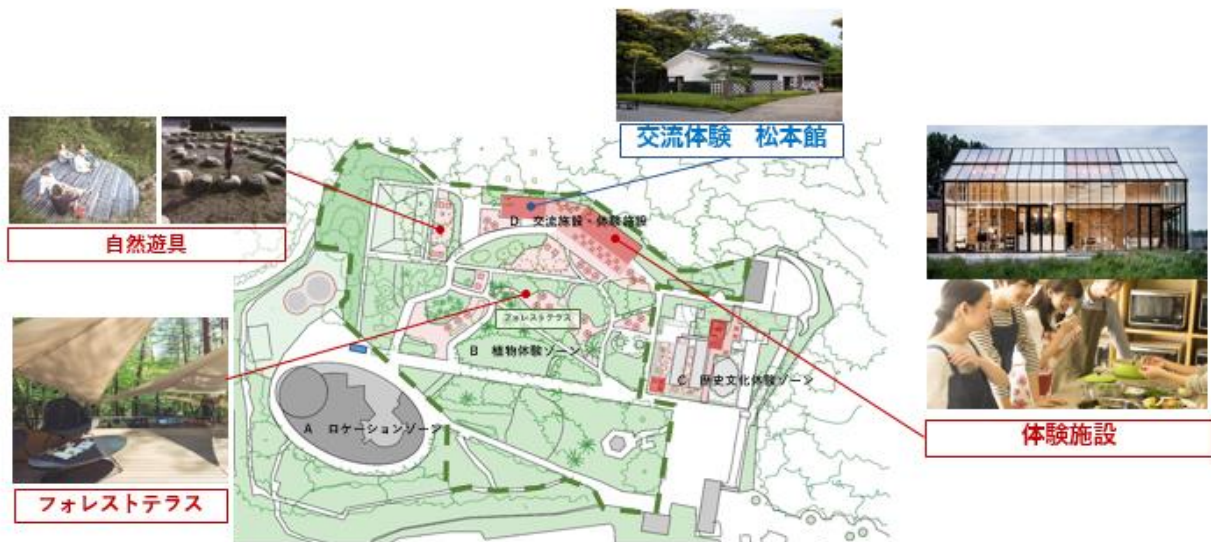
【事業概要】

ポストコロナを見据え、将来にわたり選ばれ続ける魅力ある観光地として、本市の観光施設の核となっている江の島サムエル・コッキング苑のリニューアル整備を行う。事業実施にあたっては、コスト縮減及び工期短縮の観点から、同施設の指定管理者である江ノ島電鉄（株）と協定を締結し、同社が一体的な工事を行い、市が応分の費用を負担する。

1. 江の島サムエル・コッキング苑リニューアル整備事業（第二工区） 114,090 千円  
 来場者の少ない昼間にも楽しめるコンテンツを提供し、観光客の分散化及び消費型観光を促進する観光施設をめざしリニューアル整備を行う。  
 第二工区として、植物に関連したワークショップ等が体験できる建物の新設や、松本館の改修に要する費用を負担するもの。  
 なお、事業実施にあたっては、クラウドファンディングを活用し財源の一部に充てる。

設計・整備予定期間 令和4年4月～令和4年9月

江の島サムエル・コッキング苑 第二工区エリア



整備イメージ

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
86,420	114,090	0	0	200,510	



環境保全費

事業名	環境基本計画関係費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 02 説明 01	環境総務課				
指針体系コード	5-1-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	1,015				0	1,015
令和3年度	23,143				21,340	1,803
対前年度	△ 22,128				△ 21,340	△ 788

【事業概要】

多様化する環境問題や今後の新たな課題に対し、良好な環境を次世代へ継承していくことを目的として市民・事業者・行政が一体となって各種施策を推進する。

1. 藤沢市環境審議会の運営 667 千円  
 藤沢市環境基本計画の推進及びふじさわ環境白書（藤沢市環境基本計画年次報告）の発行
  - ・ 審議委員謝礼 3回開催 626 千円
  - ・ 審議委員交通費 20 千円
  - ・ 審議委員選考委員会委員謝礼 21 千円
  
2. 環境基本計画関係事務経費 348 千円  
 消耗品費、旅費ほか

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
23,143	1,015	994	1,015	26,167	

環境保全費

事業名	地球温暖化対策関係事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 01	環境総務課				
指針体系コード	5-1-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	42,253				40,950	1,303
令和3年度	35,673				34,150	1,523
対前年度	6,580				6,800	△ 220
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				40,950

<拡充事業> 事業者用太陽光発電システム設置費補助金の新設ほか

【施策等を必要とする背景】

1. 事業者用太陽光発電システム設置費補助金の新設

市域における温室効果ガス排出量の多くは製造業、オフィスビル、商業施設、運輸業などが占めていることから、事業者に対する温室効果ガス排出量の削減に繋がる地球温暖化対策設備の導入促進を目的として、新たに本市の自然環境に適した太陽光発電システムの補助を設けるもの。

2. PPA事業（電力購入契約）による再生可能エネルギーの導入

地球温暖化対策として温室効果ガス排出量を削減するため、再生可能エネルギーの導入は欠かせない状況にあり、そのための手法として、初期投資のかからないPPA事業により市有施設に太陽光発電システムを設置し、温室効果ガス排出削減と災害時の電力確保の実現を図るもの。

【市民参加の実施の有無とその内容】

1. 有

市内に事業所等を有する事業者を補助対象とする。

2. 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市環境基本計画、藤沢市地球温暖化対策実行計画

【将来にわたる効果及び費用】

1. 自然環境を活かした太陽光発電システムは、再生可能エネルギーを利用した温室効果ガス排出量の削減につながる重要な設備であり、市域における排出割合が高い事業者に導入を促進することで、更なる温室効果ガス排出削減が見込まれる。

令和4年度以降 3,000千円

2. 公共施設における再生可能エネルギーの導入により温室効果ガス排出量の削減を図るとともに、市が一事業者として率先して取り組むことで、同事業について市民や事業者にも普及促進を図り、市域全体の温室効果ガス排出削減に繋げることができる。

**【事業概要】**

市民・事業者・行政が一体となって、地球温暖化に対応するため、住宅用太陽光発電システム設置者、家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置者、電気自動車導入者等への補助などの各種施策を実施する。

1. 藤沢市地球温暖化対策研究会の運営 64 千円  
 自然環境や都市環境に応じた地球温暖化における諸課題について企業・学識経験者・行政が協働して調査・研究を行う。  
 ・研究員謝礼（学識経験者分） 3 回開催

- (拡) 2. 地球温暖化対策設備等に関する補助事業 40,950 千円  
 地球温暖化対策を目的として、市民及び事業者を対象に、さまざまな地球温暖化対策設備の導入に対し補助金を交付するもの。

	対象	金額	予定件数	予算額
1	住宅用太陽光発電システム	個人住宅1kWあたり 15,000円 (上限50,000円)	150件	13,500千円
		家庭用燃料電池システムと同時 50,000円の増額	内70件	内6,000千円
		家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電池と同時 100,000円の増額	内50件	内5,000千円
2	事業者用太陽光発電システム	(新) 設置費の1/4 (上限 1,000,000円)	3件	3,000千円
3	家庭用燃料電池システム (エネファーム)	1件 50,000円	180件	9,000千円
4	定置用 リチウムイオン蓄電池	1件 50,000円	100件	5,000千円
5	雨水貯留槽	購入金額の1/2 (上限 15,000円)	30件	450千円
6	電気自動車(EV)	1台 100,000円	80件	8,500千円
		自宅、自社に太陽光発電システムを設置している 又は、同時に新設する場合 100,000円の増額	内5件	内500千円
7	燃料電池自動車(FCV)	1台 300,000円	5件	1,500千円

3. 地球温暖化対策関係団体等との連携 33 千円  
 地球温暖化対策地域協議会と連携し講演会等を開催するとともに、グリーン購入ネットワーク、雨水ネットワーク等へ参加する。

4. 2市1町・湘南エコウェーブプロジェクト事業の推進  
 茅ヶ崎市・寒川町と連携し、環境イベントの実施、緑の保全、レジ袋削減等の施策を広域的に推進する。

- (新) 5. PPA事業（電力購入契約）による再生可能エネルギーの導入  
 市有施設の屋根、土地を事業者に貸し、事業者負担で設置する太陽光発電システムにより発電した電力の購入契約を締結し、再生可能エネルギーの導入を図る。

6. 地球温暖化対策関係事業事務経費 1,206 千円  
 委員謝礼、消耗品費、旅費ほか

**【事業費（事務事業中の重点事業分）】**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
35,673	42,253	42,253	42,253	162,432	

環境保全費

事業名	環境啓発推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 02	環境総務課				
指針体系コード	5-1-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	10,952	5,000			900	5,052
令和3年度	10,645	5,000			900	4,745
対前年度	307	0			0	307
特定財源の内訳	(国庫支出金)	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金				5,000
	(その他)	環境制度推進事業協力金				900

【事業概要】

市民・事業者・行政が一体となって、地球温暖化防止のため、ふじさわ環境フェアの開催、「ゼロカーボン推進週間」啓発施策の実施、エコライフアドバイザーの派遣、また新たに小学生、園児を対象とした環境学習体験教室の開催など、さまざまな啓発施策を実施する。

1. 環境実践活動啓発関係 4,301 千円  
 環境啓発イベントとして、市民・環境団体・NPO法人・大学・環境関連企業等が連携し、環境活動の展示や発表を行うふじさわ環境フェアを開催する。  
 また、本市が取り組んでいるさまざまな環境施策を発信することを目的に環境ポータルサイト「ふじさわエコ日和」の運営、省エネに役立つ情報を掲載した「ふじさわエコライフハンドブック概要版」を発行、配布する。
  - ・ふじさわ環境フェア開催関係費 1,430 千円
  - ・ふじさわエコ日和運営委託費 2,871 千円
  - ・ふじさわエコライフハンドブック概要版関係費（費用はごみ減量推進事業費に含む）
2. エコライフアドバイザー派遣事業の実施  
 日常生活の中でできる省エネの取組などに関する講座等への専門的な講師の派遣について支援する。
  - ・エコライフアドバイザー派遣事業
- (新) 3. 環境学習体験教室の開催  
 小学校、児童クラブ、保育園にて、環境についての興味を持つきっかけ作りを目的に体験教室を開催する。
  - ・環境学習体験教室事業
4. CO2排出削減促進事業の実施 5,145 千円  
 地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」（賢い選択）と連携し、環境啓発イベント等を通じて、CO2排出削減に向けた普及啓発を推進する。
  - ・CO2排出削減促進事業関係費
5. 「ゼロカーボン推進週間」啓発施策の実施 545 千円  
 ゼロカーボンの推進に特化したさまざまな施策を実施し、市民、事業者の意識向上を図る。
  - ・講演会事業費 100 千円
  - ・街頭啓発キャンペーン物品購入費 245 千円
  - ・パネル展示関係費 200 千円
  - ・大学生との意見交換会
  - ・「COOL CHOICE」動画作成（費用は上記4に含む）
  - ・リサイクルプラザの体験講座（費用はリサイクルプラザ環境啓発事業費に含む）
6. 環境啓発推進事業事務経費 961 千円  
 環境教育教材等消耗品費ほか

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
10,645	10,952	12,255	12,255	46,107	

環境保全費

事業名	海岸美化関係費					
予算科目	款 3 項 1 目 3 細目 02 説明 01	環境総務課				
指針体系コード	5-1-41	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	67,911		22,885			45,026
令和3年度	58,597		22,785			35,812
対前年度	9,314		100			9,214
特定財源の内訳	(県支出金)	海岸漂着物等対策事業費補助金				22,885

【事業概要】

近年、海洋プラスチックごみや微細なプラスチック類であるマイクロプラスチックが、生態系に与える影響等について国際的に関心が高まり、プラスチックごみ削減及び海洋プラスチックごみ対策は世界全体で取り組むべき地球規模の課題となっている。

また、市区域内海岸の自然環境の保全を図るとともに、利用者にとって快適な環境と安全性を確保するため、(公財)かながわ海岸美化財団への藤沢市分負担金の拠出、江の島島内及び海岸追加清掃、ゴミゼロクリーンキャンペーン等を行う。

1. (公財)かながわ海岸美化財団への清掃事業費負担金の拠出 34,261 千円  
海岸清掃を一元化するために、県・関係市町・企業等により設立された(公財)かながわ海岸美化財団への藤沢市分負担金。(公財)かながわ海岸美化財団が海岸清掃を行う。
2. 江の島島内及び海岸追加清掃の実施 33,421 千円  
・江の島島内清掃、弁天橋喫煙所灰皿清掃、江の島岩礁部緊急清掃  
・夏期(7～8月)の海岸屑籠清掃、片瀬東浜・西浜追加清掃
3. ゴミゼロクリーンキャンペーンの実施 229 千円  
海岸をきれいにするとともに、海岸美化への意識啓発を目的として、毎年5月30日(ゴミゼロ)直近となる5月の日曜日に、藤沢市域海岸一帯のボランティア清掃としてゴミゼロクリーンキャンペーンを開催する。

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
58,597	67,911	67,911	67,911	262,330	

衛生費

事業名	ごみ減量推進事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 1 細目 03 説明 01	環境総務課・環境事業センター				
指針体系コード	5-1-51	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	293,820				285,639	8,181
令和3年度	263,874				256,626	7,248
対前年度	29,946				29,013	933
特定財源の内訳	(その他)	一般廃棄物処理手数料				270,294
		生ごみ処理容器売払収入				631
		環境基金繰入金				13,751
		広告料収入				963

<拡充事業> 指定収集袋の見直し（バイオマスプラスチックを使用した指定収集袋の導入等）

**【施策等を必要とする背景】**

国は令和2年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、本市も令和3年2月に「藤沢市気候非常事態宣言」を表明し、その柱の一つとして2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロをめざすことを掲げている。

現在使用している指定収集袋は石油由来の素材を使用したワンウェイプラスチックであるため、その製造や焼却過程でCO<sub>2</sub>が排出されている。国のプラスチック資源循環戦略では自治体を使用する指定収集袋を、バイオマスプラスチック等の再生可能資源へ代替することを促進している。

また、市民意識調査において、「プラスチックごみの削減」や「リサイクルを含め資源を大切にす」など環境問題に対する意見が出されており、市の対策が求められている。

**【提案に至るまでの経緯】**

脱炭素社会の実現に向け、本市として環境に配慮した施策を実施する必要があることから、バイオマスプラスチックを使用した指定収集袋を導入するもの。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 無

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

- ・ 藤沢市環境基本計画の施策の展開に位置付け
- ・ 藤沢市地球温暖化対策実行計画の温室効果ガス排出削減に向けた取組に位置付け

**【将来にわたる効果及び費用】**

バイオマスプラスチックの導入により、温室効果ガス排出量の削減が成され、地球温暖化対策に寄与するとともに、環境に対する市民意識の向上が図られる。

**【事業概要】**

ごみの排出抑制や減量、再使用及び再生利用の促進を図るため、ごみ処理有料化制度の継続や生ごみ処理器及び家庭用電動生ごみ処理機の購入費助成、ごみの減量・資源化の啓発を行う。食品ロスの削減に向けた取組の推進及びプラスチックごみ削減に関する啓発等を実施する。

1. 指定収集袋の流通システムの運営	272,195 千円
家庭及び小規模事業所から排出する際に用いる指定収集袋の流通システムの運営を行う。	
(拡)	
・バイオマスプラスチックを使用した指定収集袋の製造・保管及び配送業務委託料 実施予定 令和4年7月	188,374 千円
・指定収集袋流通管理等業務委託料	15,640 千円
・指定収集袋取扱手数料	66,280 千円
・免除対象者用引換券関係経費	1,901 千円
2. 生ごみ処理器及び家庭用電動生ごみ処理機の購入費助成	11,055 千円
・生ごみ処理器購入費助成	3,905 千円
・家庭用電動生ごみ処理機購入費補助金	7,000 千円
・生ごみ処理器等申し込み用リーフレット	150 千円
3. ごみ減量・資源化啓発事業の実施	317 千円
・市内小学4年生及び保育園・幼稚園を対象としたごみ体験学習会の実施	157 千円
・ごみ減量推進店の認定	50 千円
・啓発用動画の制作	110 千円
4. ごみNEWSの作成及び配布	1,656 千円
ごみNEWS（年1回）16万1千部を作成し、各世帯に配布	
5. ごみ検索システム・ごみ分別アプリの運営・管理	792 千円
6. 藤沢市廃棄物減量等推進審議会の運営	998 千円
7. プラスチック製容器包装再商品化経費	4,191 千円
8. プラスチックごみ削減及び食品ロス削減推進啓発事業	612 千円
9. ガラス等再商品化経費	1,870 千円
10. ごみ減量推進事業事務経費	134 千円

**〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
7,327	202,695	202,956	202,956	615,934	プラスチックごみ削減等



環境保全費

事業名	緑地保全事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 01			みどり保全課		
指針体系コード	5-1-61	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
区分	事業費	重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	162,723		304		51,194	111,225
令和3年度	160,878		304		52,212	108,362
対前年度	1,845		0		△ 1,018	2,863
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				94
		森林病虫害等防除事業補助金				110
		自然環境事務委託金				100
	(その他)	その他証明閲覧手数料				2
		みどり基金繰入金				14,914
				森林環境譲与税基金繰入金	36,278	

【事業概要】

市有山林・憩いの森など樹林地の維持管理及び里山環境の構築を図るとともに、みどり豊かなまちづくりを進めるため、市民等が所有する樹林・樹木・生垣の保存指定を行う。

また、緑地の保全活動を市民と協働で行い、市民ボランティアの育成を図り、活動に携わった市民の郷土愛や地域コミュニティの醸成、豊かな自然環境の復元及び防犯性の向上を目的に事業を実施する。

1. 市有山林、緑地等の維持管理 116,713 千円
  - ・緑地等修繕費等 21,490 千円
  - ・緑地下草刈り及び樹木剪定等業務委託 55,736 千円
  - ・緑地境界測量業務委託 924 千円
  - ・緑地パトロール業務委託 1,191 千円
  - ・樹林地復元業務委託 36,278 千円
  - ・憩いの森、自然環境保全地賃借料 1,094 千円
2. 藤沢市みどり保全審議会の開催 567 千円  
 緑の保全及び緑化の推進について必要な事項を調査、審議するため、審議会を開催する。(開催予定数 4回)
3. 保存樹木等関係費 36,000 千円  
 保存樹林・保存樹木・保存生垣の所有者に対し、奨励金を交付する。
4. 藤沢市みどり保全協働事業負担金 5,382 千円  
 緑地保全活動事業、養成講座事業、環境調査事業、普及啓発事業、支援活動事業の5事業を実施する協働事業活動団体との基本協定に基づく負担金
5. 工事請負費 2,728 千円  
 元藤沢航空隊付近市有山林内にある旧大庭東町町内会館の解体工事  
 ・旧大庭東町町内会館解体工事
6. 緑地保全事業事務経費 1,333 千円  
 消耗品費、負担金等

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
36,288	36,278	46,961	46,961	166,488	樹林地復元

環境保全費

事業名	自然環境共生推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 04	みどり保全課				
指針体系コード	5-1-71	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	7,914				4,524	3,390
令和3年度	7,009				4,524	2,485
対前年度	905				0	905
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				4,524

【事業概要】

「藤沢市生物多様性地域戦略」及び令和3年度から取り組んでいる「藤沢市生物多様性実行プラン（第1期計画）」に基づき、生物多様性の保全及び持続可能な利用に資する取組を進めるとともに、市民等の生物多様性に対する関心や認識を高めるための普及啓発を図る。

また、ヒートアイランド現象の緩和、みどり豊かな都市景観の創出などを目的として、市民や事業者を対象とした建物緑化に対する助成及び普及啓発を図る。

- |                      |          |
|----------------------|----------|
| 1. 藤沢市生物多様性地域戦略推進事業  | 6,588 千円 |
| ・長久保公園みどりの相談所施設修繕    | 2,206 千円 |
| ・ビオトープ維持管理等          | 3,234 千円 |
| ・生物多様性サテライトセンター消耗品費等 | 1,148 千円 |
| 2. 建物緑化事業            | 1,326 千円 |
| ・建物緑化助成事業交付金等        |          |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
0	0	10,000	20,000	30,000	生物多様性地域戦略

下水道事業費

事業名	下水道事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	下水道総務課 ほか2課
指針体系コード	5-1-81	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	19,857,442	709,510		2,487,800	4,458,107	12,202,025
令和3年度	19,937,416	648,497		2,992,700	4,322,901	11,973,318
対前年度	△79,974	61,013		△504,900	135,206	228,707
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				709,510
	(地方債)	公共下水道債				2,481,500
		流域下水道債				6,300
	(その他)	一般会計負担金				4,347,581
		一般会計出資金				110,526

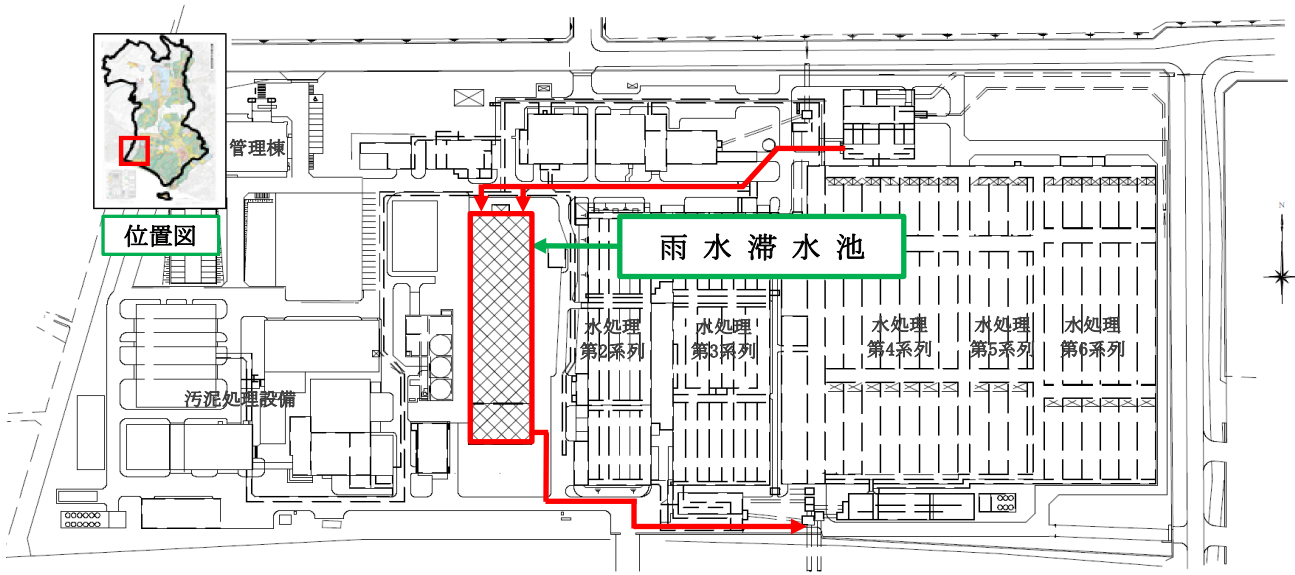
【事業概要】

市民が健康で安全かつ快適な生活を送れるよう、雨水の排除による浸水の防除、生活環境の改善及び公共用水域の水質の保全を図るため、下水道の整備及び維持管理を行う。

また、安全で安定した下水道サービスの確保、継続的な経営改善と経営基盤の強化を図るため、令和5年度のアセットマネジメント運用に向けた段階的な導入作業を進めるとともに、ストックマネジメント計画に基づいた点検・調査及び修繕・改築工事を行う。

1. 収益的支出の主な事業 12,266,533 千円
  - (1) 管渠維持管理事業 1,132,472 千円  
 下水道管路の点検・調査（延長300km）及び浚渫清掃等業務委託、管渠・取付管及びマンホール蓋の修繕、ストックマネジメント計画実施に伴う管路調査・診断委託ほか
  - (2) ポンプ場維持管理事業 1,150,927 千円  
 ポンプ場15カ所等の維持管理に係る業務委託、予防保全等の修繕工事、ストックマネジメント計画実施に伴う点検・調査ほか
  - (3) 浄化センター維持管理事業 2,997,999 千円  
 辻堂及び大清水浄化センターの維持管理に係る業務委託、予防保全等の修繕工事、ストックマネジメント計画実施に伴う点検・調査ほか
  - (4) 水洗便所普及促進事業 22,383 千円  
 「下水道の日」作品コンクールなどの下水道PR活動、水洗化促進  
 令和4年度末見込み 水洗化率 98.5%
  - (5) 減価償却費、支払利息等 6,962,752 千円
  
2. 資本的支出の主な事業 #REF! 千円
  - (1) 南部処理区管渠建設事業 905,087 千円  
 辻堂南部放流管築造工事（その4）（令和3年度～令和5年度）  
 合流管路（新設）延長136m  
 辻堂南部放流管流入管渠築造工事（令和4年度～令和5年度）  
 合流管路（新設）延長29mほか
  - (2) 東部処理区管渠建設事業 553,873 千円  
 円行第二排水区雨水管渠築造工事（令和3年度～令和4年度）  
 雨水管路（新設）延長153m  
 西俣野地内管渠更生工事  
 汚水管路（改築）延長138mほか

- (3) 南部処理区ポンプ場建設事業 388,811 千円  
 大庭ポンプ場沈砂池設備改築機械工事 (令和3年度～令和4年度)  
 大庭ポンプ場負荷設備他改築電気工事 (令和3年度～令和4年度) ほか
- (4) 東部処理区ポンプ場建設事業 1,681 千円  
 ストックマネジメントデータベース (施設) 等運用規則整理業務委託
- (5) 辻堂浄化センター建設事業 1,183,770 千円  
 雨水滞水池建設工事委託、雨水滞水池機械電気等工事委託ほか
- (6) 大清水浄化センター建設事業 226,741 千円  
 管理棟受変電設備他改築工事 (令和3年度～令和4年度) ほか
- (7) 新市街地下水道建設事業 274,871 千円  
 土地区画整理事業施行区域における汚水及び雨水管渠築造工事  
 北部第二 (三地区) 汚水管路 (新設) 延長 1,317 m  
 雨水管路 (新設) 延長 1,236 m
- (8) 相模川流域下水道建設事業 246,290 千円  
 宮原地内汚水管渠築造工事 汚水管路 (新設) 延長 221 mほか
- (9) 水洗便所普及促進事業 (貸付金) 5,500 千円  
 水洗便所改造等工事資金の貸付  
 水洗便所改造等資金貸付金 10件 区域外水洗便所改造等資金貸付金 1件
- (10) 企業債償還金等 3,804,285 千円



辻堂浄化センター 雨水滞水池 完成予定平面図



「下水道の日」作品コンクール 優秀作品の展示

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
2,265,281	2,157,883	2,830,370	2,811,520	10,065,054	辻堂浄化センター雨水滞水池等

総務費

事業名	デジタル推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 02 説明 01	デジタル推進室				
指針体系コード	5-2-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	デジタル市役所・スマートシティの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	128,429	29,986				98,443
令和3年度	39,935	0				39,935
対前年度	88,494	29,986				58,508
特定財源の内訳	(国庫支出金)	デジタル基盤改革支援補助金				29,986

<拡充事業> 行政手続等オンライン化、内部事務効率化、スマートシティの推進ほか

【施策等を必要とする背景】

現在国は、デジタル庁を設置するなど行政のデジタル化に向けて急速な改革を進めている。各自治体においても2040年問題への対応や内部事務の効率化、市民の利便性の向上など、デジタル市役所の実現に向けた取組の推進が必要である。

また、人口減少、少子超高齢化、自然災害の激甚化など、さまざまな社会課題が深刻化する中、限られた人員や財源で持続可能なまちづくりを実現するためには、デジタル技術など新しい技術を活用したスマートシティの推進が必要である。

【提案に至るまでの経緯】

- ・国  
令和2年12月 : 「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」の策定  
令和3年 5月 : デジタル改革関連法成立
- ・本市  
令和3年 4月 : 「藤沢市官民データ活用推進指針」の改定  
令和3年 6月 : 総務常任委員会において「本市におけるDXの取組について」を報告  
令和3年11月 : DX戦略推進プロデューサーを任用

【市の策定する計画や条例との整合性】

1. 市政運営の総合指針2024における重点施策
2. 藤沢市DX推進計画(今後、「藤沢市官民データ活用推進指針」を兼ねる)
3. 藤沢市スマートシティ基本方針

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果  
デジタル市役所の実現により、市民の利便性の向上、内部事務の効率化につなげる。  
また、産官学のマルチパートナーシップによるスマートシティの推進により、ICT等の新技術やデータの利活用で本市の抱える諸課題の解決を行い、市民生活の質をさらに向上させ、豊かで暮らしやすいまちづくりを実現する。
2. 将来にわたる費用  
デジタル市役所の実現及びスマートシティ推進のための事業費が継続的に必要となる。  
なお、デジタル庁をはじめとする国の交付金・補助金等、国・県の支援策を積極的に活用する。

**【事業概要】**

市民の利便性の向上や内部事務の効率化を図るため、行政手続等のオンライン化、ICTの利活用による内部事務効率化、デジタル人材の育成等によって、デジタル市役所の実現を推進する。

また、Society 5.0時代の到来を踏まえ、ICT等の新技術やデータの活用等により、本市が抱える諸課題の解決を行い、市民生活の質を向上させ、新たな価値を創出し続ける持続可能なまちづくりの実現に向けて、スマートシティを推進する。

1. 行政手続等オンライン化とICTの利活用による内部事務効率化 84,063 千円  
 ・行政手続等のオンライン化に向けた課題整理を行うため、手続の棚卸調査、分析、検証等を委託する。  
 ・各課等の行政手続のオンライン化を支援するとともに、e-kanagawa電子申請システム等を活用する。  
 (拡) ・RPAツールの活用により事務処理の効率化を図る。  
 (拡) ・各種証明書等の手数料などをキャッシュレス化し、市民の利便性の向上を図る。  
 (拡) ・マイナポータル（ぴったりサービス）連携に伴う申請管理システムの導入を行い、庁内の基幹系システムとオンライン接続することで行政運営の効率化を図る。
- (拡) 2. Web会議等環境の整備 8,358 千円  
 Web会議システムを使用した会議や打ち合わせの増加に対応するため、Web会議の環境整備を拡充する。
- (拡) 3. デジタル人材の育成 9,210 千円  
 各業務における課題整理、解決方法を習得し、業務プロセスの再構築等を行うことができるデジタル人材の育成人数を拡充し、DXの推進に向けた体制整備を図る。
4. ITガバナンスの推進 9,899 千円  
 各課等のシステム調達に対する相談・支援を委託し、効果的なシステムの導入及び経費削減を図る。
5. デジタルデバйд対策事業 1,579 千円  
 スマートフォンなどのデジタル機器の取扱方法を学ぶ講座の開催等、デジタル化に対する不安を解消する機会の提供を行う。
6. 藤沢市LINE公式アカウント運用 2,783 千円  
 藤沢市LINE公式アカウントを活用し、利用者のニーズに合わせた行政情報の配信やチャットボットによる自動問い合わせ対応などのサービス提供を行う。
- (拡) 7. スマートシティの推進 9,810 千円  
 スマートシティの取組として有効となる事業の検討・実施に向けた支援及び市民ニーズを的確に把握し、事業実施に結び付けるための支援を委託する。
8. DX戦略推進プロデューサーの任用 1,515 千円  
 自治体DXやスマートシティ推進のため、専門的な知見を持つ外部人材を非常勤特別職として任用する。
9. その他事務経費 1,212 千円

（7と8の事業は令和3年度9月補正で増額した事業）

**【事業費（事務事業中の重点事業分）】**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
39,935	128,429	65,512	65,512	299,388	

総務費

事業名	ロボット未来社会推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 03 説明 01	デジタル推進室				
指針体系コード	5-2-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	デジタル市役所・スマートシティの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	27,740		0			27,740
令和3年度	28,736		8,781			19,955
対前年度	△ 996		△ 8,781			7,785

【事業概要】

「藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト」に基づき、生活支援ロボットの利活用と普及啓発等を図る。

- 生活支援ロボット普及啓発等推進事業 24,634 千円  
 地域経済団体と連携し、生活支援ロボットの展示ショールーム「ロボテラス」において、展示するロボットや開催するイベント等を充実させ、ロボットが生活の中で身近に感じられるよう普及啓発等を行う。
- ロボットに関する次世代人材の育成 2,392 千円  
 子どもたちがモノづくりの楽しさを体験する中で、ロボットのメカニズムを通じ工学の基礎を学習し、創造性を養うことを目的とした「少年少女ロボットセミナー」を開催する。
- 行政課題等の解決に向けたロボット利活用促進・実証実験支援事業 714 千円  
 行政が抱えるさまざまな課題の解決や新型コロナウイルス感染症に伴う新しい生活様式への対応に適したロボット（AIなど要素技術を含む）を実証的に活用することで、ロボットの利活用における先進的な取組を行う。



ロボテラスでのドローンセミナー



自動走行型紫外線照射  
除菌ロボットの実証実験

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
28,736	27,740	29,026	29,026	114,528	

総務費

事業名	個人番号カード普及促進事業費					
予算科目	款 2 項 3 目 1 細目 02 説明 07			市民窓口センター		
指針体系コード	5-2-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	デジタル市役所・スマートシティの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	39,190	39,190				
令和3年度	40,479	40,479				
対前年度	△ 1,289	△ 1,289				
特定財源の内訳	(国庫支出金)	マイナンバーカード交付事務費補助金				39,190

【事業概要】

マイナンバーカードの普及促進と北部地域に居住する市民の利便性向上を図るため、マイナンバーカードの各種手続きを行う「マイナンバーカード北部窓口」を運営する。

- |                             |           |
|-----------------------------|-----------|
| 1. マイナンバーカード北部窓口の運営         | 39,190 千円 |
| ・ 什器・端末等賃借料                 | 21,391 千円 |
| ・ 建物賃借料                     | 11,983 千円 |
| ・ その他(手数料、警備委託料、回線使用料、光熱費等) | 5,816 千円  |

(開設場所)

イトーヨーカドー湘南台店2階

(開設期間)

令和5年3月末まで

(取扱業務)

- ・ マイナンバーカード交付 (事前予約制)
- ・ マイナンバーカード申請受付 (再発行を含む)
- ・ マイナンバーカード記載事項変更
- ・ 電子証明書新規発行
- ・ 電子証明書有効期限更新
- ・ 電子証明書暗証番号再設定

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
40,479	39,190	0	0	79,669	



総務費

事業名	職員採用関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 2 細目 01 説明 01	職員課				
指針体系コード	5-3-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	12,802					12,802
令和3年度	11,823					11,823
対前年度	979					979

【事業概要】

社会情勢の変化に適応できる柔軟性や、魅力あるまちづくりを形成するための発想力、住民の参画意識を高めるためのコミュニケーション能力を持った優秀な人材を確保するため、採用情報の効果的な周知を図るとともに、本市の将来を担うことができる人材の採用につながる職員採用試験を実施する。

1. 採用情報の周知 1,106 千円  
各大学が開催する採用説明会に参加するとともに、就職情報サイトや求人広告等に採用情報を掲載する。
2. 採用支援ツールの活用 1,100 千円  
採用試験の実施にあたり、求める人材像を可視化するとともに、優秀な人材に直接アプローチするため、採用支援ツールを活用する。
3. 採用試験の実施 10,076 千円  
公務員志望者だけでなく民間企業志望者からの応募を促進するため、インターネット上で受験可能なWeb方式など、ニーズに沿った効果的な手法で採用試験を実施する。
4. 事務経費 520 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
11,823	12,802	12,802	12,802	50,229	

総務費

事業名	職員基本研修費					
予算科目	款 2 項 1 目 3 細目 01 説明 01	職員課				
指針体系コード	5-3-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	10,098					10,098
令和3年度	8,668					8,668
対前年度	1,430					1,430

【事業概要】

多様化する市民ニーズや社会情勢の変化、幅広い課題に迅速かつ的確に対応するため、人材育成基本方針に基づき、職員一人ひとりの資質を向上させ、組織力の向上を図り、市民サービスの向上につながるよう、職員の成長段階に応じた能力向上や自己啓発の推進のための基本研修及び職場研修等を実施する。

- |  |          |
|--|----------|
| 1. 基本研修及び職場研修の実施   | 8,969 千円 |
| 階層別研修、合同研修及び職場研修を実施する。基本研修では、政策形成やDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進など、課題解決に挑戦する人材の育成を図る研修を実施する。 |          |
| 2. 事務経費  | 1,129 千円 |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
8,668	10,098	10,098	10,098	38,962	

総務費

事業名	職員専門研修費					
予算科目	款 2 項 1 目 3 細目 01 説明 02	職員課				
指針体系コード	5-3-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	7,006				600	6,406
令和3年度	7,006				600	6,406
対前年度	0				0	0
特定財源の内訳	(その他)	(公財)神奈川県各市町村振興協会中央研修所等受講助成金				600

【事業概要】

多様化する市民ニーズや社会情勢の変化、幅広い課題に迅速かつ的確に対応するため、人材育成基本方針に基づき、職員一人ひとりの資質を向上させ、組織力の向上を図り、市民サービスの向上につながる専門的な知識やスキルを習得するため、専門研修及び派遣研修を実施する。

- |   |          |
|---|----------|
| 1. 専門研修及び派遣研修の実施  | 4,676 千円 |
| 市民サービスの向上につながる専門的な知識やスキルを習得するため、専門研修の実施のほか研修専門機関が主催する研修への派遣やより多様な民間企業への長期派遣研修を実施する。 |          |
| 2. 事務経費   | 2,330 千円 |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
7,006	7,006	7,006	7,006	28,024	

民生費

事業名	介護人材育成支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 18 説明 01	介護保険課				
指針体系コード	5-3-41	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	8,121		595			7,526
令和3年度	8,529		304			8,225
対前年度	△ 408		291			△ 699
特定財源の内訳	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金(介護分)事業費補助金				45
		市町村自治基盤強化総合補助金				550

<拡充事業> 介護人材の確保等に向けた各種事業の充実

【施策等を必要とする背景】

少子超高齢社会の進展に伴い、生産年齢人口が減少し、働き手の確保が一層難しくなることが想定される一方、介護ニーズは今後も増加することが予想される。

そのため、国は、「介護現場革新会議」を発足し、介護現場の生産性向上を促進し、社会構造の変革に対応できるよう、人手不足の中でも質の維持・向上を実現するマネジメントモデルの構築、ロボット・センサー・ICTの活用、介護業界のイメージ改善と人材の確保といったテーマを掲げて取組を進めている。

【提案に至るまでの経緯】

事業の充実に向けて、国の動向を注視しつつ、介護サービス事業者に対するアンケート調査や特別養護老人ホームの施設長会等での意見交換を踏まえながら検討してきた。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・いきいき長寿プランふじさわ2023（令和3年度～令和5年度）
- ・ロボット未来社会推進プロジェクト

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

人材の確保・定着及び技能の向上により、多様化する利用者ニーズに対応した質の高い介護サービスが提供される。また、介護事業所が地域における安心の担い手としての役割を果たし続けることができる。

2. 将来にわたる費用

介護ニーズに応じて、継続的な支出が必要である。

【事業概要】

介護人材の確保等を図るため、介護職員初任者研修等の受講料の助成をはじめ、介護未経験者等の参入促進や、中学生に対するイメージ改善等の取組を進めるとともに、介護事業所に対して介護ロボット・ICT活用等の支援を行う。

1. 介護職員等研修受講料助成事業 400千円  
介護職員初任者研修又は介護支援専門員実務研修の受講修了者が市内の介護事業所等に6カ月以上就労した場合に、当該研修受講料の一部を助成する。

- (拡) 2. 外国人介護職員受入支援事業 1,020千円  
介護福祉士資格の取得をめざす外国人留学生等を新たに受け入れる特別養護老人ホーム等を運営する法人に対し、居住費及び生活必需品に係る費用の一部を助成する。  
令和4年度からは、特定技能への在留資格移行準備期間中に、特定活動の在留資格で就労する外国人を新たに補助対象とする。

3. 介護職員等キャリアアップ研修支援事業 2,400 千円  
 介護職員等の資格取得又はスキルアップにつなげるため、介護事業所が講師を招いて行う研修や職員を外部に派遣する研修等に係る費用の一部を助成する。  
 (研修受講料等の2分の1以内・1法人当たり上限12万円)

(拡) 4. 介護の入門的研修の実施 2,531 千円  
 介護分野への人材の参入を促進するため、介護に関心を持つ介護未経験者を対象に、介護業務に携わる上での不安を払拭することを目的とした基本的知識を身につける研修を実施する。令和4年度においては、受講者の都合の良い時間に受講できるようオンライン講座を中心に実施する。

(新) 5. 先進的介護実証事業 1,650 千円  
 特別養護老人ホームを実証施設の対象として、介護の専門的なコンサルティング事業者とともに、プロジェクトチームを立ち上げ、生産性向上に向けたロボット・ICT等の導入及び効果検証を実施する。

6. その他の介護人材育成支援事業 120 千円

- (1) 介護のしごと出前授業  
 市内中学校からの依頼により、介護事業所の職員が学校を訪問し、介護の仕事内容や体験、やりがいについての講演会等を実施する。
- (2) 介護の職場体験事業  
 介護業界に就職を希望する人、興味のある人、また、どのような介護事業所で働くかを迷っている人を対象に、介護職場での見学及び仕事体験ができる機会を提供する。
- (3) 介護現場の生産性向上プロジェクト  
 介護事業所とともに、介護ロボット・ICT導入等に先進的に取り組んでいる介護事業所への視察や開発メーカー等との意見交換等を行う。
- (4) 介護事業所の見学&仕事相談会 (バスツアー事業)  
 ハローワーク藤沢との共催により、バスで介護事業所を巡り、事業所内における見学と就職相談を行う事業を実施する。

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
8,529	8,121	6,721	6,971	30,342	

民生費

事業名	法人立保育所運営費等助成事業費 <再掲>						
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 04			保育課			
指針体系コード	3-2-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる				
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実				
	5-3-51	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる				
		重点施策名	人材育成の推進				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
令和4年度	2,840,756	358,624	265,204		90,480	2,126,448	
令和3年度	2,587,681	214,503	241,883		90,480	2,040,815	
対前年度	253,075	144,121	23,321		0	85,633	
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金					72,950
		保育対策総合支援事業費補助金					149,207
		子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金					1,496
		保育士等处遇改善臨時特例交付金					134,971
	(県支出金)	民間保育所特別経常費補助金					12,871
		子ども・子育て支援交付金					72,950
		保育対策総合支援事業費補助金					147,195
		保育緊急対策事業費補助金					23,503
		保育エキスパート等研修代替保育士雇用費補助金					6,135
	(その他)	短時間保育士雇上事業費補助金					2,550
		法人立保育所建物賃料収入					90,284
法人立保育所用地賃料収入					196		

<拡充事業> 保育士人材確保策の強化（保育士奨学金返済補助金の対象拡大）

**【施策等を必要とする背景】**

近年、保育士不足が全国的に顕著であり、本市においても保育士不足の状況が続いている。令和3年4月の保育施設入所選考にあたっては、保育士不足の理由により、入所児童の受け入れを制限する事態が生じるまでとなり、保育士の確保が急務となっている。

**【提案に至るまでの経緯】**

- 平成28年 1月 保育のしごと相談会の開始
- 平成28年 4月 保育士等確保事業補助金を新設
- 平成29年 4月 保育士宿舍借り上げ支援事業補助金を新設
- 平成30年 9月 保育士確保のための県外保育士養成校訪問事業の開始
- 平成30年10月 潜在保育士の復職に向けた、公立保育所での保育体験事業の実施
- 平成31年 4月 保育士奨学金返済補助金及び潜在保育士保育体験費用補助金を新設、保育士宿舍借り上げ支援事業補助金の補助対象者数及び保育士等確保事業補助金の補助上限額を拡大
- 令和 元年 8月 保育士募集案内用リーフレットの作成・配布
- 令和 2年 4月 保育士就職支援補助金（現在の保育士転入奨励補助金）を新設、保育士奨学金返済補助金及び保育士宿舍借り上げ支援事業補助金の対象要件等を拡大
- 令和 3年 4月 保育士就労奨励助成金を新設、保育士奨学金返済補助金の対象要件等を拡大、本市独自での子育て支援員研修事業を委託により実施

保育士確保策として上記取組を行ってきたが、現状では依然として保育士不足が生じている。令和4年度に向けては、関係団体からの要望を踏まえ、既存事業のさらなる拡充について検討を進めた。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）<令和2年度～令和6年度>

**【将来にわたる効果及び費用】**

1. 将来にわたる効果

保育士が安定的に確保されることにより、保育の質の確保とその向上につながる。

2. 将来にわたる費用

事業の拡充に係る費用は、保育士不足が一定程度解消されるまで継続的な支出が必要となる。

**【事業概要】**

多様化する保育ニーズに対応するとともに、保育環境の充実を図るため、市内の法人立認可保育所の設置運営法人に対して、人件費・施設管理費などの運営費を助成するとともに、保育士の確保に向けた各種支援事業等を実施する。

1. 法人立保育所等の運営に係る業務委託 2,040,588 千円  
市内法人立認可保育所に対する人件費・施設管理費のほか、一時預かり事業や病児・病後児保育事業等の実施に要する経費等

2. 保育士確保に向けた事業 146,630 千円  
＜保育士への支援事業＞

(括) ・保育士奨学金返済補助金 7,200 千円  
奨学金の返済に要した費用の1/2（上限20万円）を補助する。令和4年度から補助対象者の市内在住要件を撤廃する。

・潜在保育士保育体験費用補助金 50 千円

・保育士転入奨励補助金 1,350 千円

・保育士就労奨励助成金 8,620 千円

＜保育所等への支援事業＞

・保育士宿舍借り上げ支援事業補助金 99,630 千円

・保育士等確保事業補助金 26,388 千円

＜その他の事業＞

・保育士募集案内用リーフレット等の作成 400 千円

・子育て支援員研修事業 2,992 千円

3. 新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金 42,800 千円  
感染症拡大防止に係る必要備品の購入等の経費を補助する。

4. 法人立保育所特別経常費補助金 58,829 千円  
施設及び設備整備のために資金を借り入れた法人に対し、その経費の一部を補助する。

5. 法人立認可保育所の設置運営に係る経費の補助 308,262 千円  
土地や建物を賃借して認可保育所を設置する法人に対し、その経費の一部を補助する。  
・社会福祉法人立保育所用地賃借料補助金 19,774 千円  
・分園設置運営補助金 5,000 千円  
・保育所建物設置賃借料補助金 283,488 千円

6. 保育士等処遇改善（4月～9月分） 134,971 千円

7. 湘南C-X内保育所建物賃借料、その他保育所土地賃借料 96,973 千円

8. 市外法人立認可保育所等に在園する本市在住児童への法外扶助費 8,912 千円

9. その他法人立認可保育所の運営等に係る事務経費 2,791 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
120,767	146,630	146,630	146,630	560,657	保育士確保

民生費

事業名	幼稚園人材確保支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 04 説明 06	保育課				
指針体系コード	5-3-61	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	9,980					9,980
令和3年度	3,520					3,520
対前年度	6,460					6,460

<拡充事業> 幼稚園等住宅手当補助金及び幼稚園教諭等奨学金返済補助金の実施

【施策等を必要とする背景】

市内幼稚園等へ行った人材確保に関するアンケート調査では、1施設当たり平均2人程度の幼稚園教諭の不足が確認されたところであり、人材が不足する幼稚園等ではクラス数の削減を余儀なくされるなど、厳しい運営が続いている。

こうした中、幼稚園等では預かり保育の拡充により、保育の受け皿としての役割が期待されており、待機児童対策の観点からも人材確保への支援の必要性が高まっている。

【提案に至るまでの経緯】

市内幼稚園等の人材不足への対応として、市では本事業を「市政運営の総合指針2024」の重点事業に位置付けた上で対策を進めることとし、まず取組の第1段階として、令和3年度から潜在する幼稚園教諭等の就労促進策として「幼稚園教諭等就労奨励助成金」の交付を開始した。

その取組の第2段階として、市内関係団体からの意見や要望を踏まえ、令和4年度には新卒者等の採用に向けた支援策を講じることとし、幼稚園等での住宅手当の支給や幼稚園教諭等の奨学金返済への補助事業を行うこととした。

新たな補助事業では、幼稚園利用者から預かり保育の長時間化等を求める声が多いことを踏まえ、幼稚園が預かり保育の拡充を図るインセンティブとなるよう、支援の手法について検討を進めた。

令和3年7月 市内関係団体からの人材確保に係る支援への要望書を受理

8月 市内関係団体に対して新たな支援事業に関するアンケート調査を実施

【市の策定する計画や条例との整合性】

市政運営の総合指針2024における重点事業

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

市内幼稚園等における住宅手当の支給拡大や幼稚園教諭の奨学金返済費用への補助の実施により、就職先を検討する幼稚園教諭等が市内幼稚園を選択することにつながるとともに、幼稚園教諭等のモチベーションの向上により、質の高い教育・保育の提供につながる。

また、預かり保育の実施状況とリンクした補助制度として、保育の受け皿確保や多様な保育ニーズへの対応にもつながる。

2. 将来にわたる費用

人材不足の解消に向けて当面は事業を継続する必要性があり、同様の負担が生じるが、事業の実施状況を踏まえ、実施期間を検討する。



**【事業概要】**

市内幼稚園及び認定こども園（以下「市内幼稚園等」という。）における人材不足の解消を目的に、各種補助事業を行う。

1. 幼稚園教諭等就労奨励助成金 3,030 千円
- ・対象者 次のいずれかに該当する市内在住の幼稚園教諭等で、市内幼稚園等に就職又は再就職（1年以上の雇用契約を締結）した人
    - ・幼稚園等での就労経験があり、退職後1年以上経過した幼稚園教諭免許保持者
    - ・幼稚園等での就労経験はないが、幼稚園教諭免許取得後1年以上が経過した人
    - ・幼稚園教諭として就労経験があるが、現在は幼稚園教諭免許が失効している人
  - ・助成額（見込人数）
    - ・幼稚園教諭免許を保持し、常勤職員として就労した場合 7万円（20人）
    - ・幼稚園教諭免許を保持し、非常勤職員として就労した場合 5万円（20人）
    - ・幼稚園教諭免許は失効しているが、就労した場合 3万円（21人）

- (新) 2. 幼稚園等住宅手当補助金 5,490 千円
- ・対象者 預かり保育事業を実施し、雇用する幼稚園教諭又は保育士へ賃貸住宅に係る住宅手当等を支給している市内幼稚園等の設置者等
  - ・幼稚園教諭等の条件
    - 幼稚園教諭免許又は保育士資格を有し常勤職員として雇用された人で、雇用後5年以内の人、かつ、幼稚園等の設置者、施設長、園長等の管理者でない人
  - ・賃貸住宅の条件
    - ・原則、市内に所在する居住用の家屋であること
    - ・幼稚園教諭等が自ら居住し、かつ、賃貸借契約の名義人となっている家屋であること
    - ・設置者、施設長、園長等の管理者が所有する家屋でないこと
  - ・対象経費 市内幼稚園等の設置者等が雇用する幼稚園教諭又は保育士へ支給した住宅手当等の実支出額とし、幼稚園教諭等1人当たり月額上限3万円
  - ・補助額（見込施設数） 1月当たりの対象経費 × 補助率※ × 対象月数
    - ※補助率は幼稚園等での預かり保育事業の実施状況に応じて次のとおりとする。
      - ・平日8時間以上及び長期休業日に実施、かつ年間200日以上実施の場合：補助率1/2（24施設）
      - ・平日11時間以上かつ午後7時まで実施、及び長期休業日に実施、かつ年間200日以上実施の場合：補助率3/4（3施設）
      - ・上記以外の場合：補助率1/4（4施設）

- (新) 3. 幼稚園教諭等奨学金返済補助金 1,460 千円
- ・対象者 市内幼稚園等に勤務し、次の要件をすべて満たす人
    - ・奨学金を利用して幼稚園教諭免許又は保育士資格を取得した人
    - ・市内幼稚園等の設置者等との雇用契約後5年以内の人で、当該幼稚園等において常勤職員として勤務する人
    - ・現に市内に住所を有し、自ら奨学金を返済している人
    - ・補助対象となる奨学金を対象とした他の補助金等を受けていない人
  - ・対象経費 対象者の奨学金返済費用のうち、当該年度中に返済した額
  - ・補助額 対象経費 × 補助率1/2（1年度につき20万円を限度）

**【事業費（事務事業中の重点事業分）】**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
3,520	9,980	9,980	9,980	33,460	

農林水産業費

事業名	担い手育成支援事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 3 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	5-3-71	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	人材育成の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	21,813		17,250			4,563
令和3年度	31,159		27,934			3,225
対前年度	△ 9,346		△ 10,684			1,338
特定財源の内訳	(県支出金)	農業人材力強化総合支援事業補助金				17,250

< 拡充事業 > 技術習得支援事業の実施

【施策等を必要とする背景】

農外からの新規参入者の受け入れを開始した平成21年度以降、2割の方が離農をしている。また、令和元年度に実施した新規就農者向けアンケートにおいて、約7割が「計画通りの収量が得られていない」「目標額に達していない」、約6割が「栽培技術の不足」を課題に感じていると回答していることから、これまで実施してきた就農までの支援に加えて、定着に向けた支援が必要である。

【提案に至るまでの経緯】

湘南広域都市行政協議会都市農業部会では平成27年度から「新規就農者の集い」事業として、先進農家視察等を年1回実施し、好評を得ている。

新規就農者の中でも、栽培方法や品目は多岐にわたるが、農業者が個人で視察や研修参加するにあたっての補助事業はない。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

第2次都市農業振興基本計画における基本方針1「農業者及び担い手の育成・確保の推進」の具体的な取組として位置づけ。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

新規就農者の課題の解決を支援することにより、新規就農者の定着を図り離農を防ぐ。また、新規就農者の技術の確立により、市内農業の発展に寄与する。

2. 将来にわたる費用

令和4年度以降 600千円

**【事業概要】**

市内農業の新たな担い手や農業後継者、担い手不足の農業者を支援する市民ボランティアに対する支援を行う。

- |   |           |
|---|-----------|
| 1. 地域住民との交流、農業理解促進活動の実施<br>委託先：さがみ農協藤沢市青少年藤友会<br>委託内容：遊休農地において景観作物(コスモス等)を栽培し摘み取りイベントを行う。   | 688 千円    |
| 2. 援農ボランティア養成講座の開催<br>対象者：援農ボランティア活動を希望する市民   | 100 千円    |
| 3. 新規就農者に対する支援<br>次世代を担う農業者となることについて強い意欲を有する新規就農者に対して、国が実施する農業人材力強化総合支援事業に基づき補助金を交付する。<br>対象者：経営開始から5年以内で50歳未満の独立自営就農者<br>支援内容：年間最大150万円の補助金を交付 | 17,250 千円 |
| 4. 農業研修受入支援事業<br>農業後継者の育成のため、新規就農希望者に対して農業技術及び経営に関する研修を行う者に対し補助金を交付する。<br>対象者：市内の農業経営士、認定農業者<br>支援内容：研修生1人当たり3万円の補助金を交付                         | 360 千円    |
| 5. 農業後継者支援事業<br>農業を継承していくために施設の整備等が必要な農業後継者に対し補助金を交付する。   | 1,699 千円  |
| 6. 農福連携促進事業<br>福祉施設と受委託契約等を交わし、障がい者等の受入を行う農業者に対し委託料の一部を補助する。<br>支援内容：農作業1日当たり3千円以内の補助金を交付   | 1,080 千円  |
| (新) 7. 技術習得支援事業<br>就農概ね10年目までの者が農業技術等の習得に必要とする費用について補助を行う。<br>支援内容：視察や研修の受講等の費用の一部を補助する。<br>(補助率1/2、上限3万円)                                      | 600 千円    |
| 8. 担い手育成支援事業事務経費  | 36 千円     |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
31,159	21,813	20,294	16,724	89,990	

事業名	(新)生活・文化拠点再整備費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 03 説明 02	企画政策課				
指針体系コード	5-4-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	13,806				12,427	1,379
令和3年度	0				0	0
対前年度	13,806				12,427	1,379
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				12,427

**【施策等を必要とする背景】**

市民会館及び旧南市民図書館の建て替えに合わせ、市民ギャラリーを複合化して再整備することを軸とした「市民会館等再整備事業」の検討を進める中で、その他の公共施設（機能）の複合化、隣接する奥田公園の活用並びに雨水管理総合計画に基づく内水浸水対策施設の整備等を、「境川右岸鶴沼東地区地区計画」で定めるA地区（生活・文化拠点）において、一体的に計画することにより、各機能の相乗効果を図るとともに藤沢文化の発信、利便性の向上、多世代の新たな交流を推進するもの。

**【提案に至るまでの経緯・市の策定する計画や条例との整合性】**

生活・文化拠点再整備事業は、老朽化した市民会館及び旧南市民図書館の建て替えに合わせ、市民ギャラリーを複合化して再整備することを軸に事業を立案し、現在は、「第3次公共施設再整備プラン」の実施事業に位置付け事業を進めている。

- ・平成26年11月 第1次公共施設再整備プラン 検討事業
- ・平成29年 3月 第2次公共施設再整備プラン 検討事業
- ・令和3年 9月 第3次公共施設再整備プラン 実施事業

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 有

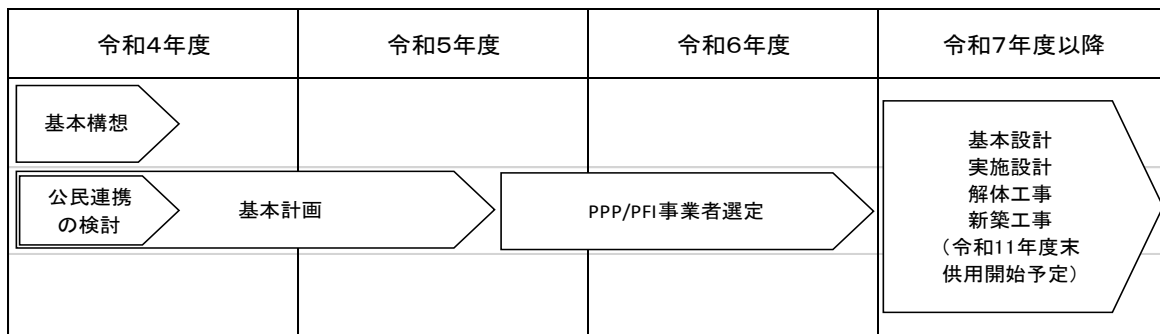
事業を進めるにあたり、整備する施設の役割や機能等について、市民の意見等を聴取するため、令和元年度に中・高生向けワークショップを1回、市民向けワークショップを4回、令和2年度は市ホームページ及び広報ふじさわで本事業の意見集約を行った。令和3年度は、「#ふじキュン課」からの提案と意見交換、ワークショップも全3回にわたり開催し、市民の意見を聴取した。

**【事業概要】**

老朽化した市民会館及び旧南市民図書館の建て替えに合わせ、周辺の公共機能を複合化して、奥田公園等と一体的に整備するための基本計画等を策定する。

- |                               |           |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 生活・文化拠点再整備基本計画等策定業務委託【継続費】 | 12,427 千円 |
| 2. 生活・文化拠点再整備基本計画等策定に係る委員会報酬  | 1,259 千円  |
| 3. 生活・文化拠点再整備に伴うシンポジウム等の開催    | 120 千円    |

生活・文化拠点再整備 事業スケジュール



**【事業費（事務事業中の重点事業分）】**

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
0	13,806	40,968	1,943,000	1,997,774	

教育費

事業名	アートスペース運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 04			文化芸術課		
指針体系コード	5-4-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	15,171				5,980	9,191
令和3年度	46,794				5,775	41,019
対前年度	△ 31,623				205	△ 31,828
特定財源の内訳	(その他)	アートスペース使用料				705
		文化振興基金繰入金				4,735
		アートスペース関連グッズ売上収入				540

【事業概要】

アートスペースの運営管理を行い、若手芸術家等の美術作品の創作や展示・発表の支援を行うとともに、市民に身近な場所で美術の魅力に触れる機会及び美術学習の場を提供し、美術の振興を図る。

1. 事業運営費

12,319 千円

- ・若手芸術家の創作活動及び展示、発表等の支援  
藤沢ゆかりの若手芸術家や全国からの公募により選出した若手芸術家による公開制作や制作作品の展示・発表を行う。
- ・身近な美術鑑賞の機会の提供  
本市所蔵の藤沢にゆかりのある作家の作品展示とあわせ、若手芸術家の公開制作及び展示を行う。
- ・美術作品の展示、発表の場の提供  
個展及びグループ展が開催できるよう展示ルームを貸し出し、地域で活動する作家やグループの作品発表の場を提供する。
- ・美術学習の場の提供  
子ども向けを中心としたワークショップや各世代で楽しめる美術講座等を開催し、市民に体験的、学術的な美術学習の場を提供する。

(拡)

- ・公民館等との連携事業  
公民館と連携して市内のパブリックアートを巡るイベントや、本市所蔵作品を紹介する「移動美術館」、浮世絵館と連携したアウトリーチ事業を実施する。

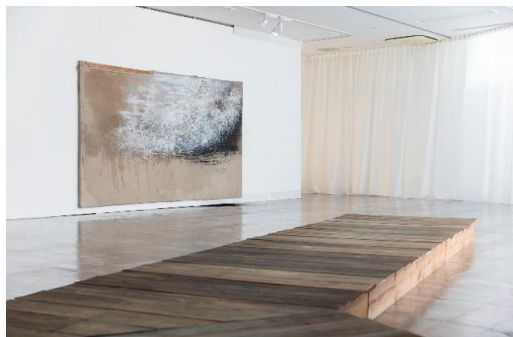
(新)

- ・アーティストプラットフォーム  
市内高校等と連携したアウトリーチ事業として、今までアートスペースの事業に参加したアーティストと協力し、ワークショップや作品の共同制作等を実施する。

2. 施設管理、運営費

2,852 千円

光熱水費、清掃委託、機器賃借料、電話料等



令和3年度 企画展Ⅲ Artists in FAS 2021

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
46,794	15,171	15,171	15,171	92,307	

土木費

事業名	景観資源推進費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 05 説明 02	街なみ景観課				
指針体系コード	5-4-31	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	259,236			230,700		28,536
令和3年度	10,120			0		10,120
対前年度	249,116			230,700		18,416
特定財源の内訳	(地方債)	歴史的建造物維持活用事業債				230,700

【事業概要】

旧東海道藤沢宿街なみ継承地区の歴史・文化の継承及び地域の活力やにぎわいの創出を図るため、旧桔梗屋を保全し、魅力ある活用を図る。

また、歴史や文化を大切にしたい良質な街なみの形成を推進するため、地区内における歴史的建築物の保全や街なみの修景に関する経費の一部を補助する。

さらに、地域の景観資源を市民共有の財産として継承していくため、都市景観に関する意識啓発を行う。

- 旧東海道藤沢宿街なみ継承地区歴史的建築物維持活用事業の実施 258,018 千円  
 旧桔梗屋を保全・活用するため、歴史的建築物及び庭園部等の維持管理、敷地内の地質調査、歴史的建築物の耐震診断・補強設計を行うとともに、藤沢市土地開発公社が先行取得した事業用地の買戻しを行う。
  - 歴史的建築物及び庭園部等の維持管理 6,127 千円
  - 敷地内の地質調査業務委託 7,931 千円
  - 歴史的建築物の耐震診断・補強設計業務委託等 10,835 千円
  - 事業用地買戻し 233,125 千円
- 旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助 410 千円  
 旧東海道藤沢宿街なみ継承地区街なみ継承ガイドラインに基づく、歴史的建築物の外観の保全工事に係る経費の1/2以内の額を補助する。
- 都市景観の意識啓発に係る事務経費 808 千円



旧桔梗屋

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
10,120	259,236	13,800	13,800	296,956	

総務費

事業名	シティプロモーション関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 03 説明 01	広報シティプロモーション課				
指針体系コード	5-4-41	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	17,930		163			17,767
令和3年度	15,023		2,200			12,823
対前年度	2,907		△ 2,037			4,944
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				163

【事業概要】

藤沢の魅力やイメージを効果的かつ継続的にアピールすることで、藤沢のブランド価値を高め、発展させていくため、「ふじさわシティプロモーション推進方針（第2期）」に基づき、「キュンとするまち。藤沢」のキャッチフレーズのもと、市民や企業（団体）等を巻き込んだ「市民参加型」のプロモーションを展開する。

また、SNSを主にした情報発信を強化するとともに、「クチコミ」やSNSの拡散効果を活用し、知名度やブランド力の向上を図る。

- (括) 1. ふじさわシティプロモーション推進事業業務委託 9,394 千円  
 SNSを活用し、藤沢の魅力の情報発信を強化するとともに、SNSの強い拡散力を生かし、市民自らがまちの魅力を発信する等の行動（アクション）を促す取組を行う。
2. ふじさわファンクラブ事務局運營業務委託 2,093 千円  
 藤沢を応援するコミュニティである「ふじさわファンクラブ」活動を推進する取組を行う。
3. 公式WEBサイト運用管理業務委託 2,497 千円  
 ふじさわシティプロモーション公式WEBサイトの運用管理を行う。
4. キャラクターデザイン作成業務委託 99 千円  
 公式マスコットキャラクター「ふじキュン♡」の新規イラストデザインの作成を行う。
5. InstagramARエフェクト作成業務委託 490 千円  
 SNSの「Instagram」において公式マスコットキャラクター「ふじキュン♡」を活用したプロモーションを推進する取組を行う。
6. 市民アンケート調査の実施 423 千円  
 藤沢への愛着度や居留意欲、ふじさわシティプロモーションの認知度等を測定するため市民アンケート調査を行う。
7. シティプロモーション関係事務経費 2,934 千円
- ・報償費（講師謝礼等） 552 千円
  - ・旅費 41 千円
  - ・役務費（郵便料、クリーニング等） 133 千円
  - ・備品 308 千円
  - ・その他（啓発品、消耗品、Wi-Fi回線使用料等） 1,900 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
15,023	17,930	17,622	17,622	68,197	



総務費

事業名	チームFUJISAWA2020推進事業費 (前年度事業名：オリンピック開催準備関係費)					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 06	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室 (新課名：市民自治推進課)				
指針体系コード	5-5-11	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	市民参加型東京2020大会のレガシー創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	6,842		0			6,842
令和3年度	148,511		49,730			98,781
対前年度	△ 141,669		△ 49,730			△ 91,939

【事業概要】

東京2020大会を契機としたボランティア等の市民参加の盛り上がりや経験を、レガシーとして次世代へ確実につなぎ、市民が主体的に地域課題を解決する協働のまちづくりを進めていくため、ポータルサイトを活用して積極的にボランティアへの参加機会を創出する「チームFUJISAWA2020」の取組を推進する。

1. 「チームFUJISAWA2020」ポータルサイト管理運営委託 5,181千円  
各種団体から集約したボランティア募集情報等を提供する機能や、ボランティアの募集及び受付機能などを有するポータルサイトの管理運営を行う。
2. 「チームFUJISAWA2020」広報周知 1,661千円  
ポータルサイトへの登録促進と、取組の拡充・浸透を図るため、広報宣伝活動を行う。また、登録者や各種団体を対象としたボランティア講座や体験イベント等を実施する。



「チームFUJISAWA2020」ポータルサイト



「チームFUJISAWA2020」を通じたボランティア活動



シティキャストフジサワ  
サンクスイベントでの登録案内

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
148,511	6,842	15,000	15,000	185,353	



教育費

事業名	スポーツ都市宣言推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 02 説明 10	スポーツ推進課				
指針体系コード	5-5-21	まちづくりテーマ	未来を見据えてみんなではじめる			
		重点施策名	市民参加型東京2020大会のレガシー創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度	3,802			0	0	3,802
令和3年度	99,842			50,200	46,820	2,822
対前年度	△ 96,040			△ 50,200	△ 46,820	980

<拡充事業> 藤沢市スポーツ都市宣言の理念のもと、スポーツ推進計画に位置付けた各施策の推進

**【施策等を必要とする背景】**

人生100年時代において、市民誰もが、生涯にわたってやりたいことが実現でき、健康で豊かな市民生活を送れるよう、健康増進施策並びにスポーツ施策を推進することが必要である。スポーツ都市宣言を制定することによって、スポーツ施策に明確な目標を持って取り組み、「健康寿命日本一の推進」をはじめ、施策の柱となる「スポーツ活動の充実」「共生社会の推進」「まちなぎわい創出」にかかる事業展開を進めることが必要となっている。

**【提案に至るまでの経緯】**

令和3年10月1日に藤沢市スポーツ都市宣言を制定し、その理念に基づき新たなスポーツ推進計画を策定することについて、令和3年9月及び12月の子ども文教常任委員会において報告した。

**【市民参加の実施の有無とその内容】** 有

実施する事業については、その多くが広く市民を参加対象とするものであり、気軽に参加できる体験型のものから、専門性を追求した一定期間を要する教室型のものなど、多岐にわたる事業を実施していく。

**【市の策定する計画や条例との整合性】**

令和4年度からスタートを予定している「藤沢市スポーツ推進計画2029」は、藤沢市スポーツ都市宣言の内容を基本理念としており、この計画に基づきさまざまな事業を展開していく。

**【将来にわたる効果及び費用】**

東京2020大会等を契機とした市民のスポーツへの関心の高まりに応え、「藤沢市スポーツ推進計画2029」に基づく事業を展開していくことで、将来的に「まちなぎわいの創出、経済の活性化、地域交流の促進」等を生み出すことができる。

長期的な視点では、市民がスポーツに触れる機会が増えることで、本市が掲げる「健康寿命日本一の推進」にも繋がっていく。

## 【事業概要】

生涯にわたって健康で豊かなスポーツライフを実現するため、「健康寿命日本一の推進」「スポーツ活動の充実」「共生社会の推進」「まちのにぎわい創出」を目標とする藤沢市スポーツ都市宣言の理念のもと、スポーツ推進計画に位置付けた各施策を推進する。

そして、本市がスポーツを楽しむ市民であふれ、生き生きとしたにぎわい豊かなまちになるよう、【する・観る・支える】スポーツに関する各種事業を実施する。

### 1. 都市宣言総合推進事業 1,926 千円

#### (1) 「健康寿命日本一の推進」に向けた事業

子どもや高齢者などの体を動かす習慣、体力向上につなげるきっかけづくり、体を動かす機会を提供することなどを目的に、楽しみながら健康・体力づくりにつなげるイベントを開催する。

#### (2) 「スポーツ活動の充実」に向けた事業

競技スポーツの特性、競技性などを知る機会として、また、スポーツ離れが進む若年層に競技種目への適性を知る機会や魅力を発信するイベントを開催する。

#### (3) 「共生社会の推進」に向けた事業

東京2020大会で注目されたパラスポーツを体験するとともに、障がい者のスポーツ活動をサポートするボランティアの体験など、藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会と連携したイベントを開催する。

#### (4) 「まちのにぎわい創出」に向けた事業

プロスポーツチームと連携し、トップアスリートによるエキシビジョン、チームや競技の魅力発信を行うことで、地域の一体感や交流を生み出し、地域の活性化に繋げる。

また、アーバンスポーツの体験、親しむ上でのマナーやモラルを啓発するイベントを開催する。

### 2. スポーツシンポジウム開催事業 500 千円

スポーツ都市宣言を契機に設立された、本市の生涯スポーツ・地域スポーツの推進を担う「藤沢市スポーツ連盟」と連携し、多角的な視点でスポーツを「する」きっかけとなるような知見を得るためのシンポジウムを、オリンピックやパラリンピアンなどをパネリストとして招き、開催する。

### 3. インクルーシブスポーツ推進事業 1,376 千円

多様な障がい者スポーツ活動を「支える」スポーツボランティアや指導者の人材育成など、インクルーシブスポーツを推進する総合講座を実施する。



藤沢市スポーツ都市宣言記念碑

## 〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	事業費合計	備考
99,842	3,802	2,806	2,806	109,256	

「令和4年度 予算の概況」に掲載のない重点事業

単位：千円

	体系コード 事業名 【担当課】	重点事業 の概要	区分	令和4年度 予算額 (事務事業 費全体)	事業費（事務事業中の重点事業分）				
					令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	4年の計
1	1-1-81 本町出張所改築整 備事業費  【消防総務課】	市民の安全・ 安心を守る消 防施設とし て、建物の耐 震化をはじ め、出動動線 の確立、執務 環境の整備等 を目的に再整 備を実施す る。	事業費	7,725	0	7,725	434,041	90,820	532,586
			うち一 般財源	0	0	0	428,821	10,820	439,641
2	3-2-11 法人立保育所等施 設整備助成事業費  【子育て企画課】	既存保育施設 における保育 環境の向上及 び保育需要へ の対応として 、法人立認 可保育所の整 備にかかる費 用を助成す る。	事業費	190	147,754	190	190	190	148,324
			うち一 般財源	190	54,809	190	190	190	55,379
3	3-2-31 市立保育所運営費 (病児保育)  【保育課】	藤が岡保育園 に併設してい る小児科クリ ニックに健康 管理業務の一 部を委託し、 病児保育事業 を実施する。	事業費	650,974	4,500	4,888	4,888	4,888	19,164
			うち一 般財源	287,906	0	0	0	0	0

## 5 地域づくり

各地区での取組として、市民センター・公民館が郷土づくり推進会議と実施する事業について示します。

各地区の事業は、市が実施、支援等を行うものであり、地区集会等での意見を踏まえ、毎年見直しを行いながら進めます。

- ① 六会地区まちづくり事業
- ② 片瀬地区地域まちづくり事業
- ③ 明治地区まちづくり事業
- ④ 御所見地区地域まちづくり事業
- ⑤ 遠藤まちづくり推進事業
- ⑥ 長後地域活性化事業
- ⑦ 辻堂地区地域まちづくり事業
- ⑧ 善行地区まちづくり事業
- ⑨ 湘南大庭地域まちづくり事業
- ⑩ 湘南台地域まちづくり事業
- ⑪ 鵜沼地区まちづくり事業
- ⑫ 藤沢地区まちづくり事業
- ⑬ 村岡いきいきまちづくり事業



## 六会地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 素的なふるさと 六会

### まちづくり事業

#### 1 花の植栽活動等による美しいまちづくり事業

地区内の公園、小・中学校、特別支援学校、花のボランティア団体等への花の植栽活動の支援を行い、自然とのふれあいを深めるとともに美しいまちづくりを進めます。

また、近隣の人々が共同作業をすることで、地域のコミュニケーション（あいさつや声かけ）や連帯感を深めます。

- (1) 幼苗の育成と苗配付による地域の花の植栽活動支援
- (2) 「六会の美しい庭・風景の写真展」「ふるさと六会今昔写真展」の開催
- (3) あいさつ声かけ運動の推進
- (4) ボランティア団体「六会グリーンクラブ」の支援

#### 2 交通不便地区解消検討事業

地域住民に広く周知し、利用者拡大を図るため、西俣野地区で運行する予約型乗合タクシー「おでかけ六会」をサポートします。

#### 3 六会人材センター推進事業

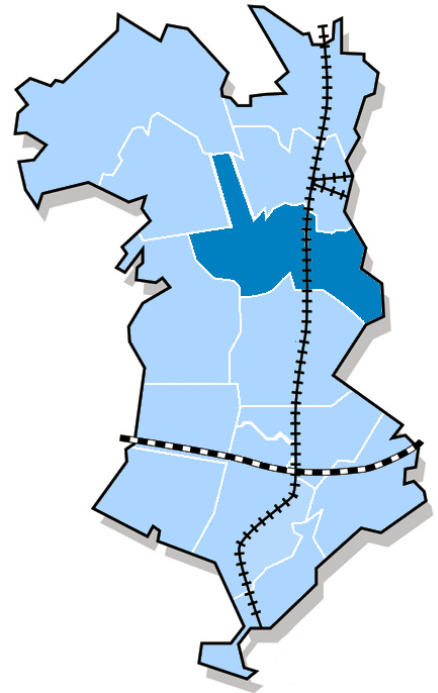
地域の人材発掘を行うとともに、地域のまちづくり活動を推進するため、ボランティアと依頼団体とのコーディネート事業等を行います。

- (1) 地域の人材発掘
- (2) コーディネート事業

#### 4 六会まちおこし活動支援事業

駅前空間の賑わいやまちの美化向上のため、12月から1月にかけて六会日大前駅東西ロータリーにイルミネーション及びキャンドルを設置します。さらに、地域の子どもから高齢者・障がい者まで楽しめるイベント等の支援を検討し、六会地区のまちおこしを図っていきます。

- (1) イルミネーション点灯式やキャンドルナイトの開催
- (2) 活気あるまちづくりに寄与するイベント等の支援の検討  
(六会ふるさと音頭の普及活動、「六会ふるさとかるた」や「六会のおはなし」の作成普及事業の実施)



## 5 公園を含む避難場所～情報発信のあり方

地区内には28の公園があり、防災等の観点から改めて地域資源の活用を考えるなかで、地震や水害などの災害が生じた際に、自治会町内会などが地域のあり方について考える機会を提供します。また、今後は、様々な情報提供、連携等を通じて、よりよい地域の形成を検討していきます。

- (1) 自治会町内会が管理する防災倉庫についてのアンケート調査（令和2年度）
- (2) （仮称）六会地区自治会町内会の防災倉庫～令和3年度現地調査報告～の作成（令和3年度情報発信等の活動）

## 6 引地川自然環境向上事業

円行新橋から引地川親水公園までの引地川兩岸の美化を維持しつつ、市に提出した「引地川の環境改善に関する提言」に関してフォローをします。

- (1) 引地川兩岸の清掃活動と不法投棄防止活動
- (2) 引地川、一色川兩岸の美化活動をするボランティア団体「引地川・一色川さわやかクラブ」の支援

---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

少子高齢化の進展、そして生活スタイルの多様化やコロナ禍による地域のつながりの希薄化、それに伴う高齢者や一人親世帯などの孤立など、生活課題が増してきています。

このような背景を踏まえ、「自助」「共助」「公助」による助け合いがバランスよく機能し、地域のテーマである「素的なふるさと 六会」を着実に実行していくため、住民、行政、民間でのつながりの強化が求められています。

そういったことから、住民がつながる仕掛けやイベントなどを継続的に展開する必要があり、サステナブルな活動を進めるためにも新たな住民の参加を促し、裾野を拡げることが重要であります。

また、郷土づくり推進会議や各地域団体などがDX等を活用し、時代の流れに即した事業へと移行していくなかで、それぞれの機能を高め、時には協力し連携するなど、活動を活性化し、地域住民への情報共有や住民自治としての活動について、より理解を深めてもらい取り組むことも重要であると考えています。

## 片瀬地区地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

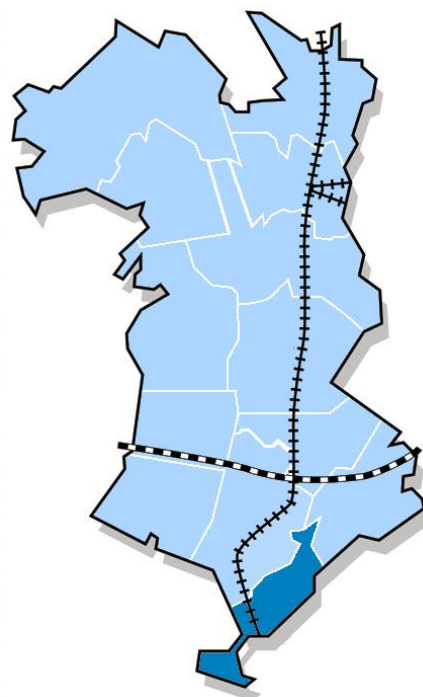
## 歴史の薫りと潮の香りがただよう ふれあいのまち 片瀬・江の島

### まちづくり事業

#### 1 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業

地域の活動と人をつなぎ、人材の流通と地域活動の活性化を推進するため、地域活動情報、人や団体の情報などを蓄える人材・情報バンクセンターを設置するとともに専属のコーディネーターを配置し、人と団体と情報とを結びつける業務などを実施します。

- (1) 地域の情報収集（関係づくり）、登録者・情報の蓄積
- (2) コーディネーターによる相談対応、コーディネート
- (3) 地域情報の発信（広報紙発行、ポータルサイト掲載）
- (4) 活動参加へのきっかけづくり（講演会等イベント、活動見学・ボランティア体験会開催）



#### 2 まちかど相談事業

誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進するため、子育て・思春期・老後・介護・障がいなどに関する相談を行政窓口より身近な地域の居場所を活用し、地域ボランティア・地域包括支援センターなどが連携し実施します。

- (1) 行政窓口より身近な相談場所の設置
- (2) 臨床心理士等専門家の連携による相談の実施

#### 3 民俗文化財等継承事業

片瀬地区で300年前から唄いつがれ市無形民俗文化財として指定されている片瀬餅つき唄や伝統的な片瀬こまなど、地域にゆかりのある民俗文化財等継承活動を支援します。

- (1) 片瀬餅つき唄保存会及び片瀬こま保存会の活動紹介、発表や展示事業等の支援
- (2) その他片瀬ゆかりの文化の継承・発展を図るための事業を検討

#### 4 緑と花いっぱい推進活動事業

全国有数の観光地である片瀬・江の島地域としてふさわしい景観の確保並びに防犯や環境保全の観点から、江の島弁天橋植栽帯花植え等のボランティア活動を支援します。



## 5 江の島道の整備事業

整備が完了した旧江の島道の史跡周辺の維持管理及び、歴史継承及び有効活用のための周知を実施します。

- (1) 杉山検校の道標をはじめとする旧江の島道の道標・史跡の維持管理
- (2) 江の島道の周知と「片瀬歴史マップ」を活用した片瀬・江の島地域の魅力の発信

## 6 青少年健全育成事業

青少年を対象とした事業実施団体間の情報や活動の連携を図り、青少年事業の活動充実を目指すため、意見交換会を実施します。

- (1) 子ども関係団体による意見交換会の実施及び課題解決のサポート
- (2) 意見交換会の結果を受けての新規連携事業の検討
- (3) 青少年を取り巻く社会問題についての講演会実施に向けた検討

## 7 ボランティアセンター事業

人と人とのつながりを助け、支えあう地域の実現を図ることを目的に、地域福祉活動の拠点として、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れる居場所「片瀬地区ボランティアセンター（愛称 ひだまり片瀬）」の充実に向けた取組を実施します。

- (1) 居場所・ひだまり、かたせ・にこにこ広場の開設
- (2) 機関紙の発行

---

## 長期的に取り組む地域課題等

片瀬地区では、地域コミュニティの活性化と人材育成、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の推進、歴史文化財等を含む郷土魅力の保存と継承による郷土愛の醸成及び子どもたちを健全に育む地域づくりを課題として捉え、長期的に取り組んでいます。

また、後期高齢化率が高い点や海岸及び山を擁している点など、ソフト面及びハード面の両面における地区の特徴や、そのことが起因となる課題等を捉えたうえで、福祉や防災などのあらゆる分野の取組を進めることが必要です。

## 明治地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 明るく楽しい未来を創るまち、めいじ

### まちづくり事業

#### 1 歴史・文化継承事業

明治地区には、近代教育の魁である「耕余塾」や旧東海道と大山街道の追分があったことから、歴史・文化資産が数多く残っています。それらを活用して郷土愛を醸成するとともに、歴史文化を次世代へ継承していくための活動を推進します。

- (1) 郷土史料室での史料展示
- (2) 歴史講座等の開催
- (3) 歴史・文化資産の調査及び活用
- (4) 市内大学との連携によるVR映像の活用展示
- (5) 公民館連携による学習活動のサークル化

#### 2 明治地区マナーアップ推進事業

歩行喫煙・自転車交通・ごみのポイ捨て・日常の挨拶など、明治地区全体のマナー向上を図るため、明治地区マナーアップ週間等を設定し、地域団体・学校等が一体となった取組・活動を実施することで、住みよい生活環境づくりを推進します。

- (1) 駅周辺での街頭キャンペーンの実施
- (2) 市民センター・学校等におけるキャンペーン期間中の「のぼり旗」の掲示
- (3) 地域内回覧によるマナー向上の呼びかけ
- (4) 市民センター・学校等にポスターを掲示

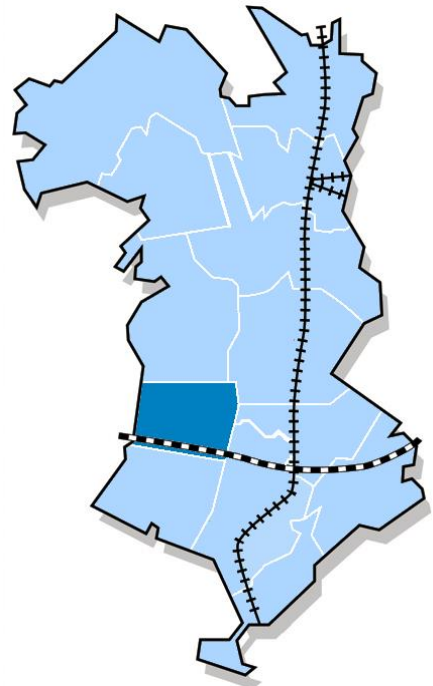
#### 3 子育て支援充実事業

新たなマンションの建設等に伴い、増加している子育て世代に必要な情報の提供を行うなど、地域の子育て環境の充実を図るとともに、子育ての孤立防止の観点から子育てグループや子育て支援団体等と連携した事業を行います。

- (1) 明治発！子育て応援メッセの開催及び子育て支援事業の充実
- (2) 地区内子育て支援グループの交流促進
- (3) みんなのいばしょ事業の拡充

#### 4 明治地区健康体操推進事業

明治地区内住民の健康維持と住民同士の交流を促進し、健康でいきいきと生活できる環境づくりを推進します。



- (1) 自治会・町内会や老人会、福祉事業所等と連携した交流の活性化
- (2) 地区内で実施されている健康体操の普及啓発
- (3) 健康体操サポーター講習会や健康生きがいに係る講座の実施
- (4) 健康体操を実施している団体や健康体操サポーターに対する支援

#### 5 避難行動要支援者支援体制推進事業

災害時に自主的避難が難しく支援を必要とされる方に対し、自主防災組織（自治会・町内会）を中心に、迅速な支援が行われるようにするため、自主防災組織の充実や地区民生委員、地域包括支援センター、庁内関係各課等との連携を図ります。

- (1) 自主防災組織における避難行動要支援者支援体制の充実
- (2) 自治会・町内会、自主防災会と民生委員、地域包括支援センター等との連携

#### 6 小・中学生地域活動参加促進及び大学生との交流促進事業

地域の自然、景観、歴史、文化を継承し、郷土愛を深め、地域における将来の担い手を育成するため、小・中学生の地域活動への参加や、活動を支える大学生の参加を促進します。

- (1) 地区内清掃活動など地域団体等の活動、事業への参加の呼びかけ
- (2) 学校との連携
- (3) みんなのいばしょ事業の拡充と近隣中学校テスト期間中の学習室開放の実施

#### 7 道路等環境整備事業

だれもが安全に道路を利用できるよう、地区内の道路等の危険箇所を把握し、必要な対応を図ります。

- (1) 郷土づくり推進会議や地域団体等とのパトロール活動による現状の把握
- (2) 担当部署との意見交換会の開催

#### 8 子どもの安全を守る「不審者情報共有化」事業

子どもの安全を守るため、学校、保護者と連携して、地区内の危険場所の把握やパトロールを実施するとともに、ICTを活用した仕組みづくりなど、地域ぐるみで子どもを見守る体制を構築します。

- (1) 不審者情報や危険場所を共有するネットワークの構築
- (2) 子どもへの声かけ等、抑止効果を高める活動の実施
- (3) アプリ等を活用したこども見守りチャレンジの拡充

---

### 長期的に取り組む地域課題等

大型商業施設の進出、交通の利便性と自然豊かな環境を持ち合わせることから、子育て世代を中心とした転入が増加しており、地域に馴染みの薄い住民に対してさまざまな入口から地域に親しんでいただくことが求められます。安全安心なまちづくりと地域で活躍する人材を育成することを目的に、学校、関係機関や企業等と連携し、効果的な取組を推進します。

## 御所見地区地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見

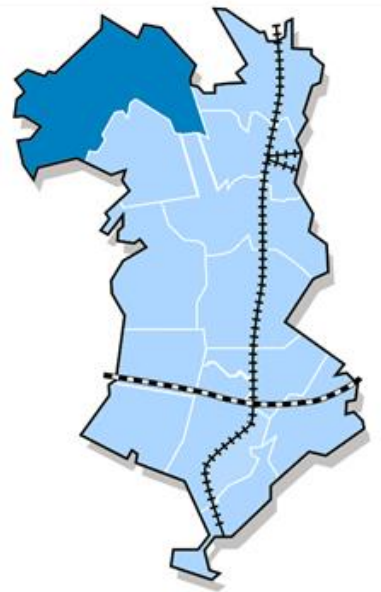
### まちづくり事業

#### 1 田園パーク構想推進事業

「少年の森」と、隣接する「健康の森」を結ぶことにより北部観光の振興拠点とすることの検討を進めるとともに、富士山・大山を望む観光ルートや荒廃農地利用について庁内関係課との協議を進めます。また、地区の農畜産物の付加価値を高め、「御所見ブランド」の創出を目指します。

さらに、花桃、彼岸花、ざる菊などの地域を彩る花々を中心に、農地や樹林地、豊かな水系に恵まれた地域特性を生かし、四季折々の花に彩られた環境整備や高齢者が活躍できる場の提供を、地域団体やボランティアと協働して進めます。

- (1) 「少年の森」と「健康の森」を結ぶルートの整備や、拠点としての「少年の森」及び周辺整備の検討
- (2) 地区内の農畜産物を使用した「食」の提供促進と「御所見ブランド」の創出、加工施設の検討
- (3) 地域団体、ボランティアと連携し地区内の花の植栽を進めるとともに、高齢者の活躍の場を創出



#### 2 情報発信推進事業

地域の歴史、身近な話題など地域に密着した情報を提供するとともに、地域の魅力を外部に発信していきます。

- (1) ホームページによるリアルタイムな情報提供と発信
- (2) 広報誌等による地域情報の提供
- (3) 「御所見のステキを教えて」と題し、御所見フォトコンテストを開催し、集まった写真を使い地区の魅力を発信

---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

「少年の森」を地域の拠点施設として位置づけていますが、青少年健全育成施設であることから、その活用においては管理主体との調整が必要となります。今後の少年の森の活用方法の方向性を注視し、従来の青少年健全育成施設の機能に加えて、外部からの誘客施設、中高年者も自然に触れ、憩える施設とすることを目指し、具体化に向け関係課と協議を進めます。また、地域課題の一つといえる公園整備についても、誰もが気軽に憩え、安全・安心に暮らせるまちづくりとして、関係課と連携を図り検討をしていきます。

そのほか、「御所見ブランド」としての地元食材を使用した料理や、伝統的工芸品の提供方法等の検討を進めていきます。

## 遠藤まちづくり推進事業

### まちづくりのテーマ

# 新たな時代を拓く「健康と文化の森」を創造し “人と自然がいきづくまち” 夢のあるまち遠藤を目指します

### まちづくり事業

#### 1 高齢者見守りネットワーク体制推進事業

地域団体やボランティア団体と行政とが連携し、高齢者が安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、健康づくりや交流事業を通じた見守り活動の推進と居場所づくり、地域人材の育成に向け高齢者見守りネットワーク体制を構築し、支えあう地域社会づくりを推進します。

#### 2 自然環境推進事業

地域の資産である健康の森や小出川などの良好な自然を保全し、郷土愛あふれる地域づくりを推進するため関係団体や学校、慶應義塾大学、行政等と連携し、清掃活動や自然体験学習等を通して、意識啓発と保全活動に取り組む人材の育成を図ります。

#### 3 遠藤魅力アップ推進事業

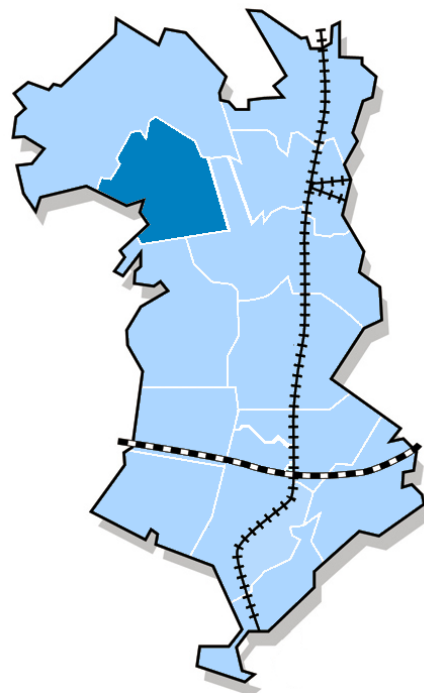
健康の森や小出川に残る良好な自然や史跡、果樹園等を巡る散策路（フットパスネットワーク）の整備を推進し、自然や農業、お祭りなどの地域資源を結び、関係団体や関係機関と連携して地域の魅力を高める取組を進め、観光や農業の振興を図ります。

#### 4 地域活動の広報充実事業

「遠藤まちづくりニュース」等の広報紙について地域活動の紹介やイベント情報を充実し、豊富な内容にするとともに、ホームページを活用した地域イベント情報の積極的な発信や、慶應義塾大学との情報連携を推進します。さらに、地域に定着した「わがまち遠藤ポスターコンクール」の入賞作品を掲載したポスターなどを含め、各種媒体を用いた効果的な地域情報の提供と地域のPRに取り組みます。

#### 5 避難行動要支援者支援体制整備事業

「避難行動要支援者」をはじめ避難支援を要する全ての人が、災害時に近隣住民が声をかけあい、支えあい、手を差し伸べることで安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、関係団体と連携し避難行動要支援者支援体制の構築に向け、自治会への支援を推進します。



## 6 道路環境整備事業

歩行者及び車両が安全に通行できる、安全安心な道路環境を推進するため、地域と行政が一体となって地区内の狭あい道路など交通危険箇所の改良整備を進めます。

また、地区内の交通不便地域の解消に向け、調査研究を進めます。

## 7 魅力と活力あふれるまちづくり推進事業

「藤沢市都市マスタープラン」や「健康と文化の森地区まちづくり基本計画」に基づき、今後予定される新たなまちづくりの方向性について、地域団体や関係機関、慶應義塾大学や行政等と連携し、地区の将来的発展を見据えた土地利用や交通、景観等について検討し、都市拠点機能や観光拠点機能を高め、魅力と活力あふれるまちづくりの実現に向けた取組を進めます。

## 8 伝統文化継承事業

遠藤地区には、本市の無形文化財に指定された「遠藤ささら盆おどり」や「焼き米搗き唄・臼引き唄」があり、地域に伝わる貴重な文化資源となっています。これらの民俗芸能を次世代に引き継ぎ、歴史や文化を語り継ぐことで郷土に対する愛着を深めていくことが大切です。そのため、子ども達の体験や学習の場、民俗芸能保存団体の活躍の場を広げ、広報活動に積極的に取り組むことで、担い手の育成と伝統文化の継承に向けた支援を図ります。

---

## 長期的に取り組む地域課題等

---

相鉄いずみ野線延伸に伴う新駅周辺のまちづくりについては、都市拠点として都市機能の充実を図り、地域活力を高める重要な事業であり、地域が行政と連携協力し、進捗状況を注視しながら長期的に取り組むことが必要です。

また、超高齢化社会が進行するなかで、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができるよう、地域資源のつながりと連携を深め、住民一人ひとりが互いに支えあう地域社会の実現が、長期的に取り組む課題となっています。

健康の森地区に開設される（仮称）遠藤笹窪谷公園については、指定管理者や地元組織による安定した運営を継続していくことが求められます。



## 長後地域活性化事業

まちづくりのテーマ

### さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環

#### 地域活性化事業

##### 1 健康づくり普及事業

地域に根ざした健康づくりを普及させるため、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を専門機関と協働で実施します。

(1) 健康づくりに関する講座の実施

##### 2 長後すくすく応援事業

子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やボランティア等が実施する子育て応援事業を支援します。

(1) 子育て応援事業「長後子育てメッセ」の実施

##### 3 地域人材発掘・育成事業

地域コミュニティの次世代を担う人材の発掘や育成を図るため、地域活動及びボランティア活動に係る情報発信等を行います。

(1) 地域活動・ボランティア活動に係る情報紙の発行等

##### 4 ちょうご見守りネットワーク事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）と連携し、「ちょうご見守りネットワークシステム」の推進を図ります。

(1) 「ちょうご見守りネットワーク通信」の発行

##### 5 観光・歴史資源開拓事業

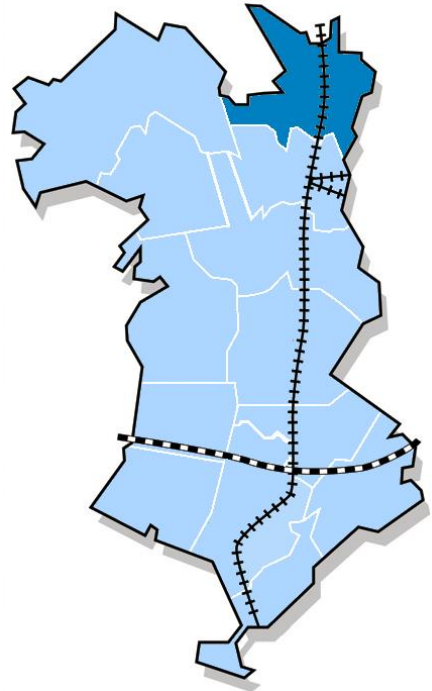
観光・歴史資源の開拓等を通じて地域の魅力を発信する取組を行います。

- (1) 名所・旧跡の解説板の設置
- (2) ふるさと観光マップ「長後めぐり」の配布
- (3) 歴史観光ウォークラリーの実施

##### 6 交通手段支援事業

交通不便地域の解消のため、地域公共交通の導入に向けた取組を行います。

- (1) 地域公共交通の導入に向けた取組に関する情報発信等の実施
- (2) 地域公共交通の導入に向けた住民活動への支援



## 7 花いっぱい運動推進事業

花があふれる地域づくりのため、公共的な場所に設置された花壇等の管理やイベント活動に対して支援を行います。

- (1) 花フェスタの開催、花の広場の定例作業
- (2) 長後駅東口及び市民センター北側広場の花壇・プランターへの植栽等

## 8 地域活動支援事業

環境美化活動への支援を行います。

- (1) 環境美化活動に要する用具の調達等

## 9 長後子ども安全ネットワーク事業

児童生徒が登下校時に安心して通学できるよう、スクールガードリーダーを中心とした子どもを見守るネットワークの強化と情報交換等を行い、防犯意識の高揚と防犯対策の推進を図ります。

- (1) 安全安心ネットワーク会議の開催
- (2) 安全パトロールの実施

## 10 安全・安心ステーション運営事業

防犯情報の共有や情報交換、防犯パトロールなど地域防犯活動の拠点施設である「安全・安心ステーション」の運営に対して支援を行います。

- (1) 今後の事業展開を含めた有効活用策の検討等

---

## 長期的に取り組む地域課題等

都市計画道路の早期整備により長後駅周辺の通過交通を排除し、慢性的な交通渋滞を緩和するとともに、狭あいな生活道路の解消や駅周辺から離れた地区の交通手段の確保等都市基盤の整備が課題となっています。

また、長後駅入口交差点から長後市民センターに至る市道長後725号線の歩道整備により、地域の住民が安全に通行できる環境整備を進めることが急務となっています。

都市基盤整備以外の課題としては、地域コミュニティの高齢化・希薄化が進む中、次世代を担う人材の発掘や育成による地域活動の活性化への取組が必要となっています。

## 辻堂地区地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

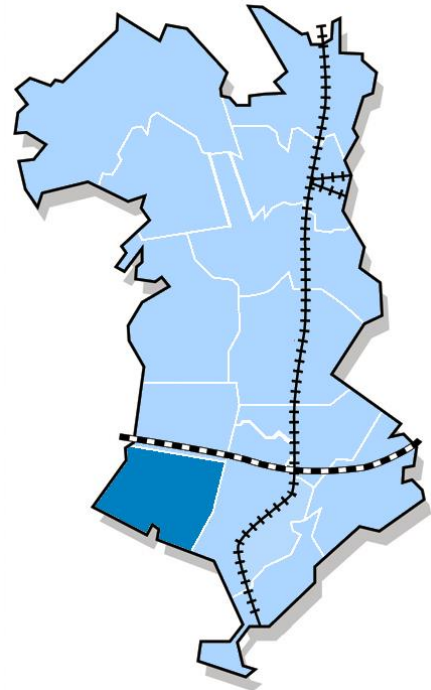
## 歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち ” 湘南辻堂 ”

### まちづくり事業

#### 1 辻堂交流事業

地域住民や地域団体などが、それぞれの役割を担いながら、積極的に意見を出し合い、連携・協力する仕組みを充実するための活動支援等を実施します。

- (1) みんなで美化キャンペーン  
(辻堂駅南海岸線周辺の除草、花苗植栽等)
- (2) 辻堂朝市  
(地産地消の取組)
- (3) 伝統文化継承講座  
(地区に伝わる伝統文化についての情報発信等)
- (4) 辻堂グリーン回廊ウォーキング  
(地域の名所旧跡や自然環境を周遊するグリーン回廊の周知と健康増進)
- (5) 湘南ニコニコロードギャラリープロジェクト  
(湘南ニコニコロードのアートギャラリー活用)



#### 2 暮らし安心・安全事業

災害や犯罪などの脅威への対策や地域住民の健康増進等を図るための活動支援を実施します。

- (1) 防災啓発事業  
(災害に対する正しい知識情報の発信を目的とした防災対策講演会の実施)
- (2) マナーアップ活動  
(地域住民や来訪者、観光客のマナーの向上を図るキャンペーン等の実施)
- (3) 子どもの見守り  
(地域で子どもを見守る環境づくりや見守りボランティアの育成)
- (4) まちづくり事業  
(地区内の課題等に対し、より良いまちづくりを進めていくための講座等を実施)

#### 3 福祉事業

健康増進など地域福祉の推進のための活動を実施します。

- (1) 認知症理解促進事業

- (認知症に関する知識や理解を深め、地域で見守ることをめざした講座等の実施)
- (2) 障がい児者への理解促進  
(白浜養護学校作品展や当事者・家族との意見交換会等の実施)

#### 4 広報・啓発事業

辻堂への誇りや愛着を高めてもらうとともに、活動の周知及び参加を促すため、「辻堂プライド」を概念として取組を実施します。

- (1) 子ども回覧板事業  
(子どもの目線から辻堂地区の魅力を発掘し、作成した記事を地域で回覧)
- (2) 辻堂プライド啓発  
(辻堂への誇り・愛着の醸成及びまちづくりへの積極的参加を促す取組)
- (3) SNS配信  
(湘南工科大学との連携によるSNSを活用した情報発信)
- (4) オンラインcafe事業  
(辻堂まちづくり会議の認知度の向上や地域の声の収集及び活動への反映)

---

#### 長期的に取り組む地域課題等

海岸線に面している辻堂地区は、東日本大震災を契機として、津波避難対策や防災対策などへの関心が高まっています。

道路や公園といった地域資源に対する意見や要望等については、講座や勉強会などを通して理解を深めるとともに、要望書や提言書としてまとめていきたいと考えます。

地域住民のまちづくりへの積極的参加を促すため、辻堂プライドの概念のもと、取組を進めていきます。

## 善行地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち

### まちづくり事業

#### 1 広報・地域ネットワーク構築事業

郷土づくり推進会議の活動を地区内に周知するとともに、地域で活躍する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援し、周知・啓発を図ります。

- (1) 地域団体の様々な活動を発信する広報紙の発行等
- (2) 地域で行う様々な事業に対する支援

#### 2 交通不便地域の解消・高齢者等移動支援事業

坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など地区内を移動することに不便を感じる人に対する移動手段の運営を支援します。

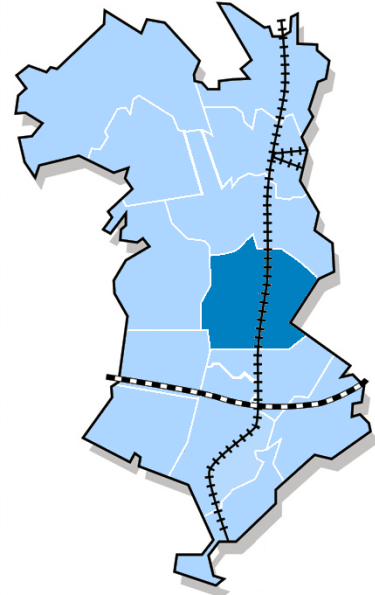
- (1) 特定非営利活動法人のりあい善行の運行に係る情報発信の支援
- (2) 善行西部地区における交通不便解消・高齢者等の移動支援（既存バス路線の改良）についての検討及び交通事業者との調整

#### 3 地域共生社会の構築事業

藤沢型地域包括ケアシステムの推進を図るため、支え合いの地域づくりに向けて、地域における様々な福祉活動を支援するとともに、地区内への情報周知を行います。また、こうした活動を通じて、良い取組を地区内に広げ、定着していくことを推進します。

#### 4 地域活性化に向けた取組の支援・推進事業

善行駅周辺のバリアフリー化等のハード整備について、地域住民と協働で推進するとともに、地域の魅力を広く内外に発信し、善行地区の活性化を図るための事業や取組を支援・推進します。



### 長期的に取り組む地域課題等

藤沢型地域包括ケアシステムの推進に伴い、地域で安全に安心して暮らせるよう、セーフティネットの構築に向けた取組を具体的に進めるとともに、地域の幅広い主体と連携して地域活性化に向けた取組を進めることと合わせ、地域コミュニティを充実させることが求められています。また、地域のまちづくりの拠点となる善行市民センター・公民館については、全ての改築工事が完了したことから、今後は、地域住民にとってより「頼りになる」拠点施設となることを目指します。

## 湘南大庭地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭

### まちづくり事業

#### 1 健康なんでも相談事業

生き生きと安心して暮らし続けるためには、地域住民自ら健康づくりに取り組んでいくことが大切です。健康づくりに関する講演会や相談会を開催し、健康への意識の高揚を図り、生き生き健康のまちづくりを推進します。

- (1) 地区住民の生活習慣、食事、運動などの改善を図るため、健康寿命を延ばすイベントや講演会の開催及び協力といった取組
- (2) 地区住民にとって身近な施設を利用した、健康に関する専門機関との連携による「健康相談事業」の実施

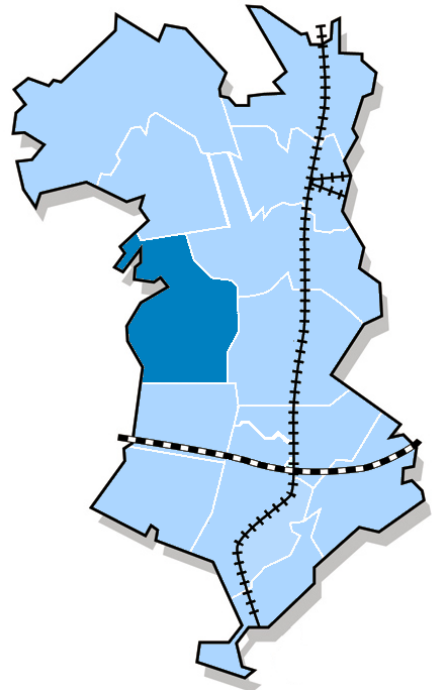
#### 2 健康体操普及推進事業

地区住民の高齢化に伴い、高齢者の自立した生活を支えるため、ラジオ体操を中心とした「健康体操普及推進事業」を進めるとともに、地区内の公園での朝の体操風景が定着し、参加者同士が顔見知りとなる「人と人とのつながり」による健康づくりのまちを目指します。

#### 3 ICT普及推進事業

さまざまな地域情報について、収集力と発信力の向上や内容の充実により、地域におけるコミュニケーションの活性化や住民活動の魅力、付加価値の増進を図るため、ICTを活用した情報伝達などの取組を普及・推進します。

- (1) 湘南大庭ポータルサイトのスキルアップ講座の支援
- (2) デジタル回覧板の普及・推進のための取組



### 長期的に取り組む地域課題等

自治会・町内会や地域団体等の役員の世代交代が進まず、コミュニティ活動の活性化や事業継続に必要な人材確保が喫緊の課題となっています。また、西部土地区画整理事業で整備された団地等が老朽化し、新たな都市基盤の再生が急務となる中で、同時に進展する超高齢社会を支えるため、先進事例の研究等を行い、住まいを中心に生活を支えることができる既存の社会資源を生かした“まちづくり”を進める必要があります。



## 湘南台地域まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台

### まちづくり事業

#### 1 ようこそ先輩 in 湘南台事業

地区内の中学生の職業観や勤労観を育てることを目的に、地区出身で活躍する社会人の方を講師として中学生との交流会を開催し、中学生が自分の将来を考える機会をつくります。また、あわせて地域・学校・PTAが連携し、地域で子どもを育てる郷土づくりを推進します。

(1) 「ようこそ先輩 in 湘南台」の開催

#### 2 緑の回遊路事業

地区内には湘南台公園や円行公園など多くの公園があり、境川や引地川が流れ、身近に自然とふれあうことができます。さらに、今田遊水地の利用や下土棚遊水地の上部利用計画が進められており、地区内に点在する神社仏閣や文化施設を含めた地域資産を有効に活用した緑の回遊路事業を推進し、豊かな自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる湘南台の新たな魅力づくりとその発信を進めます。

(1) 「レインボータウンわくわくマップ」の更新

(2) 緑の回遊路を発信するウォークイベントの開催

(3) 「花と緑のまち湘南台」写真展の開催

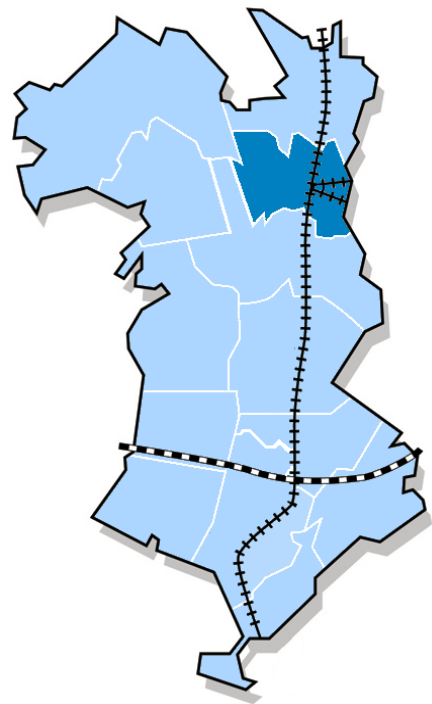
#### 3 子育てネットワーク事業

地区内に住む多くの子育て世代のために、保育園や幼稚園、子育て支援センター等の子育て関係機関や子育てサークル、地域団体等と連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などの支援を行います。

(1) 「湘南台子育て応援メッセ」の開催

#### 4 地域サポーター育成事業

地区内では様々な地域活動が行われ、地域のまちづくりに寄与していますが、担い手不足や高齢化が課題となっているため、地域貢献や社会貢献に関心を持つ方を対象に地域サポーター養成講座を開催し、地域を担う人材の育成を行うとともに、地域活動への参加を促進することにより、地域の活性化を進めます。





- (1) 地域サポーター養成講座の開催
- (2) 地域サポーター養成講座修了者の地域活動参加の促進

## 5 文化創造事業

地区の地域性や特性を生かし、人が集い活気にあふれる新たな魅力づくりを推進します。その中心的な取組として、多目的イベントを開催するなど、湘南台駅地下アートスクエアを有効活用することにより、まちの活力創出を進めます。

- (1) 駅地下アートスクエアでの多目的イベントの開催
- (2) 駅地下アートスクエアでの展示ギャラリー機能の充実
- (3) 湘南台地区のマスコットキャラクター「ゆめまる・ゆめみん」の着ぐるみの活用

## 6 湘南台駅地下アートスクエア整備事業

湘南台駅地下イベント広場を、住民参加型の音楽とアートの文化芸術活動拠点とするため、「湘南台駅地下アートスクエア」として整備するとともに、3線が乗り入れる「駅」という特色を生かし、湘南台のまちのみならず、北部全体の情報発信拠点として活性化への取組を進めます。

---

### 長期的に取り組む地域課題等

---

湘南台地区は、交通や居住環境での利便性や満足度が高い反面、交通渋滞や放置自転車の増加など生活環境の悪化が懸念されています。また、市北部の都市拠点として、商店街を中心とした活力の創出が求められています。満足度の高いまちづくりを推進し、将来にわたり子や孫が愛着と誇りをもてる郷土とするために、地域特性を生かした文化の創造や地域を担う人材の育成と活用、地域コミュニティの充実、湘南台駅地下アートスクエアの管理手法などが湘南台地区の課題です。

## 鵜沼地区まちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## 緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鵜沼

### まちづくり事業

#### 1 鵜沼元気塾・鵜沼元気ひろば事業

2013年(平成25年)4月から鵜沼市民センターにおいて小学生の放課後の居場所として、鵜沼元気塾を開始。2016年(平成28年)4月からは地区北部への拡大を図り、鵜沼元気ひろばを開始。地域の協力スタッフとの学習や交流を通じて、子どもたちの豊かな人間性を育みます。

- (1) 学校の宿題等の学習
- (2) 地域スタッフの企画による工作や遊び、音楽等
- (3) 夏季野外活動などの体験学習

#### 2 認知症等啓発事業

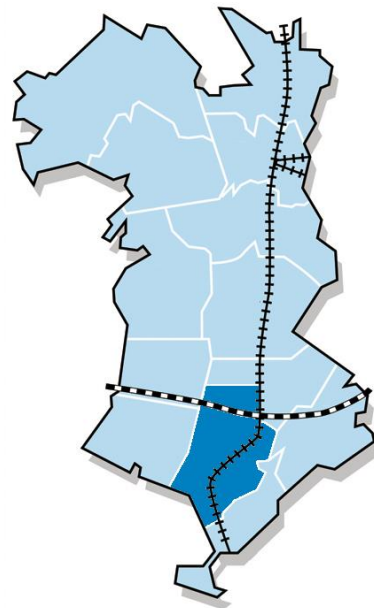
地域において認知症等への理解を深めるために講座や講演会を開催するなど、認知症等の当事者やその家族が安心して暮らすことができる地域づくりを進めます。

#### 3 歴史・文化継承事業

鵜沼郷土資料展示室において、鵜沼に特化した歴史文化の資料収集及び調査とその展示を行うことにより、地域住民の郷土理解を深めるとともに、コミュニケーションの場を提供しています。また、既存資料の整理及びデータ化を行い、次世代への継承を図るものです。

#### 4 鵜まつり事業

2009年(平成21年)から鵜沼のまちおこしとして鵜沼運動公園芝生広場で開催。地元の魚、野菜、雑貨、鵜沼魚醤を使った創作料理や、鵜沼公民館を中心に活動するサークルのステージ出演、フリーマーケット等、参加者全員で盛り上げ、地域のおまつりとして定着しています。※令和4年度は、感染症対策やそれに伴う事業内容の見直し等の検討を行い、年度内の開催を目指してまいります。



### 長期的に取り組む地域課題等

鵜沼地区では、これまでのまちづくり事業や、喫緊の課題である津波避難対策等に継続して取り組むとともに、計画道路の問題や地域を支える地域団体、ボランティア等の担い手づくり(人材の発掘や育成)などの課題解決に向け、事業に取り組んでいきます。

## 藤沢地区まちづくり事業

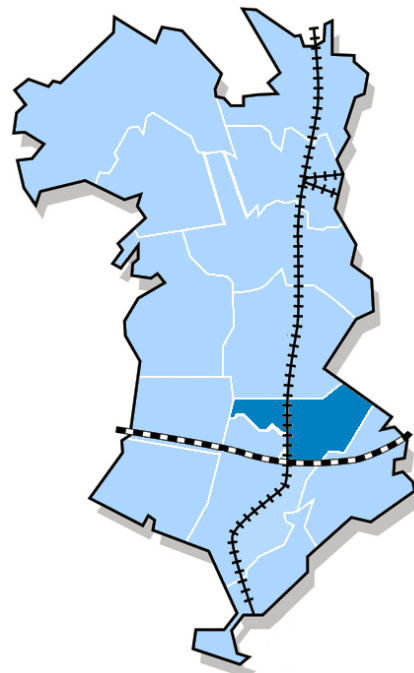
### まちづくりのテーマ

## 歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点

### まちづくり事業

#### 1 藤沢宿活性化事業

藤沢地区には、旧東海道藤沢宿周辺を中心に、神社仏閣や史跡、古民家や蔵などの歴史的資源が数多くあります。このような歴史的資源を活用したまちづくりや、藤沢地区郷土づくり推進会議からの政策提言の具現化に向けた検討を進めるとともに、地域イベント等を支援する取組を充実し、にぎわいの創出を図ります。また、藤沢宿の伝承・継承を目的として、未来を担う子どもたちに藤沢宿に関心を持ってもらい郷土愛を育てる取組を実施します。これらの事業に加え、様々な機会を活用した藤沢宿の積極的なPRを推進し地域の活性化を図ります。



#### 2 子ども・高齢者の見守り活動事業

学校・家庭・地域の連携を図りながら登下校時などの子どもの見守り活動を行うとともに、今後の超高齢社会の進展に伴う認知症高齢者の増加を見据えた地域による高齢者見守りの環境づくりや、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる藤沢地区の実現に向けた取組を進めます。

- (1) 各種活動を通じた地域と学校との連携の強化
- (2) 中学生を対象にしたVR体験型認知症サポーター養成講座の実施

### 長期的に取り組む地域課題等

小田急線藤沢本町駅周辺事業の進捗に応じた駅周辺の利便性の向上を図るための取組、高齢者や障がい者が暮らしやすいまちに向けた地域生活改善に関する取組、交通事故防止のための意識啓発に繋がる交通に関する全体的な取組については、関連事業として総合的に検討します。

また、(仮称)大清水浄化センター周辺環境整備検証事業については、関係機関による工事の進捗に応じて、取組を検討してまいります。

## 村岡いきいきまちづくり事業

### まちづくりのテーマ

## ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか

### まちづくり事業

#### 1 マナーアップ啓発事業

一人ひとりの日ごろの気遣いや心がけにより、日常生活を送るうえでの迷惑行為をなくし、快適な生活環境を確保するために、自転車の安全な乗り方、ごみやたばこのポイ捨て、ペットの正しい飼い方などのマナーやモラルの向上に向けた事業を実施します。

- (1) ごみやたばこのポイ捨て、ペットのフンの放置、落書き禁止看板の配布・設置
- (2) 自転車交通安全教室等の実施

#### 2 村岡あいさつ運動事業

子どもたちの健やかな成長につながる、安全・安心な地域づくりを進めるため、学校・家庭・地域が一体となって、声掛け・あいさつ運動を地域の中に広げ、根付かせていきます。

- (1) 登下校時にあわせた声掛け・あいさつ活動の実施
- (2) ポスター・標語コンクールの実施

#### 3 地域防災力強化事業

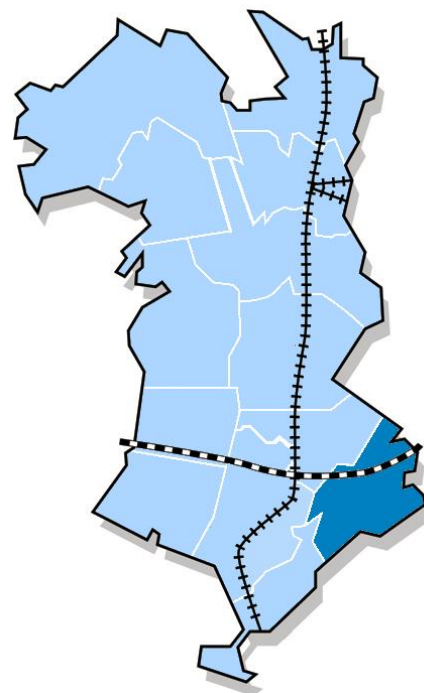
地域防災力の強化を図るため、啓発看板などにより地域防災情報の見える化を進めるとともに、地域防災に関わる人材の育成とすそ野の拡大に向けた取組や、災害ボランティアコーディネーター養成講座などを通じた災害時のボランティア受入能力の向上に向けた取組を進めます。

- (1) 一時避難場所表示看板の配布、海拔表示看板の掲出継続
- (2) 災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催
- (3) 幅広い年代を対象としたフェア形式の防災イベントの開催

#### 4 村岡美化活動事業

美化運動を推進するとともに緑豊かな環境づくりを進め、美しく住みよい地域社会を築き、生活環境に対する意識の高揚を図ります。

- (1) 地区年末一日清掃の実施
- (2) 緑豊かな環境づくりの推進を目的とした講習会等の開催



## 5 歴史継承事業

地域の歴史的財産や自然的資源の素晴らしさと魅力を、より多くの方々に知っていただくため、名所・史跡の所在を示した史跡案内板の設置を進めたほか、地域の歴史や魅力を盛り込んだパンフレットの配布などを通じて、郷土愛あふれる「輝ら里 むらおか」の実現を目指します。

- (1) 歴史ガイドマップ「むらおか歴史の道」の配布
- (2) 今昔探訪ウォーキングの実施

## 6 地域情報発信事業

高齢者のみならず、地区内にお住いのすべての方々が安心して暮らすことができる地域づくりに向けて、きめ細かな地区内情報の発信を進めます。

- (1) 村岡地区便利帳「輝ら里・むらおかハンドブック」の配布

## 7 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業

「地域の安全は地域で守る」を合い言葉に、安全・安心なまちづくりを進めるため、住民参加型の防犯活動を推進します。

- (1) わんわんパトロールの推進（愛犬の散歩時に携行する防犯啓発物品の配布等）

---

## 長期的に取り組む地域課題等

（仮称）村岡新駅の設置及び新駅周辺地区のまちづくり、県道横浜藤沢線の川名以南の延伸が長期的課題となっています。

また、村岡公民館等再整備事業については、令和4年度には実施設計業務が完了し、再整備用地の買戻しを実施しますが、適切な進捗管理のもと円滑な事業の推進を図ります。

いずれも、地域の皆さんとの情報共有と共通理解のもとに計画を進めていくことが不可欠であることから、時期をとらえての説明会の開催など、情報提供の機会を充実していきます。

(参考資料)

## 藤沢市SDGs共創指針 別冊

# 令和4年度 藤沢市市政運営の総合指針2024 重点施策とSDGsの関連一覧



## まちづくりテーマ1 安全で安心な暮らしを築く

### 重点施策名 (1) 災害対策の充実

#### 【施策の概要】

切迫性が指摘される首都直下型や津波を伴う大規模地震への対策や、地球温暖化に起因する気候危機への適応策の強化に向けて、被害を最小限に抑え、速やかに回復できる防災・減災に取り組むとともに、地域における防災力を強化し、充実させます。また、市民生活における様々な脅威に対応するため、消防・救急体制の強化など、危機管理対策を推進します。

#### 重点事業名 (事務事業名)

11 防災設備等整備事業費	41 公園改修費 (法面对策)	71 大規模震災等対策強化事業費
21 危機管理対策事業費	51 緑地改修事業費	81 本町出張所改築整備事業費
31 建築物等防災対策事業費	61 一色川改修費	

#### ゴール



#### ターゲット

- 1.5 貧困層・脆弱層の人々の強靭性を構築する
- 9.1 経済発展と福祉を支える持続可能で強靭なインフラを開発する
- 11.5 災害による死者数、被害者数、直接的経済損失を減らす
- 11.7 緑地や公共スペースへのアクセスを提供する
- 11.b 総合的な災害リスク管理を策定し、実施する
- 13.1 気候関連災害や自然災害に対する強靭性と適応能力を強化する
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

### 重点施策名 (2) 防犯・交通安全対策の充実

#### 【施策の概要】

地域での犯罪を抑止する環境整備として地域、駅前、商店街等への防犯カメラの増設を推進するとともに、特殊詐欺などへの対策を強化します。また、交通安全対策として、自転車を中心に交通ルール・マナーの啓発に取り組むとともに、歩道と自転車の利用環境の整備を推進します。

#### 重点事業名 (事務事業名)

11 街頭防犯カメラ設置推進事業費	41 市道新設改良費 (自転車走行
21 防犯対策強化事業費	空間整備事業)
31 自転車駐車場整備費	51 道路安全対策費

#### ゴール



#### ターゲット

- 3.6 道路交通事故死傷者を半減させる
- 11.2 交通の安全性改善により、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する
- 16.4 組織犯罪をなくす
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

※ 各ターゲットの内容は環境省「すべての企業が持続的に発展するためにー持続可能な開発目標 (SDGs) 活用ガイドー資料集 [第2版]」から引用



## まちづくりテーマ1 安全で安心な暮らしを築く

### 重点施策名 (3) 感染症対策の強化

#### 【施策の概要】

新型コロナウイルス感染症については、市民の命と健康を守り、市民生活と地域経済に及ぼす影響をできる限り抑えるため、国や県と連携し、市民、関係団体、事業者、医療・福祉従事者など多様な主体とのパートナーシップにより、感染拡大防止のための様々な取組を進めます。また、市民・事業者等への適切な情報提供を行いつつ、相談、診療、検査、療養のための医療提供体制等の確保、拡充や患者発生後の的確な積極的疫学調査等の実施により感染拡大を回避するとともに、ワクチン接種に必要な体制の構築及び実施なども最優先課題として取り組みます。

さらに、新たな感染症の発生に備えた健康危機体制等の構築のための検討・準備を進めます。

#### 重点事業名 (事務事業名)

- 11 感染症対策事業費  
(新型コロナウイルス感染症対策事業)

#### ゴール



#### ターゲット

- 3.3 重篤な伝染病を根絶し、その他の感染症に対処する
- 3.8 UHC を達成する (すべての人が保健医療サービスを受けられるようにする)
- 3.d 健康危険因子の早期警告、緩和・管理能力を強化する
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

## まちづくりテーマ2 健康で豊かな長寿社会をつくる

### 重点施策名 (1) 地域共生社会の実現に向けた取組の推進

#### 【施策の概要】

高齢者、障がい者、生活困窮者をはじめ、家族の介護や看病、見守りなどの世話を担う人（ケアラー）や子育て中の人など、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく、安心して暮らし続けることができるよう、交流の場づくりや担い手づくりを推進するとともに、相談体制や支援の充実を図ります。さらに、地域共生社会の実現に向けて重層的な支援体制を築き、多機関協働でのネットワークをより一層進めていきます。

#### 重点事業名（事務事業名）

11 包括的支援体制推進事業費	41 地域の縁側等地域づくり活動 支援事業費	61 【特別会計】介護保険事業費 (包括的支援事業)
21 生活困窮者自立支援事業費		
31 成年後見制度等推進事業費	51 障がい者相談支援事業費	

#### ゴール



#### ターゲット

- 1.1 極度の貧困を終らせる
- 1.2 貧困状態にある人の割合を半減させる
- 1.3 貧困層・脆弱層の人々を保護する
- 1.b 貧困撲滅への投資拡大を支援するために政策的枠組みを構築する
- 2.1 飢餓を撲滅し、安全で栄養のある食料を得られるようにする
- 3.8 UHC を達成する（すべての人が保健医療サービスを受けられるようにする）
- 4.4 働く技能を備えた若者と成人の割合を増やす
- 4.5 教育における男女格差をなくし、脆弱層が教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする
- 5.4 無報酬の育児・介護・家事労働を認識・評価する
- 8.5 雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する
- 8.6 就労・就学・職業訓練を行っていない若者の割合を減らす
- 10.2 すべての人の能力を強化し、社会・経済・政治への関わりを促進する
- 10.3 機会均等を確保し、成果の不平等を是正する
- 10.4 政策により、平等の拡大を達成する
- 11.1 住宅や基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する
- 11.7 緑地や公共スペースへのアクセスを提供する
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

## まちづくりテーマ2 健康で豊かな長寿社会をつくる

### 重点施策名 (2) 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進

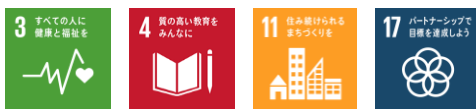
#### 【施策の概要】

健康寿命日本一に向けて、健康増進や認知症予防への取組や、在宅生活を支える保健医療分野の関係機関との連携体制を強化するとともに、生涯を通じて健康に関心を持ち、若い世代からの生活習慣の見直しや受動喫煙防止などに取り組める環境づくりを進めていきます。また、医療・介護データの分析をもとに、様々な取組によるフレイル予防など、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施を進めます。

#### 重点事業名（事務事業名）

11 健康づくり推進事業費	31 【特別会計】介護保険事業費
21 がん検診事業費	(一般介護予防事業費)
	《再掲》

#### ゴール



#### ターゲット

- 3.4 非感染性疾患による若年死亡率を減少させ、精神保健・福祉を促進する
- 3.5 薬物やアルコール等の乱用防止・治療を強化する
- 3.a たばこの規制を強化する
- 4.7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする
- 11.1 住宅や基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

## まちづくりテーマ2 健康で豊かな長寿社会をつくる

### 重点施策名 (3) コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進

#### 【施策の概要】

地域で活動する多様な主体と市が協働し、持続的なコミュニティと地域社会を形成するため、「郷土づくり推進会議」と市民センター・公民館との連携した地域づくりの取組を軸に、地域の多様な主体とともに地域課題への対応を進めます。また、NPO等の市民活動団体の育成や活動を支援するとともに、こうした団体の活動を地域の様々な課題解決につなげます。

さらに、自治会・町内会や様々な地域活動団体の活動を支援するとともに、公民館と地域活動団体との連携による地域に根ざした課題の共有・対応や人材の育成、ICT等を活用した若い世代の地域活動への新たな参加のあり方の工夫等により、各地区の特性を生かした地域づくりを推進します。

#### 重点事業名 (事務事業名)

11 ミライカナエル活動サポート事業費	61 遠藤まちづくり推進事業費	121 鶴沼地区まちづくり事業費
21 六会地区まちづくり事業費	71 長後地域活性化事業費	131 藤沢地区まちづくり事業費
31 片瀬地区地域まちづくり事業費	81 辻堂地区地域まちづくり事業費	141 村岡いきいきまちづくり事業費
41 明治地区まちづくり事業費	91 善行地区まちづくり事業費	151 善行市民センター改築事業費
51 御所見地区地域まちづくり事業費	101 湘南大庭地域まちづくり事業費	171 村岡公民館改築事業費
	111 湘南台地域まちづくり事業費	

#### ゴール



#### ターゲット

- 4.7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする
- 8.9 持続可能な観光業を促進する
- 10.2 すべての人の能力を強化し、社会・経済・政治への関わりを促進する
- 11.2 交通の安全性改善により、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する
- 11.3 参加型・包摂的・持続可能な人間居住計画・管理能力を強化する
- 11.4 世界文化遺産・自然遺産を保護・保全する
- 11.6 大気や廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす
- 11.7 緑地や公共スペースへのアクセスを提供する
- 11.a 都市部、都市周辺部、農村部間の良好なつながりを支援する
- 11.b 総合的な災害リスク管理を策定し、実施する
- 12.5 廃棄物の発生を減らす
- 12.8 持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする
- 15.1 陸域・内陸淡水生態系及びそのサービスの保全・回復・持続可能な利用を確保する
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

## まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる

### 重点施策名 (1) 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

#### 【施策の概要】

様々な課題を抱えた子どもたち一人ひとりのニーズに応え、ともに学び、ともに育つ学校教育を推進します。また、豊かな心、確かな学力、健やかな体を育むための学校教育を目指すとともに、これからの時代を生きる力を身につけるための学びの環境を充実します。さらに、今後の少人数学級への制度移行により、子どもたちの学びをしっかりと支えられるよう、教育環境の整備を進めます。

#### 重点事業名 (事務事業名)

11 教育情報機器関係費	41 特別支援教育整備事業費	62 鶴沼中学校改築事業費
21 教育情報化推進事業費	51 諸整備事業費 (特別支援学校)	
31 学校運営協議会推進事業費	61 鶴南小学校改築事業費	

#### ゴール



#### ターゲット

- 4.1 無償・公正・質の高い初等・中等教育を修了できるようにする
- 4.4 働く技能を備えた若者と成人の割合を増やす
- 4.6 基本的な読み書き計算ができるようになる
- 4.7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようになる
- 4.a 安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供する
- 10.2 すべての人の能力を強化し、社会・経済・政治への関わりを促進する
- 12.8 持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようになる
- 16.2 子どもに対する虐待や暴力・拷問をなくす
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

## まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる

### 重点施策名 (2) 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実

#### 【施策の概要】

子どもの未来を最優先に考え、子どもの健やかな成長のために、様々な制度や重層的な支援が一体となって、子どもたちの生活を支えることができるよう取り組むとともに、地域で安心して子育てができる環境整備を進めます。また、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の体制を確保し、安全・安心で健やかな妊娠・出産、産後をサポートします。

#### 重点事業名 (事務事業名)

11 法人立保育所等施設整備助成事業費	31 市立保育所運営費(病児保育)	61 放課後児童クラブ整備事業費
21 法人立保育所運営費等助成事業費(病児保育)	41 妊娠・出産包括支援事業費	71 放課後児童健全育成事業費
	51 少年の森整備事業費	81 医療的ケア児保育事業費
		91 養育費確保支援事業費

#### ゴール



#### ターゲット

- 1.2 貧困状態にある人の割合を半減させる
- 1.3 貧困層・脆弱層の人々を保護する
- 3.1 妊産婦の死亡率を削減する
- 3.2 新生児・5歳未満児の予防可能な死亡を根絶する
- 3.7 性と生殖に関する保健サービスを利用できるようにする
- 3.8 UHCを達成する(すべての人が保健医療サービスを受けられるようにする)
- 4.2 乳幼児の発達・ケアと就学前教育にアクセスできるようにする
- 5.5 政治、経済、公共分野での意思決定において、女性の参画と平等なリーダーシップの機会を確保する
- 5.6 性と生殖に関する健康と権利への普遍的アクセスを確保する
- 8.8 労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする
- 10.2 すべての人の能力を強化し、社会・経済・政治への関わりを促進する
- 10.3 機会均等を確保し、成果の不平等を是正する
- 11.3 参加型・包摂的・持続可能な人間居住計画・管理能力を強化する
- 11.7 緑地や公共スペースへのアクセスを提供する
- 16.2 子どもに対する虐待や暴力・拷問をなくす
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

## まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる

### 重点施策名 (3) 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実

#### 【施策の概要】

社会の複雑化や多様化等により子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、子どもの貧困や、悩みや困りごとを抱える子ども・若者の増加が大きな課題となっていることから、専門人材による対応を含め、総合的な相談体制や生活支援、経済的支援等の取組を充実します。

#### 重点事業名（事務事業名）

11 就労支援事業費

#### ゴール



#### ターゲット

- 1.3 貧困層・脆弱層の人々を保護する
- 4.3 高等教育に平等にアクセスできるようにする
- 4.4 働く技能を備えた若者と成人の割合を増やす
- 4.5 教育における男女格差をなくし、脆弱層が教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする
- 4.7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする
- 8.6 就労・就学・職業訓練を行っていない若者の割合を減らす
- 10.2 すべての人の能力を強化し、社会・経済・政治への関わりを促進する
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する



## まちづくりテーマ4 都市の機能と活力を高める

### 重点施策名 (1) 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

#### 【施策の概要】

少子超高齢社会への対応や自然災害への対策の強化等も踏まえ、自然と調和しつつ市民生活と市内経済を支える都市基盤の充実を図るため、都市拠点の形成、ストックマネジメント、公共施設等の再整備を進めます。

#### 重点事業名 (事務事業名)

11 【特別会計】墓園事業費 (大庭台墓園立体墓地再整備事業)	41 村岡地区都市拠点総合整備事業費	71 藤沢駅周辺地区再整備事業費
21 環境事業センター整備費	51 長後地区整備事業費	81 健康と文化の森整備事業費
31 一般廃棄物中間処理施設整備事業費	61 公園改修費 (鵜沼海浜公園) <<再掲>>	91 市道新設改良費 (藤沢652号線) <<再掲>>
		101 善行長後線街路新設事業費

#### ゴール



#### ターゲット

- 3.9 環境汚染による死亡と疾病の件数を減らす
- 8.1 一人当たりの経済成長率を持続させる
- 9.1 経済発展と福祉を支える持続可能で強靱なインフラを開発する
- 11.2 交通の安全性改善により、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する
- 11.3 参加型・包摂的・持続可能な人間居住計画・管理能力を強化する
- 11.5 災害による死者数、被害者数、直接的経済損失を減らす
- 11.6 大気や廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす
- 11.7 緑地や公共スペースへのアクセスを提供する
- 11.a 都市部、都市周辺部、農村部間の良好なつながりを支援する
- 11.b 総合的な災害リスク管理を策定し、実施する
- 12.4 化学物質や廃棄物の適正管理により大気、水、土壌への放出を減らす
- 12.5 廃棄物の発生を減らす
- 12.8 持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする
- 13.1 気候関連災害や自然災害に対する強靱性と適応能力を強化する
- 14.1 海洋汚染を防止・削減する
- 14.2 海洋・沿岸の生態系を回復させる
- 15.1 陸域・内陸淡水生態系及びそのサービスの保全・回復・持続可能な利用を確保する
- 15.4 生物多様性を含む山地生態系を保全する
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

## まちづくりテーマ4 都市の機能と活力を高める

### 重点施策名 (2) 住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築

#### 【施策の概要】

暮らしやすさに直結する豊かで安定した住生活環境の確保に向けて、「藤沢市住宅マスタープラン」や「藤沢市空家等対策計画」等に基づき、空き家対策、団地再生、居住支援に関する取組の充実を図ります。

また、高齢者や障がい者をはじめ、誰もが移動しやすい交通体系の構築を目指し、交通に関する技術革新や新しい交通サービスの進展を踏まえ、「藤沢市交通マスタープラン」等に基づき、拠点間や拠点と地域を結ぶネットワークの構築による身近な交通環境づくりを推進します。

#### 重点事業名（事務事業名）

- 11 空家対策関係費
- 21 住宅政策推進費
- 31 総合交通体系推進事業費

#### ゴール



#### ターゲット

- 1.3 貧困層・脆弱層の人々を保護する
- 11.1 住宅や基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する
- 11.2 交通の安全性改善により、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する
- 11.3 参加型・包摂的・持続可能な人間居住計画・管理能力を強化する
- 11.7 緑地や公共スペースへのアクセスを提供する
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

### 重点施策名 (3) 地域経済循環を高める経済対策の推進

#### 【施策の概要】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りつつも、地域経済をしっかりと循環させるため、市民生活と市内中小企業を支える経済対策を進めます。

地域経済の活力再生に向け、商工業、新産業、観光、農水産業など、各産業分野の支援策を総合的に進め、地域経済循環の一層の推進を図るとともに、特に、飲食業や観光関連産業など、感染症により深刻な影響を受けている産業の早期復興のための対策を進めます。

また、テレワークの普及など働き方の変化に対応し、市民の多様な働き方を支える環境づくりに取り組みます。

#### 重点事業名（事務事業名）

- 11 誘客宣伝事業費
- 21 観光施設整備費

#### ゴール



#### ターゲット

- 8.5 雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する
- 8.9 持続可能な観光業を促進する
- 12.b 持続可能な観光業に対し、持続可能な開発がもたらす影響の測定手法を開発・導入する
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

## まちづくりテーマ5 未来を見据えてみんなではじめる

### 重点施策名 (1) 豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進

#### 【施策の概要】

藤沢市環境基本計画等に基づき、地球温暖化に起因する気候危機への緩和策の強化に向けて、地球温暖化対策の充実を図るとともに、環境啓発を推進します。

また、本市の豊かな自然環境を守るため、プラスチックごみの削減や海洋プラスチックごみ対策など、環境美化、ごみ減量を推進するとともに、緑地や水環境の保全、自然環境共生を進めます。

#### 重点事業名 (事務事業名)

11 環境基本計画関係費	41 海岸美化関係費	71 自然環境共生推進事業費 (生物多様性地域戦略)
21 地球温暖化対策関係事業費	51 ごみ減量推進事業費 (プラスチックごみ削減等)	81 【特別会計】下水道事業費 (辻堂浄化センター雨水滞水池等)
31 環境啓発推進事業費	61 緑地保全事業費 (樹林地復元)	

#### ゴール



#### ターゲット

- 4.7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする
- 6.3 様々な手段により水質を改善する
- 6.6 水に関わる生態系を保護・回復する
- 6.b 水と衛生の管理向上における地域社会の参加を支援・強化する
- 7.2 再生可能エネルギーの割合を増やす
- 7.3 エネルギー効率の改善率を増やす
- 8.4 10YFP に従い、経済成長と環境悪化を分断する
- 9.4 資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大により持続可能性を向上させる
- 11.6 大気や廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす
- 11.7 緑地や公共スペースへのアクセスを提供する
- 12.3 世界全体の一人当たりの食料廃棄を半減させ、生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減らす
- 12.4 化学物質や廃棄物の適正管理により大気、水、土壌への放出を減らす
- 12.5 廃棄物の発生を減らす
- 12.8 持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする
- 13.2 気候変動対策を政策、戦略及び計画に盛り込む
- 13.3 気候変動対策に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する
- 14.1 海洋汚染を防止・削減する
- 14.2 海洋・沿岸の生態系を回復させる
- 14.3 海洋酸性化の影響を最小限にする
- 14.5 沿岸域及び海域の10パーセントを保全する
- 15.1 陸域・内陸淡水生態系及びそのサービスの保全・回復・持続可能な利用を確保する
- 15.2 森林の持続可能な経営を実施し、森林の減少を阻止・回復と植林を増やす
- 15.4 生物多様性を含む山地生態系を保全する
- 15.5 絶滅危惧種の保護と絶滅防止のための対策を講じる
- 15.8 外来種対策を導入し、生態系への影響を減らす
- 15.9 生態系と生物多様性の価値を国の計画等に組み込む
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

## まちづくりテーマ5 未来を見据えてみんなではじめる

### 重点施策名 (2) デジタル市役所・スマートシティの推進

**【施策の概要】**  
 国、県の施策と連携しつつ、行政手続のオンライン化を推進するとともに、ICT活用による内部事務の効率化や業務のあり方の見直しを進めます。また、地域の多様な主体がICTの力でつながることで、新たな活力を引き出せるよう地域におけるデジタル化を推進するとともに、誰もがインターネットやスマートフォンの活用による恩恵を受けられる社会となるよう取組を進めます。また、デジタル市役所の前提となるマイナンバーカードの普及促進を図ります。  
 さらに、Society 5.0社会の到来を見据えて、スマートシティを推進するため、民間企業や大学、他自治体との積極的な連携を進め、テクノロジーの活用による社会的課題の解決を推進します。

重点事業名 (事務事業名)

11 デジタル推進事業費	31 個人番号カード普及促進事業	
21 ロボット未来社会推進事業費	費	

ゴール



ターゲット

- 9.1 経済発展と福祉を支える持続可能で強靱なインフラを開発する
- 16.6 透明性の高い公共機関を発展させる
- 16.9 すべての人に法的な身分証明を提供する
- 16.10 情報への公共アクセスを確保し、基本的自由を保障する
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

### 重点施策名 (3) 人材育成の推進

**【施策の概要】**  
 担い手不足、人材不足の課題に対して、各分野で多様な人材が活躍できるように支援策の強化を図ります。また、就職氷河期世代をはじめ様々な要因により不安定な就労状況にある人への支援を進めます。  
 市職員についても、市民サービスの向上や行政のデジタル化及び効率化、地域まちづくりなどを進めるにあたって、時代の変化に適応した変革が実現できるよう、新たな視点や発想、異なる業務経験や専門知識などを持った多様な人材の採用、育成を進めます。

重点事業名 (事務事業名)

11 職員採用関係費	41 介護人材育成支援事業費	61 幼稚園人材確保支援事業費
21 職員基本研修費	51 法人立保育所運営費等助成事業費 (保育士確保) <<再掲>>	71 担い手育成支援事業費
31 職員専門研修費		

ゴール



ターゲット

- 4.2 乳幼児の発達・ケアと就学前教育にアクセスできるようにする
- 4.4 働く技能を備えた若者と成人の割合を増やす
- 4.7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする
- 8.1 一人当たりの経済成長率を持続させる
- 8.2 高いレベルの経済生産性を達成する
- 8.5 雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する
- 8.6 就労・就学・職業訓練を行っていない若者の割合を減らす
- 8.8 労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

## まちづくりテーマ5 未来を見据えてみんなではじめる

### 重点施策名 (4) 次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信

#### 【施策の概要】

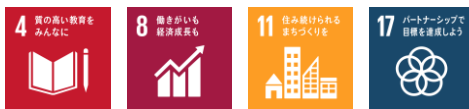
新たな「ふじさわ文化」の創造に向けて、文化芸術活動を支える環境・拠点の整備や次世代育成、幅広い世代への活動支援等の推進並びに本市の貴重な歴史資源についても、未来につなげるための保全・継承・活用を推進します。

また、豊かな歴史や文化、自然などの魅力に加え、藤沢でつくられた商品やサービス、活躍する人々など、新たな魅力の発掘・創出を進めるとともに、多様な主体と連携して、市内外への統一的で効果的な情報発信を進め、郷土への愛着と誇りを高め、都市としての知名度やブランド力の向上を図ります。

#### 重点事業名（事務事業名）

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 11 生活・文化拠点再整備費  | 41 シティプロモーション関係費 |
| 21 アートスペース運営管理費 |                  |
| 31 景観資源推進費      |                  |

#### ゴール



#### ターゲット

- 4.7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする
- 8.9 持続可能な観光業を促進する
- 11.4 世界文化遺産・自然遺産を保護・保全する
- 11.7 緑地や公共スペースへのアクセスを提供する
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

### 重点施策名 (5) 市民参加型東京2020大会のレガシー創出

#### 【施策の概要】

東京2020大会については、新型コロナウイルス感染症への対策を徹底する中で、一人でも多くの市民が関わることができるよう市民参加型大会の実現に向けた取組を推進し、スポーツ文化の定着を図るスポーツ都市宣言や、ボランティアの促進を図る「チームFUJISAWA2020」プロジェクトなど、レガシーの創出と定着に取り組みます。

#### 重点事業名（事務事業名）

- |                             |
|-----------------------------|
| 11 チームFUJISAWA2020<br>推進事業費 |
| 21 スポーツ都市宣言推進事業費            |

#### ゴール



#### ターゲット

- 3.4 非感染性疾患による若年死亡率を減少させ、精神保健・福祉を促進する
- 4.7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする
- 10.2 すべての人の能力を強化し、社会・経済・政治への関わりを促進する
- 11.7 緑地や公共スペースへのアクセスを提供する
- 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

## 重点施策とSDGs 17ゴールの関連表

## 重点施策とSDGs 17ゴールの関連表

まちづくりテーマ	重点施策	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
まちづくりテーマ1 安全で安心な暮らしを築く	(1) 災害対策の充実	○					
	(2) 防犯・交通安全対策の充実			○			
	(3) 感染症対策の強化			○			
まちづくりテーマ2 健康で豊かな長寿社会をつくる	(1) 地域共生社会の実現に向けた取組の推進	○	○	○	○	○	
	(2) 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			○	○		
	(3) コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進				○		
まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	(1) 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進				○		
	(2) 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	○		○	○	○	
	(3) 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実	○			○		
まちづくりテーマ4 都市の機能と活力を高める	(1) 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			○			
	(2) 住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築	○					
	(3) 地域経済循環を高める経済対策の推進						
まちづくりテーマ5 未来を見据えてみんなではじめる	(1) 豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進				○		○
	(2) デジタル市役所・スマートシティの推進						
	(3) 人材育成の推進				○		
	(4) 次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信				○		
	(5) 市民参加型東京2020大会のレガシー創出			○	○		



7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナリシップで 目標を達成しよう
		○		○		○				○
				○					○	○
										○
	○		○	○						○
				○						○
	○		○	○	○			○		○
			○		○				○	○
	○		○	○					○	○
	○		○							○
	○	○		○	○	○	○	○		○
				○						○
	○				○					○
○	○	○		○	○	○	○	○		○
		○							○	○
	○									○
	○			○						○
			○	○						○

藤沢市市政運営の総合指針2024  
～2040年に向けた持続可能なまちづくりへの転換～  
事業集  
(令和4年度版)  
企画政策部 企画政策課  
〒251-8601 神奈川県藤沢市朝日町1番地の1  
電話 0466(25)1111 (代表) 内線 2175  
<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp>